

業績目録(佐藤洋)

著者	東北大学史料館
号	1177
発行年	2012-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/62897

佐藤 洋教授業績目録

平成 24 年 3 月
東北大学史料館
(著作目録第 1177 号)



佐藤 洋教授略歴

生年月日	昭和24年 7 月 6 日
本 籍 地	群馬県
職 名	教授
所 属	東北大学大学院医学系研究科社会医学講座 環境保健医学分野

最終学歴

昭和49年 3 月	東北大学医学部卒業
昭和54年 3 月	東北大学大学院医学研究科博士課程修了

職 歴

昭和49年 5 月	財団法人竹田総合病院（福島県会津若松市）内科
昭和50年 3 月	竹田総合病院退職
昭和54年 4 月	東北大学医学部助手（公衆衛生学教室）
昭和54年10月	海外渡航のため休職（昭和56年 9 月末まで） （アメリカ合衆国，ロチェスター大学）
昭和56年10月	福島県立医科大学講師（衛生学教室）
昭和60年 4 月	北海道大学医学部助教授（衛生学教室）
平成元年 4 月	東北大学医学部教授（衛生学教室）
平成 3 年12月	附属図書館商議員（平成 6 年 3 月まで）
平成 9 年 4 月	東北大学大学院医学系研究科教授（社会医学講座環境保健医学分野） （機構改組による変更）
平成15年12月	附属図書館医学分館長（平成17年11月まで）
平成23年 3 月	東北大学を退職

学 位

昭和54年 3月 医学博士（東北大学 第818号）

受 賞

平成12年 7月 仙台市永年勤続委員表彰
平成18年 3月 日本衛生学会賞
平成19年 9月 社団法人 環境科学会学術賞
平成19年11月 社団法人 日本医師会優功賞
平成20年 6月 環境保全功労賞
平成21年11月 厚生労働省労働基準局 局長賞

学会等における活動（役職等）

日本産業衛生学会教育・資料委員会委員（昭和62年 4月～平成 8年 5月）
日本毒科学会編集委員（平成 5年 4月～平成 8年 3月）
日本衛生学会幹事（平成 9年 4月～平成15年 3月）
日本産業衛生学会専門医制度委員会委員（平成10年 4月～平成13年 3月）
日本学校保健学会編集委員（平成14年 4月～平成17年 3月）
日本産業衛生学会作業環境測定検討委員会委員（平成15年 4月～平成17年 4月）
日本産業衛生学会許容濃度等委員会委員長（平成20年 6月～平成23年 6月）
日本衛生学会理事長（平成21年 3月～平成24年 3月）
環境科学会理事（平成21年 3月～現在）

社会における活動

宮城労働局（旧宮城労働基準局）労働衛生指導医（平成元年 6月～平成23年 2月）
財団法人杜の都産業保健会（旧財団法人宮城県労働衛生医学協会）
理事（平成元年 6月～現在）
仙台市公害対策審議会委員（平成12年1月より仙台市環境審議会に名称変更
（平成 2年 6月～現在）
宮城労働局（旧宮城労働基準局）宮城地方労働基準審議会委員
（平成12年 4月より宮城地方労働審議会に名称変更）（平成 3年 3月～平成21年 9月）
労働福祉事業団宮城産業保健推進センター運営委員（平成 6年 7月～平成14年 3月）
労働福祉事業団宮城産業保健推進センター産業保健相談員（平成 6年10月～平成22年 3月）
宮城県都市計画地方審議会委員（平成 7年 3月～平成10年 3月）
宮城県建築審査会委員（平成 7年 3月～平成13年 8月）
日本学術会議環境保健学研究連絡委員会委員（平成 9年10月～平成15年10月）
厚生労働省医師試験委員（平成10年 6月～平成20年 4月）
日本医師会環境保健委員会委員（平成10年 7月～現在）
仙台市環境影響評価技術検討委員会委員（平成10年10月～平成15年 2月）
財団法人宮城県公衆衛生協会理事（平成11年 7月～現在）
厚生労働省薬事・食品衛生審議会（毒物劇物調査会）（平成13年 1月～平成23年 1月）
内閣府食品安全委員会専門調査会委員（平成15年10月～現在）
環境省化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会委員（平成17年 1月～現在）
日本学術会議第19期第7部会（平成17年 7月～平成19年 9月）
環境省 ExTEND2005, 2010基盤の研究企画評価検討委員会座長（平成17年 7月～現在）
文部科学省高等教育局大学設置分科会専門委員（平成17年 8月～平成20年 3月）
環境省中央環境審議会委員（平成18年 1月～現在）
財団法人残留農薬研究所農薬飛散リスク評価手法確立調査検討会委員長
（平成18年 8月～平成22年 3月）

厚生労働省厚生科学審議会臨時委員（平成19年2月～現在）

財団法人大学基準協会判定委員・相互評価委員会分科会委員

（平成19年4月～平成21年3月）

独立行政法人大学評価・学位授与機構国立大学教育研究評価委員会専門委員

（平成20年2月～平成21年6月）

仙台保護観察所仙台保護司選考会選考委員（平成20年4月～平成21年9月）

環境省小児環境保健疫学調査に関する検討会（平成20年4月～平成22年3月）

環境省総合研究開発推進会議検討員（平成21年6月～平成22年3月）

国立水俣病総合研究センター総合の水銀研究推進事業選考評価委員会委員

（平成21年6月～平成25年3月）

独立行政法人科学技術振興機構国際科学技術協力推進委員会委員

（平成21年8月～平成22年8月）

業 績 目 録

I. 著書・編書（共著書等含む）

1. 無機水銀. 佐藤洋, 鈴木継美.
祖父江逸郎, 鈴木継美, 村井由之, 池田正之, 兼高達貳, 藤沢洌 (編). 産業医学全書シリーズ 産業内科学－神経・筋系・消化器・代謝系 : 64-72. 医歯薬出版 (1989.5).
2. 環境衛生. 佐藤洋.
糸川嘉則, 斎藤和雄, 桜井治彦, 廣畑富雄 (編). NEW 衛生公衆衛生学 : 211-230. 南江堂 (1990.8).
3. 疲労のとりえ方と対策. 佐藤洋, 斎藤和雄.
日本産業衛生学会教育・資料委員会 (編). 産業看護講座 (下巻) : 133-142. 篠原出版 (1991.3).
4. Behavioral toxicology of mercury compounds. Satoh, H.
edited by Suzuki, T., N. Imura and T. W. Clarkson. Advances in Mercury Toxicology: 367-380. Plenum Press (1992.4).
5. A methodological study on evaluation of environmental effects by self-completion questionnaires. Nakatsuka, H., H. Satoh and M. Ikeda.
edited by Takano, T. Urban Health : Human-environmental interaction in megalopolises and developing cities: 85-90. Kyoiku Syoseki (1993).
6. Toxicology Today - 中毒学から生体防御の科学へ -
佐藤洋 (編). 金芳堂 (1994.5).
7. 序論. 藤田博美, 佐藤洋.
佐藤洋 (編). Toxicology Today - 中毒学から生体防御の科学へ - : 3-11. 金芳堂 (1994.5).
8. 無機 (金属型) 水銀. 佐藤洋.
佐藤洋 (編). Toxicology Today - 中毒学から生体防御の科学へ - : 71-78. 金芳堂 (1994.5).
9. 環境衛生. 佐藤洋.
糸川嘉則, 斎藤和雄, 桜井治彦, 廣畑富雄 (編). NEW 衛生公衆衛生学 (第2版) : 213-235. 南江堂 (1995.5).

10. 12章 中毒 1 中毒総論. 佐藤洋.
黒川清, 斎藤英彦, 矢崎義雄 (編). EBM 現代内科学 (第1版): 2229-2232. 金芳堂 (1997.11).
11. 12章 中毒 2 中毒各論 8. その他の中毒. 佐藤洋.
黒川清, 斎藤英彦, 矢崎義雄 (編). EBM 現代内科学 (第1版): 2242-2249. 金芳堂 (1997.11).
12. A role of hepatic metallothionein on mercury distribution in fetal guinea pigs after in utero exposure to mercury vapor. Yoshida, M., H. Satoh and Y. Sumi.
edited by Klaassen, C. D. Metallothionein IV: 325-331. Birkhaeuser Verlag (1999.1).
13. Vascular activities of hemoglobin-based oxygen carriers: relationship between vasoconstrictive activity and endothelial permeability. Nakai, K., I. Sakuma, H. Satoh and A. Kitabatake.
edited by Kitabatake, A. and I. Sakuma. Recent Advances in Nitric Oxide Research: 33-45. Springer-Verlag Tokyo (1999.3).
14. VI. 産業保健 C. 職業病 8. 粉じん・ガス・蒸気による中毒 (じん肺を除く). 佐藤洋.
眞野喜洋 (編). スタンダード公衆衛生学 (第1版): 261-264. 文光堂 (2002.3).
15. VI. 産業保健 C. 職業病 16. 産業中毒 (有機溶剤を除く). 佐藤洋.
眞野喜洋 (編). スタンダード公衆衛生学 (第1版): 275-277. 文光堂 (2002.3).
16. X. 環境保健 D. 公害 1. 公害の発生要因. 佐藤洋.
眞野喜洋 (編). スタンダード公衆衛生学 (第1版): 412-415. 文光堂 (2002.3).
17. 3. アルキル水銀化合物 (アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限る). 菅原典夫, 佐藤洋.
圓藤吟史, 萩原聡, 巽典之 (編). 事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル (第1版): 104-105. 宇宙堂八木書店 (2006.5).
18. 16. シアン化カリウム, 17. シアン化水素, 18. シアン化ナトリウム. 菅原典夫, 佐藤洋.
圓藤吟史, 萩原聡, 巽典之 (編). 事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル (第1版): 116. 宇宙堂八木書店 (2006.5).
19. 22. 水銀およびその無機化合物. 菅原典夫, 佐藤洋.
圓藤吟史, 萩原聡, 巽典之 (編). 事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル (第1版): 118. 宇宙堂八木書店 (2006.5).

20. 11. フェニル水銀化合物・菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第1版）：148. 宇宙堂八木書店（2006.5）．
21. 12. アルキル水銀化合物（アルキル基がメチル基又はエチル基であるものを
除く）．菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第1版）：149. 宇宙堂八木書店（2006.5）．
22. 14. 沃素（ヨウ素）．菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第1版）：149-150. 宇宙堂八木書店（2006.5）．
23. 水銀．島田美幸，佐藤洋．
糸川嘉則（編）．ミネラルの科学と最新応用技術：349-358. 株式会社シーエム
シー出版（2007.4）．
24. Chapter 36 Palladium. Satoh, H.
edited by Nordberg, G., B. A. Fowler, M. Nordberg and L. Friberg. Handbook on
the Toxicology of Metals (3rd edition) : 759-768. Academic Press, Inc. (2007.5) .
25. 1. メチル水銀．島田美幸，佐藤洋．
食中毒予防必携（第2版）：336-342. 社団法人 日本食品衛生協会（2007.8）．
26. 3. アルキル水銀化合物（アルキル基がメチル基又はエチル基である物に限
る）．菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第2版）：104-105. 宇宙堂八木書店（2008.6）．
27. 16. シアン化カリウム，17. シアン化水素，18. シアン化ナトリウム．菅原
典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第2版）：116. 宇宙堂八木書店（2008.6）．
28. 22. 水銀およびその無機化合物．菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第2版）：118. 宇宙堂八木書店（2008.6）．
29. 11. フェニル水銀化合物．菅原典夫，佐藤洋．
圓藤吟史，萩原聡，巽典之（編）．事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル
（第2版）：148. 宇宙堂八木書店（2008.6）．

30. 12. アルキル水銀化合物（アルキル基がメチル基又はエチル基であるものを除く）. 菅原典夫, 佐藤洋.
圓藤吟史, 萩原聡, 巽典之（編）. 事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル（第2版）: 149. 宇宙堂八木書店（2008.6）.
31. 14. 沃素（ヨウ素）. 菅原典夫, 佐藤洋.
圓藤吟史, 萩原聡, 巽典之（編）. 事例で学ぶ一般健診・特殊健診マニュアル（第2版）: 149-150. 宇宙堂八木書店（2008.6）.
32. 食品に含まれる有害物質と妊産婦・小児. 佐藤洋.
児玉浩子, 玉井浩, 清水俊明（編）. 小児臨床栄養学: 97. 株式会社 診断と治療社（2011.1）.
33. 水銀. 島田美幸, 佐藤洋.
足立吟也（編）. レアメタル便覧: 605-608. 丸善株式会社（2011.1）.
34. カドミウム. 柳沼梢, 佐藤洋.
足立吟也（編）. レアメタル便覧: 598-599. 丸善株式会社（2011.1）.

II. 調査報告書（科研費報告書など）

1. 水銀 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1988～1989）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1989）.
2. 鉛 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1988～1989）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1989）.
3. 水銀 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1989～1990）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1990）.
4. 鉛 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1989～1990）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1990）.
5. 水銀 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1990～1991）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1991）.
6. 鉛 大気汚染物質のレビュー, 重金属の生体影響（1990～1991）.
佐藤洋. 日本科学技術情報センター（1991）.

7. A methodological study on evaluation of environmental effects by self-completion questionnaires (Abstracts of research projects).
Satoh, H. Institute of Industrial Science, University of Tokyo (1992.8).
8. 運動ニューロン疾患と水銀濃度 厚生省神経変性疾患調査研究班会議報告書.
田代邦雄, 森若文雄, 土井陸雄, 佐藤洋, 福地保馬, 岸玲子, 浜田毅, 島功二. 厚生省神経変性疾患調査研究班 (1992).
9. A methodological study on evaluation of environmental effects by self-completion questionnaires (Abstracts of research projects).
Nakatsuka, H., H. Satoh and M. Ikeda. Institute of Industrial Science, University of Tokyo (1993.1).
10. 同一集団への繰り返しアンケートへの回答状況とライフスタイルの関連について 都市広域化の環境影響とその管理 シンポジウム講演集 (平成4年度研究成果報告書).
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 文部省「人間環境系」重点領域研究 N3 (都市環境グループ) 基礎班 (1993.1).
11. 自記式アンケートによる環境の影響の把握に関する研究 平成4年度研究成果報告.
佐藤洋. 「人間環境系」総合班 (1993.3).
12. 元水銀鉱山労働者の体内水銀残留量推定に関する研究 平成2-4年度文部省科学研究補助金 (一般 B) 研究成果報告書.
佐藤洋. 東北大学医学部 (1993.3).
13. 金属における化学形と限界値 吸入曝露における許容曝露限界値の決定方法に関する総合的研究 平成5年度文部省科学研究費補助金 (総合研究 A) 研究成果報告書.
佐藤洋. 慶応義塾大学医学部 (1994.3).
14. 宮城県における産業保健実態調査報告書.
甘糟元, 伊東市男, 加美山茂利, 小松昭文, 佐藤洋, 丹野憲二, 若狭一夫. 宮城産業保健推進センター (1995.9).
15. 微量元素の中枢神経変性疾患における病因的役割とその発症の予防法についての研究 平成6-7年度科学研究費補助金 一般研究 (B) 研究成果報告書.
佐藤洋. 東北大学医学部 (1996.3).

16. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響：特にセレン栄養による修飾に着目して 平成7年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会－有機水銀の健康影響に関する研究－，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1996.3）.
17. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響：特にセレン栄養による修飾に着目して 平成8年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会－有機水銀の健康影響に関する研究－，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1997.3）.
18. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響：特にセレン栄養による修飾に着目して 平成9年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会－有機水銀の健康影響に関する研究－，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1998.3）.
19. 有機水銀の健康影響に関する文献レビュー 平成9年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会－有機水銀の健康影響に関する研究－，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1998.3）.
20. 食事，身体活動などの生活習慣に関する多施設共同疫学調査－ライフスタイルリングモニタリング－ 平成10年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）－国民栄養調査の再構築に関する研究－，
吉池信男，斎藤重幸，佐藤洋，中村好一，森和以，久代登志男，須田真知子，安野尚史，河村剛，伊達ちぐさ，中村雅一，能勢隆之，竹之内直人，竹本泰一郎，田中平三，国立健康・栄養研究所（1999.3）.
21. 胎児期におけるメチル水銀曝露による神経行動学的な影響：3種類の近交系マウスにおける神経行動学的観察の比較 平成10年有機水銀の健康影響に関する総合研究事業，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1999.3）.
22. 有機水銀の健康影響に関する文献レビュー 平成10年有機水銀の健康影響に関する総合研究事業，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（1999.3）.
23. 脳微小透析ならびに行動薬理学的手法による胎児期メチル水銀微量曝露の影響の検討 平成8－10年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）研究成果報告書，
佐藤洋，東北大学医学部（1999.3）.

24. 食事，身体活動などの生活習慣に関する多施設共同疫学調査－ライフスタイルリングモニタリング－ 平成11年度厚生科学研究費補助金（健康科学総合研究事業）－国民栄養調査の再構築に関する研究－，
吉池信男，斎藤重幸，佐藤洋，中村好一，森和以，久代登志男，須田真知子，安野尚史，河村剛，伊達ちぐさ，中村雅一，能勢隆之，竹之内直人，竹本泰一郎，田中平三，国立健康・栄養研究所（2000.3）.
25. 胎児期におけるメチル水銀曝露による神経行動学的な影響：マウス胎児期および成長後の2回曝露の影響 平成11年有機水銀の健康影響に関する総合研究事業，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2000.3）.
26. 重金属の健康リスク－その評価と対策－疫学の立場から 平成11年有機水銀の健康影響に関する総合研究事業，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2000.3）.
27. バイオアッセイから見た都市大気粉塵の遺伝毒性：過去22年の採取試料による評価 平成9－11年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（1）研究成果報告書，
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2000.3）.
28. 環境保健委員会答申，
小泉明，大井玄，池田正之，香川順，小泉一弘，佐藤洋，杉田隆博，鈴木聰男，武井禧明，森田昌敏，日本医師会環境保健委員会（2000.3）.
29. 環境対応次世代接合技術の開発に関する研究成果報告書，
芹沢弘二，岡本正英，曾我太佐男，下川英恵，中塚哲也，成川泰弘，宮崎ゆかり，石田寿治，武井利泰，野村重夫，大木賢一，宮崎誠，村松哲郎，松原浩司，吉田陽，横沢雄二，小川将志，谷口芳邦，気賀智也，福田圭基，駒井裕美，中西浩司，平野孝典，須賀唯知，浜野英之，竹本正，朱淵俊，菅沼克昭，成田敏夫，大笹憲一，林重成，田中順一，赤沼正信，田中大之，片山直樹，佐藤洋，仲井邦彦，亀尾聡美，大前和幸，佐野有理，千葉百子，久保井徹，IMS 国際共同研究プログラム 国内研究開発企画（2001.3）.
30. 長期微量メチル水銀曝露の影響に関する研究：マウス実験モデルによる神経行動学的観察 平成12年重金属等の健康影響に関する総合研究事業，
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2001.3）.

31. 生活環境中の化学物質が胎児脳と出生後の発達に及ぼす影響の疫学研究 平成12年度厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）平成12年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，助野典義，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2001.3）。
32. 長期微量メチル水銀曝露の影響に関する研究：マウスの生涯に渡る曝露の影響とその交絡因子の解析 平成13年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2002.3）。
33. 国際的水銀汚染問題への対応に関する研究 有機水銀の健康影響に関する研究のレビュー 平成13年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2002.3）。
34. 重金属中毒学のパラダイムシフト：21世紀の課題と展望 平成13年度科学研究費補助金 基盤研究（C）（1）研究成果報告書。
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2002.3）。
35. 生活環境中の化学物質が胎児脳と出生後の発達に及ぼす影響の疫学研究 平成13年度厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）平成13年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，助野典義，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2002.3）。
36. アドレナリン受容体遺伝子多型の保有が運動中の脂肪分解に及ぼす影響－遺伝素因を考慮した運動処方システムの構築を目指して－ 第17回健康医科学研究助成論文集。
黒川修行，小宮秀明，平井完史，佐藤洋，財団法人 明治生命厚生事業団（2002）。
37. 国際的水銀汚染問題への対応に関する研究 有機水銀の健康影響に関する研究のレビュー 平成14年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2003.3）。
38. 無機砒素曝露の次世代影響 平成15年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）研究成果報告書。
佐藤洋，東京大学医学系研究科（2003.3）。

39. 長期微量メチル水銀曝露の影響に関する研究：セレン欠乏下における低濃度長期曝露の影響 平成14年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2003.3）。
40. 妊婦の毛髪中水銀値調査 平成14年度メチル水銀の低濃度曝露による健康影響に関する調査・研究業務報告書。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2003.3）。
41. 胎児期のメチル水銀曝露に関する大規模コホート調査研究 平成14年度メチル水銀の低濃度曝露による健康影響に関する調査・研究業務報告書。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2003.3）。
42. 内分泌かく乱化学物質 PCB と子宮体がん発生リスクに関する症例対照研究 平成14年度厚生科学研究費補助金（食品・化学物質安全総合研究事業）平成14年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2003.3）。
43. 生活環境中の化学物質が胎児脳と出生後の発達に及ぼす影響の疫学研究 平成14年度厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）平成14年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，助野典義，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2003.3）。
44. 生活環境中の化学物質が胎児脳と出生後の発達に及ぼす影響の疫学研究 平成14年度厚生科学研究費補助金（生活安全総合研究事業）平成12年度～平成14年度総合研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，助野典義，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2003.3）。
45. 国際的水銀汚染問題への対応に関する研究 有機水銀の健康影響に関する研究のレビュー 平成15年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2004.3）。
46. 長期微量メチル水銀曝露の影響に関する研究 平成15年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2004.3）。

47. 遺伝情報を利用した産業衛生における生活習慣病予防のシステム構築－遺伝情報の告知とカウンセリングの倫理問題の解決を目指して 平成13-15年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (2) 研究成果報告書.
佐藤洋, 東北大学医学系研究科 (2004.3).
48. 生涯にわたる微量メチル水銀曝露の影響－ Behavioral Teratology からのアプローチ 平成13-15年度科学研究費補助金 基盤研究 (A) (2) 研究成果報告書.
佐藤洋, 東北大学医学系研究科 (2004.3).
49. 胎児期のメチル水銀曝露に関する大規模コホート調査研究 平成15年度メチル水銀の低濃度曝露による健康影響に関する調査・研究業務報告書.
佐藤洋, 財団法人 日本公衆衛生協会 (2004.3).
50. 内分泌かく乱化学物質 PCB と子宮体がん発生リスクに関する症例対照研究 平成15年度厚生科学研究費補助金 (食品・化学物質安全総合研究事業) 平成15年度総括・分担研究報告書.
佐藤洋, 東北大学医学系研究科 (2004.3).
51. 地域保健を担う公衆衛生専門家の養成とマンパワー確保に関する研究 平成15年度厚生科学研究費補助金 (がん予防等健康科学総合研究事業) 平成15年度総括・分担研究報告書.
佐藤洋, 東京医科歯科大学 (2004.3).
52. メチル水銀低濃度曝露に関する研究 1) 成人における基礎的研究 平成15年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究.
佐藤洋, 財団法人 日本公衆衛生協会 (2004.3).
53. メチル水銀低濃度曝露に関する研究 2) 胎児期における基礎的検討 平成15年度環境省委託業務結果報告書 水俣病に関する総合的研究.
佐藤洋, 財団法人 日本公衆衛生協会 (2004.3).
54. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成15年度厚生科学研究費補助金 (化学物質リスク研究事業) 平成15年度総括・分担研究報告書.
佐藤洋, 岡村州博, 堺武男, 細川徹, 村田勝敬, 齋藤善則, 仲井邦彦, 東北大学医学系研究科 (2004.3).

55. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成15年度厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究）研究報告書概要版。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，村田勝敬，齋藤善則，仲井邦彦，社団法人 日本食品衛生協会（2004.3）。
56. 内分泌かく乱化学物質 PCB と子宮体がん発生リスクに関する症例対照研究 平成16年度厚生科学研究費補助金（食品・化学物質安全総合研究事業）平成16年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2005.3）。
57. 内分泌かく乱化学物質 PCB と子宮体がん発生リスクに関する症例対照研究 平成16年度厚生科学研究費補助金（食品・化学物質安全総合研究事業）平成14年度～平成16年度総合研究報告書。
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2005.3）。
58. 地域保健を担う公衆衛生専門家の養成とマンパワー確保に関する研究 平成16年度厚生科学研究費補助金（がん予防等健康科学総合研究事業）平成16年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，東京医科歯科大学（2005.3）。
59. 胎児期低濃度メチル水銀曝露における PCB 複合曝露の発達への影響 平成16年重金属等の健康影響に関する総合研究事業。
佐藤洋，独立行政法人 環境再生保全機構（2005.3）。
60. メチル水銀を中心とした水銀の健康影響と国際的水銀汚染問題に関する研究レビュー 平成16年重金属等の健康影響に関する総合研究事業。
佐藤洋，独立行政法人 環境再生保全機構（2005.3）。
61. 胎児期のメチル水銀曝露に関する大規模コホート調査研究 平成16年度メチル水銀の低濃度曝露による健康影響に関する調査・研究業務報告書。
佐藤洋，財団法人 日本公衆衛生協会（2005.3）。
62. 乳幼児期における視覚認知機能に基づく知的発達の予測 平成14～16年度科学研究費補助金 基盤研究（B）（2）研究成果報告書。
佐藤洋，東北大学教育学研究科（2005.3）。
63. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成16年度厚生科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成16年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，岡村州博，堺武男，細川徹，村田勝敬，齋藤善則，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2005.3）。

64. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成16年度厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究）研究報告書概要版。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，村田勝敬，齋藤善則，仲井邦彦，社団法人 日本食品衛生協会（2005.3）。
65. 環境保健委員会答申。
櫻井治彦，武井禎明，大塚明廣，金井忠男，佐藤洋，島田和哉，高田昴，丹野憲司，浜上裕一，細田光藏，村田勝敬，矢島暎夫，山岡春夫，日本医師会環境保健委員会（2006.2）。
66. 内分泌かく乱化学物質と子宮体がん発生リスクに関する症例対照研究 平成17年度厚生科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成17年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，東北大学医学系研究科（2006.3）。
67. 地域保健を担う公衆衛生専門家の養成とマンパワー確保に関する研究 平成17年度厚生科学研究費補助金（がん予防等健康科学総合研究事業）平成17年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，東京医科歯科大学（2006.3）。
68. 地域保健を担う公衆衛生専門家の養成とマンパワー確保に関する研究 平成17年度厚生科学研究費補助金（がん予防等健康科学総合研究事業）平成15年度～平成17年度総合研究報告書。
佐藤洋，東京医科歯科大学（2006.3）。
69. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成17年度厚生科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成17年度総括・分担研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，村田勝敬，齋藤善則，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2006.3）。
70. ダイオキシン類等による胎児期曝露が幼児の発達に及ぼす影響の前向きコホート疫学 平成17年度厚生科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成15年度～平成17年度総合研究報告書。
佐藤洋，細川徹，岡村州博，堺武男，村田勝敬，齋藤善則，仲井邦彦，東北大学医学系研究科（2006.3）。
71. 胎児期低濃度メチル水銀曝露における PCB 複合曝露の発達への影響 平成17年重金属等の健康影響に関する総合研究事業。
佐藤洋，独立行政法人 環境再生保全機構（2006.3）。

72. メチル水銀を中心とした水銀の健康影響と国際的水銀汚染問題に関する研究
レビュー 平成17年重金属等の健康影響に関する総合研究事業．
佐藤洋．独立行政法人 環境再生保全機構（2006.3）．
73. 胎児期のメチル水銀曝露に関する大規模コホート調査研究 平成17年度メ
チル水銀の低濃度曝露による健康影響に関する調査・研究業務報告書．
佐藤洋．財団法人 日本公衆衛生協会（2006.3）．
74. 平成16年度問題となる化学物質の実態調査委員会報告書．
石井一弥，小澤靖彦，太田久吉，大前和幸，大村実，加藤貴彦，川本俊弘，
佐藤洋，花岡知之，古谷義夫，宮川宗之，松本道治，朝倉真澄，圓藤陽子，
大淵和代．中央労働災害防止協会（2006.3）．
75. 小児の環境保健に関する懇談会報告書．
佐藤洋，内山巖雄，加我牧子，北川道弘，首藤敏元，白石寛明．小児の環境
保健に関する懇談会（2006.8）．
76. 難分解性有機汚染物質（POPs）の胎児期曝露に関する研究 厚生労働科学研
究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成18年度総括・分担研究報告書．
佐藤洋，細川徹，岡村州博，村田勝敬，堺武男，福土審，斎藤善則，仲井
邦彦．東北大学医学系研究科（2007.3）．
77. 指定された運動強度と自覚的運動強度の関係を再考する－運動処方実施初期
におけるドロップアウトを防ぐために－ 第23回健康医科学研究助成論文
集．
黒川修行，小宮秀明，佐藤洋．財団法人明治安田厚生事業団（2008.3）．
78. 難分解性有機汚染物質（POPs）の胎児期曝露に関する研究 厚生労働科学研
究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成19年度総括・分担研究報告書．
佐藤洋，細川徹，岡村州博，村田勝敬，堺武男，福土審，斎藤善則，仲井
邦彦．東北大学医学系研究科（2008.3）．
79. 職業中毒や公害の映像資料の教育用デジタル化に関する研究．
佐藤洋，立身政信，村田勝敬，高野健人，清水英佑，大前和幸，吉田稔，
山内博，相澤好治，井谷徹，圓藤吟史，芳原達也，北野隆雄，中屋重直，
青島恵子，仲井邦彦，亀尾聡美，黒川修行．教育用映像資料のデジタル化に
関する研究会（2008.3）．

80. 出生コホートによる難分解性有機汚染物質（POPs）ばく露の次世代影響の検証 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成21年度総括・分担研究報告書．
佐藤洋，細川徹，村田勝敬，奈良隆寛，福土審，仲井邦彦，黒川修行，東北大学医学系研究科（2010.3）.
81. 出生コホートによる難分解性有機汚染物質（POPs）ばく露の次世代影響の検証 厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）平成22年度総括・分担研究報告書．
佐藤洋，細川徹，村田勝敬，奈良隆寛，福土審，仲井邦彦，黒川修行，浅山敬，龍田希．東北大学医学系研究科（2011.3）.

Ⅲ. 研究論文（単独執筆・共同執筆）

1. 札幌市小学校児童および母親の二酸化窒素曝露の実態と生活行動様式との関係：クラスター分析を中心として．
佐藤洋，細川敏幸，斎藤健，斎藤和雄，島田直子，日本衛生学雑誌 44: 705-713（1989.8）.
2. Distribution of mercury in neonatal guinea pigs after exposure to mercury vapor.
Yoshida, M., H. Satoh, H. Aoyama, S. Kojima and Y. Yamamura. Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology 43: 697-704（1989.11）.
3. Possible urban-rural difference in habitus of school children in Sendai.
Nakatsuka, H., H. Satoh, T. Watanabe and M. Ikeda. Tohoku Journal of Experimental Medicine 160: 11-17（1990.1）.
4. Effect of alcohol ingestion on urinary excretion and intraerythrocyte concentrations of sodium and potassium.
Koyama, H., S. Suzuki and H. Satoh. Tohoku Journal of Experimental Medicine 162: 73-78（1990.9）.
5. Retention and distribution of mercury in organs of neonatal guinea pigs after in utero exposure to mercury vapor.
Yoshida, M., H. Satoh, S. Kojima and Y. Yamamura. Journal of Trace Elements in Experimental Medicine 3: 219-226（1990.11）.
6. 衛生学，環境科学そして行動科学．
佐藤洋．東北医学雑誌 103: 149-151（1990.12）.

7. Population study of ambulatory blood pressure in a rural community in northern Japan.
Nakatsuka, H., Y. Imai, K. Abe, K. Nagai, M. Ikeda, H. Satoh, S. Sasaki, N. Minami, M. Munakata, H. Sakuma, J. Hashimoto, H. Sekino, K. Imai and K. Yosinaga. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 163: 119-127 (1991.2).
8. Metallothionein concentrations and organ retention of mercury in the liver and kidney of the neonatal guinea pig after exposure to mercury vapor.
Yoshida, M., H. Satoh, S. Kojima and Y. Yamamura. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 164: 13-22 (1991.5).
9. Simultaneous determination of hippuric acid, *o*-, *m*-, and *p*-methylhippuric acid, phenylglyoxylic acid, and mandelic acid by HPLC.
Inoue, O., K. Seiji, T. Suzuki, T. Watanabe, H. Nakatsuka, H. Satoh and M. Ikeda. *Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology* 47: 204-210 (1991.8).
10. 無機水銀中毒後遺症の臨床的検討－筋萎縮性側索硬化症との関連について－.
森若文雄, 田代邦雄, 土井陸雄, 佐藤洋, 福地保馬. *臨床神経学* 31: 885-887 (1991.8).
11. Gastric tissue and blood plasma selenium levels of patients with stomach cancer.
Itoh, T., M. Kobayashi, T. Tazawa, H. Satoh, T. Saito and K. Saito. *Environmental Sciences* 1: 99-108 (1991).
12. Effectiveness of attention to reduce salt in diet, as evidenced by reduced urinary excretion of salt.
Nakatsuka, H., Y. Imai, K. Abe, H. Satoh, T. Watanabe, K. Nagai and M. Ikeda. *Ecology of Food and Nutrition* 26: 323-332 (1991).
13. Exposure to mercury via breast milk in suckling offspring of maternal guinea pigs exposed to mercury vapor after parturition.
Yoshida, M., H. Satoh, T. Kishimoto and Y. Yamamura. *Journal of Toxicology and Environmental Health* 35: 135-139 (1992.2).
14. Comparison of characteristics between frequent participants and non-participants in screening program for stomach cancer.
Fukao, A., S. Hisamichi, S. Komatsu, H. Shimizu, H. Satoh, H. Nakatsuka, T. Watanabe, S. Fujisaku, Y. Ichinowatari, S. Kuroda, Y. Ida, S. Suda, K. Kato and M. Ikeda. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 166: 459-469 (1992.4).

15. Reduced dietary cadmium intake in past 12 years in a rural area in Japan.
Watanabe, T., H. Nakatsuka, H. Satoh, R. Yamamoto and M. Ikeda. Science of the Total Environment 119: 43-50 (1992.6).
16. 「肥満とやせの判定表・図」による都市と農村の体位の比較とその分布について.
中塚晴夫, 佐藤洋, 小山洋, 渡辺知保, 深尾彰, 清水弘之, 池田正之. 日本公衆衛生雑誌 39: 497-501 (1992.8).
17. Increased urinary cadmium excretion and its relationship to urinary *N*-acetyl- β -*D*-glucosaminidase activity in smokers.
Koyama, H., H. Satoh, S. Suzuki and C. Tohyama. Archives of Toxicology 66: 598-601 (1992).
18. Effects of prenatal exposure to cigarette smoke on the growth and neurobehavioral development in offspring of mice.
Watanabe, C., H. Suzuki and H. Satoh. Environmental Sciences 1: 143-153 (1992).
19. 疫学的調査に基づく随時血圧, 24時間血圧と尿中微量アルブミン排泄量の関係.
矢部珠美, 今井潤, 角田一男, 佐々木修一, 南尚義, 宗像正徳, 橋本潤一郎, 佐久間博道, 渡辺哲子, 山岸俊夫, 佐久間まり子, 西山昭光, 中塚晴夫, 佐藤洋, 永井謙一, 阿部圭志. Therapeutic Research 14: 43-47 (1993.1).
20. 筋萎縮側索硬化症と水銀濃度－北海道での検討－.
森若文雄, 佐藤洋, 江島晃子, 田代邦雄. 神経内科 38: 189-191 (1993.2).
21. 林業労働者の血圧値に関するコホート研究.
斎藤和雄, 島田直子, 佐藤洋, 斎藤健. 北方産業衛生 39: 18-29 (1993.3).
22. 微量元素と Quality of Life 微量元素の発がん性および抗腫瘍効果.
小山洋, 佐藤洋. 治療 75: 906-914 (1993.3).
23. 児童・生徒の肥満とやせのスクリーニング法に関する研究－肥満とやせの判定表・図(厚生省)の適用を中心に－.
中塚晴夫, 佐藤洋, 小山洋, 渡辺知保, 池田正之. 日本公衆衛生雑誌 40: 265-272 (1993.4).
24. 同一集団に繰り返して行われた自記式アンケート調査から－自覚症状を中心に－.
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 環境科学会誌 6: 188-189 (1993.4).

25. Positive association between serum zinc and apolipoprotein A-II concentrations in middle-aged males who regularly consume alcohol.
Koyama, H., H. Hosokai, S. Tamura and H. Satoh. *American Journal of Clinical Nutrition* 57: 657-661 (1993.5).
26. Drinking habits influence the relationship between apolipoprotein AII and body mass index.
Hosokai, H., S. Tamura, H. Koyama and H. Satoh. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology* 39: 235-242 (1993.6).
27. Change in the level of tissue selenium after a single administration of mercuric chloride in mice.
Watanabe, C., T. Udono, H. Shioiri and H. Satoh. *Bulletin of Environmental Contamination and Toxicology* 51: 24-29 (1993.7).
28. Subjective symptoms and neurobehavioral performances of ex-mercury miners at an average of 18 years after the cessation of chronic exposure to mercury vapor.
Kishi, R., R. Doi, Y. Fukuchi, H. Satoh, T. Satoh, A. Ono, F. Moriwaka, K. Tashiro and N. Takahata. *Environmental Research* 62: 289-302 (1993.8).
29. Mercury and selenium contents in amyotrophic lateral sclerosis in Hokkaido, the northernmost island of Japan.
Moriwaka, F., H. Satoh, A. Ejima, C. Watanabe, K. Tashiro, T. Hamada, A. Matsumoto, K. Shima, T. Yanagihara, T. Fukazawa, H. Okumura, Y. Maruo, K. Itoh and K. Yoshida. *Journal of the Neurological Sciences* 118: 38-42 (1993.8).
30. Ambulatory blood pressure of adults in Ohasama, Japan.
Imai, Y., K. Nagai, M. Sakuma, H. Sakuma, H. Nakatsuka, H. Satoh, N. Minami, M. Munakata, J. Hashimoto, T. Yamagishi, N. Watanabe, T. Yabe, A. Nishiyama and K. Abe. *Hypertension* 22: 900-912 (1993.12).
31. Characteristics of a community-based distribution of home blood pressure in Ohasama in northern Japan.
Imai, Y., H. Satoh, K. Nagai, M. Sakuma, H. Sakuma, N. Minami, M. Munakata, J. Hashimoto, T. Yamagishi, N. Watanabe, T. Yabe, A. Nishiyama, H. Nakatsuka, H. Koyama and K. Abe. *Journal of Hypertension* 11: 1441-1449 (1993.12).
32. High zinc content of scalp hair in rural West Java: a rice-eating community.
Koyama, H., H. Satoh, I. F. Rivai and S. Suzuki. *Ecology of Food and Nutrition* 30: 275-282 (1993).

33. Persistent behavioral effect of prenatal exposure to cigarette smoke in mice.
Watanabe, C. and H. Satoh. *Environmental Sciences* 2: 1-10 (1993).
34. Residual neurobehavioural effects associated with chronic exposure to mercury vapour.
Kishi, R., R. Doi, Y. Fukuchi, H. Satoh, T. Satoh, A. Ono, F. Moriwaka, K. Tashiro, N. Takahata, H. Sasatani, H. Shirakashi, T. Kamada and K. Nakagawa. *Occupational and Environmental Medicine* 51: 35-41 (1994.1).
35. 環境汚染物質としての歯科用アマルガム 特に火葬場から放出される水銀量について.
吉田稔, 岸本剛, 山村行夫, 田伏末男, 赤間美文, 佐藤洋. *日本公衆衛生雑誌* 41: 618-624 (1994.7).
36. Milk transfer and tissue uptake of mercury in suckling offspring after exposure of lactating maternal guinea pigs to inorganic or methylmercury.
Yoshida, M., C. Watanabe, H. Satoh, T. Kishimoto and Y. Yamamura. *Archives of Toxicology* 68: 174-178 (1994.8).
37. Brain selenium status and behavioral development in selenium-deficient preweanling mice.
Watanabe, C. and H. Satoh. *Physiology and Behavior* 56: 927-932 (1994.11).
38. The reproducibility of reported height and body weight in repeated questionnaire surveys.
Nakatsuka, H., H. Satoh, T. Watanabe, Y. Ida, M. Nishigouri and M. Ikeda. *International Journal of Obesity* 19: 50-56 (1995.1).
39. 家庭血圧に基づく降圧療法の評価.
今井潤, 阿部圭志, 久道茂, 辻一郎, 佐藤洋, 永井謙一. *Japanese Circulation Journal* 58 Suppl. IV: 1324-1327 (1995.1).
40. Effects of buthionine sulfoximine (BSO) on mercury distribution after Hg⁰ exposure.
Kim, C.-Y., C. Watanabe and H. Satoh. *Toxicology* 98: 67-72 (1995.4).
41. Effects of prolonged selenium deficiency on open field behavior and Morris water maze performance in mice.
Watanabe, C. and H. Satoh. *Pharmacology, Biochemistry and Behavior* 51: 747-752 (1995.8).

42. Consistent relationship between selenium and apolipoprotein A-II concentrations in the sera of fasting middle-aged male abstainers and regular consumers of alcohol.
Koyama, H., C. Watanabe, H. Satoh, H. Hosokai and S. Tamura. *Biological Trace Element Research* 50: 33-42 (1995.10).
43. Inhibition of γ -glutamyltranspeptidase decreases renal deposition of mercury after mercury vapor exposure.
Kim, C.-Y., C. Watanabe, Y. Kasanuma and H. Satoh. *Archives of Toxicology* 69: 722-724 (1995).
44. Analysis of trace elements in the central nerve tissues with inductively coupled plasma-mass spectrometry.
Ejima, A., C. Watanabe, H. Koyama and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 178: 1-10 (1996.1).
45. Seasonal variation in blood pressure in normotensive women studied by home measurements.
Imai, Y., M. Munakata, I. Tsuji, T. Ohkubo, H. Satoh, H. Yoshino, N. Watanabe, A. Nishiyama, N. Onodera, J. Kato, M. Sekino, A. Aihara, Y. Kasai and K. Abe. *Clinical Science* 90: 55-60 (1996.1).
46. Analysis of circadian variation of blood pressure and heart rate in dexamethasone-induced hypertensive rats.
Kim, C.-Y., Y. Imai, K. Ito, J. Hashimoto, T. Nobunaga, H. Satoh and K. Abe. *Clinical and Experimental Hypertension* 18: 65-76 (1996.1).
47. Distribution of selenium in human plasma detected by high performance liquid chromatography-plasma ion source mass spectrometry.
Koyama, H., Y. Kasanuma, C.-Y. Kim, A. Ejima, C. Watanabe, H. Nakatsuka and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 178: 17-25 (1996.1).
48. Microwave digestion using dual PTFE containers for analysis of trace elements in small amounts of biological samples.
Mizushima, R., M. Yonezawa, A. Ejima, H. Koyama and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 178: 75-79 (1996.1).
49. 自由行動下血圧と総死亡・心血管死亡との関連性－地域コホートの観察から－.
大久保孝義, 辻一郎, 坂東毅彦, 深尾彰, 久道茂, 今井潤, 佐久間まり子, 渡辺哲子, 南尚義, 菊地典子, 加藤順子, 西山昭光, 関野慎, 相原彰子, 阿部圭志, 佐藤洋, 永井謙一, 伊藤修. *Therapeutic Research* 17: 76-80 (1996.1).

50. Influence of age and blood pressure level on blood pressure variability determined by ambulatory monitoring.
Aihara, A., Y. Imai, T. Ohkubo, K. Nagai, I. Tsuji, N. Minami, N. Watanabe, J. Kato, N. Kikuchi, M. Sakuma, A. Nishiyama, M. Sekino, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Therapeutic Research* 17: 857-862 (1996.3).
51. Lessons for neurotoxicology from selected model compounds.
Rice, D. C., A. M. E. de Duffard, R. Duffard, A. Iregren, H. Satoh and C. Watanabe. *Environmental Health Perspectives* 104 Suppl. 2: 205-215 (1996.4).
52. Evolution of our understanding of methylmercury as a health threat.
Watanabe, C. and H. Satoh. *Environmental Health Perspectives* 104 Suppl. 2: 367-379 (1996.4).
53. Predictive power of screening blood pressure, ambulatory blood pressure and blood pressure measured at home for overall and cardiovascular mortality: a prospective observation in a cohort from Ohasama, northern Japan.
Imai, Y., T. Ohkubo, M. Sakuma, I. Tsuji, H. Satoh, K. Nagai, S. Hisamichi and K. Abe. *Blood Pressure Monitoring* 1: 251-254 (1996.6).
54. Determination of selenium in the human brain by graphite furnace atomic absorption spectrometry.
Ejima, A., C. Watanabe, H. Koyama, K. Matsuno and H. Satoh. *Biological Trace Element Research* 54: 9-21 (1996.7).
55. Prevalence of hypertension and rate of blood pressure control as assessed by home blood pressure measurements in a rural Japanese community, Ohasama.
Nagai, K., Y. Imai, I. Tsuji, T. Ohkubo, M. Sakuma, N. Watanabe, J. Kato, N. Kikuchi, A. Nishiyama, M. Sekino, O. Itoh, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Clinical and Experimental Hypertension* 18: 713-728 (1996.7).
56. Circadian blood pressure variation related to morbidity and mortality from cerebrovascular and cardiovascular diseases.
Imai, Y., I. Tsuji, K. Nagai, N. Watanabe, T. Ohkubo, M. Sakuma, J. Hashimoto, O. Itoh, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Annals of the New York Academy of Sciences* 783: 172-185 (1996.8).
57. Effects of age and blood pressure levels on the nocturnal decline in blood pressure: a community-based study in Ohasama.
Nishiyama, A., Y. Imai, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, N. Watanabe, J. Kato, N. Kikuchi, M. Sekino, A. Aihara, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Therapeutic Research* 17: 2947-2952 (1996.8).

58. Nocturnal blood pressure and silent cerebrovascular lesions in elderly Japanese.
Watanabe, N., Y. Imai, K. Nagai, I. Tsuji, H. Satoh, M. Sakuma, H. Sakuma, J. Kato, N. Onodera-Kikuchi, M. Yamada, F. Abe, S. Hisamichi and K. Abe. *Stroke* 27: 1319-1327 (1996.8).
59. 急性水銀蒸気中毒症の3剖検－臨床的・病理学的検討－.
浅野重之, 望月衛, 蓮池美樹, 栗崎恵美子, 郡司啓文, 佐藤洋, 衛藤光明.
中毒研究 9: 423-426 (1996.10).
60. Ambulatory blood pressure monitoring in evaluating the prevalence of hypertension in adults in Ohasama, a rural Japanese community.
Imai, Y., I. Tsuji, K. Nagai, M. Sakuma, T. Ohkubo, N. Watanabe, O. Ito, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Hypertension Research* 19: 207-212 (1996).
61. The brain histamine (HA) and pituitary luteinizing hormone (LH) levels in female rats anesthetized with ether on proestrus.
Kim, C.-Y., J.-H. Ryu, K. Maeyama, K. Wakabayashi, T. Watanabe, T. Nobunaga and H. Satoh. *Experimental Animals* 45: 175-177 (1996).
62. Estimation of salt intake by a simple questionnaire.
Nakatsuka, H., H. Satoh, T. Watanabe, Y. Imai, K. Abe and M. Ikeda. *Ecology of Food and Nutrition* 35: 15-23 (1996).
63. 寒冷地の都市大気浮遊粉じん変異原活性の経時変動.
松本寛, 酒井茂克, 中嶋敏秋, 佐藤洋. *環境化学* 6: 575-581 (1996).
64. Growth and behavioral changes in mice prenatally exposed to methylmercury and heat.
Yin, K., C. Watanabe, H. Inaba and H. Satoh. *Neurotoxicology and Teratology* 19: 65-71 (1997.1).
65. 自由行動下血圧と生命予後との関連－地域コホートの観察から－.
大久保孝義, 辻一郎, 久道茂, 今井潤, 渡辺哲子, 南尚義, 菊地典子, 加藤順子, 西山昭光, 関野慎, 相原彰子, 阿部圭志, 佐藤洋, 永井謙一.
Therapeutic Research 18: 574-576 (1997.2).
66. Hard work does not result in a decrease in meal quality: the case of a Japanese farming village.
Nakatsuka, H., H. Satoh, R. Yamamoto, R. Satoh, T. Watanabe, Y. Imai, K. Abe and K. Nagai. *Appetite* 28: 177-183 (1997.4).

67. Prediction of mortality by ambulatory blood pressure monitoring versus screening blood pressure measurements: a pilot study in Ohasama.
Ohkubo, T., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, N. Watanabe, N. Minami, O. Itoh, T. Bando, M. Sakuma, A. Fukao, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *Journal of Hypertension* 15: 357-364 (1997.4).
68. Proposal of reference values for home blood pressure measurement-prognostic criteria based on a prospective observation of the general population in Ohasama, Japan.
Tsuji, I., Y. Imai, K. Nagai, T. Ohkubo, N. Watanabe, N. Minami, O. Itoh, T. Bando, M. Sakuma, A. Fukao, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. *American Journal of Hypertension* 10: 409-418 (1997.4).
69. Effect of ethanol pretreatment on mercury distribution in organs of fetal guinea pigs following in utero exposure to mercury vapor.
Yoshida, M., H. Satoh and Y. Sumi. *Toxicology* 119: 193-201 (1997.5).
70. Reproducibility of home blood pressure measurements over a 1-year period.
Sakuma, M., Y. Imai, K. Nagai, N. Watanabe, H. Sakuma, N. Minami, H. Satoh and K. Abe. *American Journal of Hypertension* 10: 798-803 (1997.7).
71. Factors affecting the nocturnal decrease in blood pressure: a community-based study in Ohasama.
Imai, Y., A. Nishiyama, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, N. Kikuchi, H. Satoh and S. Hisamichi. *Journal of Hypertension* 15: 827-838 (1997.8).
72. Acute mercury poisoning by intentional ingestion of mercuric chloride.
Yoshida, M., H. Satoh, M. Igarashi, K. Akashi, Y. Yamamura and K. Yoshida. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 182: 347-352 (1997.8).
73. Determinants of circadian blood pressure variation: a community-based study in Ohasama.
Nishiyama, A., Y. Imai, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, N. Kikuchi, J. Kato, M. Sekino, A. Aihara, M. Kikuya, H. Satoh and S. Hisamichi. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 183: 1-20 (1997.9).
74. Predictive value of home blood pressure measurement in relation to stroke morbidity: a population-based pilot study in Ohasama, Japan.
Sakuma, M., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, T. Ohkubo, N. Watanabe, H. Sakuma, H. Satoh and S. Hisamichi. *Hypertension Research* 20: 167-174 (1997.9).

75. Tissue-specific modification of selenium concentration by acute and chronic dexamethasone administration in mice.
Watanabe, C., C.-Y. Kim and H. Satoh. *British Journal of Nutrition* 78: 501-509 (1997.9).
76. Deficiency of selenium enhances the K⁺-induced release of dopamine in the striatum of mice.
Watanabe, C., Y. Kasanuma and H. Satoh. *Neuroscience Letters* 236: 49-52 (1997.10).
77. Factors that affect blood pressure variability.
Imai, Y., A. Aihara, T. Ohkubo, K. Nagai, I. Tsuji, N. Minami, H. Satoh and S. Hisamichi. *American Journal of Hypertension* 10: 1281-1289 (1997.11).
78. Relation between nocturnal decline in blood pressure and mortality: the Ohasama study.
Ohkubo, T., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, N. Watanabe, N. Minami, J. Kato, N. Kikuchi, A. Nishiyama, A. Aihara, M. Sekino, H. Satoh and S. Hisamichi. *American Journal of Hypertension* 10: 1201-1207 (1997.11).
79. 仙台市児童・生徒の身長・体重および胸囲の分布の推移。
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 宮城大学看護学部紀要 1: 45-50 (1998.3).
80. Growth reacceleration of school children in the city of Sendai, Japan.
Nakatsuka, H., H. Satoh and M. Ikeda. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 184: 301-309 (1998.4).
81. Discrepancy between screening blood pressure and ambulatory blood pressure: a community-based study in Ohasama.
Aihara, A., Y. Imai, M. Sekino, J. Kato, S. Ito, T. Ohkubo, I. Tsuji, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Nagai. *Hypertension Research* 21: 127-136 (1998.6).
82. Effects of mild chronic heat exposure on the concentrations of thiobarbituric acid reactive substances, glutathione, and selenium, and glutathione peroxidase activity in the mouse liver.
Kasanuma, Y., C. Watanabe, C.-Y. Kim, K. Yin and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 185: 79-87 (1998.6).

83. Home blood pressure measurement has a stronger predictive power for mortality than does screening blood pressure measurement: a population-based observation in Ohasama, Japan.
Ohkubo, T., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, J. Kato, N. Kikuchi, A. Nishiyama, A. Aihara, M. Sekino, M. Kikuya, S. Ito, H. Satoh and S. Hisamichi. *Journal of Hypertension* 16: 971-975 (1998.7).
84. Reference values for 24-hour ambulatory blood pressure monitoring based on a prognostic criterion: the Ohasama study.
Ohkubo, T., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, S. Ito, H. Satoh and S. Hisamichi. *Hypertension* 32: 255-259 (1998.8).
85. Prognostic significance of the long-term blood pressure variability estimated by home blood pressure measurements.
Kikuya, M., Y. Imai, T. Ohkubo, I. Tsuji, A. Aihara, M. Sekino, A. Houzawa, K. Nagai, H. Satoh and S. Hisamichi. *Therapeutic Research* 19: 2713-2716 (1998.9).
86. Permeability characteristics of hemoglobin derivatives across cultured endothelial cell monolayers.
Nakai, K., I. Sakuma, T. Ohta, J. Ando, A. Kitabatake, Y. Nakazato, T. A. Takahashi and H. Satoh. *Journal of Laboratory and Clinical Medicine* 132: 313-319 (1998.10).
87. Long-term trends of particulate mutagenic activity in the atmosphere of Sapporo.
1. Determination of mutagenic activity by the conventional tester strains TA98 and TA100 during an 18-year period (1974-1992).
Matsumoto, Y., S. Sakai, T. Kato, T. Nakajima and H. Satoh. *Environmental Science & Technology* 32: 2665-2671 (1998).
88. 大迫研究における正常血圧群，高血圧治療群，高血圧未治療群の比較検討－随時血圧，家庭血圧，24時間自由行動下血圧を用いて－.
寶澤篤，今井潤，相原彰子，関野慎，菊谷昌浩，伊藤貞嘉，大久保孝義，辻一郎，久道茂，佐藤洋，永井謙一. *Therapeutic Research* 20: 84-87 (1999.1).
89. *In utero* exposure to methylmercury and Se deficiency converge on the neurobehavioral outcome in mice.
Watanabe, C., K. Yin, Y. Kasanuma and H. Satoh. *Neurotoxicology and Teratology* 21: 83-88 (1999.1).

90. Separation of selenium-containing proteins in human and mouse plasma using tandem high-performance liquid chromatography columns coupled with inductively coupled plasma-mass spectrometry.
Koyama, H., K. Omura, A. Ejima, Y. Kasanuma, C. Watanabe and H. Satoh. *Analytical Biochemistry* 267: 84-91 (1999.2).
91. The effect of prenatal methylmercury exposure on the GSH level and lipid peroxidation in the fetal brain and placenta of mice.
Watanabe, C., Y. Kasanuma, Y. Dejima and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 187: 121-126 (1999.2).
92. 高齢者における正常血圧群、高血圧治療群、高血圧未治療群の比較検討－随時血圧、家庭血圧、24時間自由行動下血圧を用いて－.
寶澤篤, 今井潤, 相原彰子, 関野慎, 菊谷昌浩, 伊藤貞嘉, 大久保孝義, 辻一郎, 久道茂, 佐藤洋, 永井謙一. *Therapeutic Research* 20: 627-630 (1999.3).
93. In utero methylmercury exposure differentially affects the activities of selenoenzymes in the fetal mouse brain.
Watanabe, C., K. Yoshida, Y. Kasanuma, K. Yin and H. Satoh. *Environmental Research* 80: 208-214 (1999.4).
94. Characteristics of blood pressure measured at home in the morning and in the evening: the Ohasama study.
Imai, Y., A. Nishiyama, M. Sekino, A. Aihara, M. Kikuya, T. Ohkubo, M. Matsubara, A. Hozawa, I. Tsuji, S. Ito, H. Satoh, K. Nagai and S. Hisamichi. *Journal of Hypertension* 17: 889-898 (1999.7).
95. Clinical significance of nocturnal blood pressure monitoring.
Imai, Y., T. Ohkubo, I. Tsuji, H. Satoh and S. Hisamichi. *Clinical and Experimental Hypertension* 21: 717-727 (1999.7).
96. Matrix interferences in the analysis of digested biological tissues with inductively coupled plasma-mass spectrometry.
Ejima, A., C. Watanabe, H. Koyama and H. Satoh. *Biological Trace Element Research* 69: 99-109 (1999.8).
97. Poorer nutritional status of the older-generation in a Japanese farming village, as related to fewer types of food consumed.
Nakatsuka, H., H. Satoh, T. Watanabe, R. Yamamoto, R. Satoh, Y. Imai, K. Abe and M. Ikeda. *Public Health* 113: 251-253 (1999.9).

98. 本態性高血圧症に対する塩酸セリプロロール（セレクトール錠）の長期投与における有用性と血清総コレステロールに及ぼす影響．
今井潤，吉永馨，阿部圭志，三浦幸雄，渡辺睦道，亀井文雄，佐藤洋．
Therapeutic Research 20: 2719-2731 (1999.9)．
99. Daily response of blood pressure to day-to-day variation of urinary sodium to potassium ratio.
Yoshida, M., H. Koyama, K. Moji, K. Aoyagi, T.-i. Takemoto, S. Suzuki and H. Satoh. *Clinical and Experimental Hypertension* 21: 1189-1202 (1999.10)．
100. Insufficient metallothionein synthesis in the lung and kidney in human acute inorganic mercury poisoning.
Kurisaki, E., M. Sato, S. Asano, H. Gunji, M. Mochizuki, H. Odajima, H. Wakasa, H. Satoh, C. Watanabe and K. Hiraiwa. *Journal of Health Science* 45: 309-317 (1999.12)．
101. Relationships among blood pressures obtained using different measurement methods in the general population of Ohasama, Japan.
Imai, Y., T. Ohkubo, I. Tsuji, A. Hozawa, K. Nagai, M. Kikuya, A. Aihara, M. Sekino, M. Michimata, M. Matsubara, S. Ito, H. Satoh and S. Hisamichi. *Hypertension Research* 22: 261-272 (1999)．
102. SNO-hemoglobin の人工酸素運搬体としての応用．
佐久間一郎，仲井邦彦，富樫広子，藤井聡，吉岡充弘，佐藤洋，北畠顕．*血管と内皮* 9: 71-82 (1999)．
103. 地域住民における長期追跡調査．
大久保孝義，佐藤洋，久道茂．*日本臨牀* 58: 618-622 (2000.1)．
104. Human g-protein β_3 subunit variant is associated with serum potassium and total cholesterol levels but not with blood pressure.
Ishikawa, K., Y. Imai, T. Katsuya, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, S. Takami, Y. Nakata, H. Satoh, S. Hisamichi, J. Higaki and T. Ogihara. *American Journal of Hypertension* 13: 140-145 (2000.2)．
105. Gene polymorphism of the renin-angiotensin system associates with risk for lacunar infarction: the Ohasama study.
Takami, S., Y. Imai, T. Katsuya, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, H. Satoh, S. Hisamichi, J. Higaki and T. Ogihara. *American Journal of Hypertension* 13: 121-127 (2000.2)．

106. Acute inorganic mercury vapor inhalation poisoning.
Asano, S., K. Eto, E. Kurisaki, H. Gunji, K. Hiraiwa, M. Sato, H. Satoh, M. Hasuike, N. Hagiwara and H. Wakasa. *Pathology International* 50: 169-174 (2000.3).
107. Occupational and environmental toxicology of mercury and its compounds.
Satoh, H. *Industrial Health* 38: 153-164 (2000.4).
108. Comparison of neurobehavioral changes in three inbred strains of mice prenatally exposed to methylmercury.
Kim, C.-Y., K. Nakai, Y. Kasanuma and H. Satoh. *Neurotoxicology and Teratology* 22: 397-403 (2000.5).
109. Japanese individuals do not harbor the T594M mutation but do have the P592S mutation in the C-terminus of the β -subunit of the epithelial sodium channel: the Ohasama Study.
Matsubara, M., T. Ohkubo, M. Michimata, A. Hozawa, K. Ishikawa, T. Katsuya, K. Nagai, I. Tsuji, J. Higaki, T. Araki, H. Satoh, S. Hisamichi, S. Ito, T. Ogihara and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 18: 861-866 (2000.7).
110. Prediction of stroke by ambulatory blood pressure monitoring versus screening blood pressure measurements in a general population: the Ohasama study.
Ohkubo, T., A. Hozawa, K. Nagai, M. Kikuya, I. Tsuji, S. Ito, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 18: 847-854 (2000.7).
111. Protective effect of melatonin on methylmercury-induced mortality in mice.
Kim, C.-Y., K. Nakai, S. Kameo, N. Kurokawa, Z.-M. Liu and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 191: 241-246 (2000.8).
112. 家庭血圧・自由行動下血圧による脳血管障害の早期予知と予防に関する研究.
今井潤, 佐藤洋, 辻一郎, 永井謙一. *臨床成人病* 30: 1367-1369 (2000.10).
113. Prognosis of isolated systolic and isolated diastolic hypertension as assessed by self-measurement of blood pressure at home.
Hozawa, A., T. Ohkubo, K. Nagai, M. Kikuya, M. Matsubara, I. Tsuji, S. Ito, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Archives of Internal Medicine* 160: 3301-3306 (2000.11).

114. Prognostic significance of blood pressure and heart rate variabilities: the Ohasama study.
Kikuya, M., A. Hozawa, T. Ohkubo, I. Tsuji, M. Michimata, M. Matsubara, M. Ota, K. Nagai, T. Araki, H. Satoh, S. Ito, S. Hisamichi and Y. Imai. *Hypertension* 36: 901-906 (2000.11).
115. Attenuation of hypothermia-induced platelet activation and platelet adhesion to artificial surfaces in vitro by modification of hemoglobin to carry S-nitric oxide and polyethylene glycol.
Fujii, H., S. Fujii, H. Togashi, M. Yoshioka, K. Nakai, H. Satoh, I. Sakuma, O. Kenmotsu and A. Kitabatake. *Thrombosis Research* 100: 519-528 (2000.12).
116. Induction of metallothioneins in the heavy metal resistant fungus *Beauveria bassiana* exposed to copper or cadmium.
Kameo, S., H. Iwahashi, Y. Kojima and H. Satoh. *Analisis* 28: 382-385 (2000).
117. Factors affecting the difference between screening and home blood pressure measurements: the Ohasama study.
Hozawa, A., T. Ohkubo, K. Nagai, M. Kikuya, M. Matsubara, I. Tsuji, S. Ito, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 19: 13-19 (2001.1).
118. Usefulness of home blood pressure measurements in assessing the effect of treatment in a single-blind placebo-controlled open trial.
Imai, Y., T. Ohkubo, A. Nozawa, I. Tsuji, M. Matsubara, T. Araki, K. Chonan, M. Kikuya, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Nagai. *Journal of Hypertension* 19: 179-185 (2001.2).
119. β_3 アドレナリン受容体遺伝子の変異はBMIにどのような影響を及ぼすか？－メタアナリシスを用いた検討から－.
黒川修行, 佐藤洋. *治療* 83: 1434-1437 (2001.3).
120. 日本における大規模疫学試験からわかったこと 日本脂質介入試験の地域対照追跡調査.
吉池信男, 田中平三, 斎藤重幸, 佐藤洋, 小山洋, 久代登志男, 安野尚史, 伊達ちぐさ, 能勢隆之, 木村真理, 竹本泰一郎, 中西昌嗣. *The Lipid* 12: 281-289 (2001.4).
121. Preparation and characterization of SNO-PEG-hemoglobin as a candidate for oxygen transporting material.
Nakai, K., H. Togashi, T. Yasukohchi, I. Sakuma, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. *International Journal of Artificial Organs* 24: 322-328 (2001.5).

122. Green tea and the risk of gastric cancer in Japan.
Tsubono, Y., Y. Nishino, S. Komatsu, C.-C. Hsieh, S. Kanemura, I. Tsuji, H. Nakatsuka, A. Fukao, H. Satoh and S. Hisamichi. *New England Journal of Medicine* 344: 632-636 (2001.5).
123. Effects of family-togetherness on the food selection by primary and junior high school students: family-togetherness means better food.
Kusano-Tsunoh, A., H. Nakatsuka, H. Satoh, H. Shimizu, S. Sato, I. Ito, A. Fukao and S. Hisamichi. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 194: 121-127 (2001.6).
124. 宮城県の児童の生活環境と健康に関する実態調査－児童の生活環境と呼吸器・アレルギー疾患有病率の地域差－.
北條祥子, 吉野博, 角田和彦, 佐藤洋. *環境科学会誌* 14: 451-463 (2001.9).
125. Passive smoking at home and cancer risk: a population-based prospective study in Japanese nonsmoking women.
Nishino, Y., Y. Tsubono, I. Tsuji, S. Komatsu, S. Kanemura, H. Nakatsuka, A. Fukao, H. Satoh and S. Hisamichi. *Cancer Causes and Control* 12: 797-802 (2001.11).
126. Predictive values of automated blood pressure measurement: what can we learn from the Japanese population-the Ohasama study.
Imai, Y., A. Hozawa, T. Ohkubo, I. Tsuji, J. Yamaguchi, M. Matsubara, M. Michimata, J. Hashimoto, T. Fujiwara, K. Nagai, H. Kitaoka, H. Satoh and S. Hisamichi. *Blood Pressure Monitoring* 6: 335-339 (2001.12).
127. Association of BMI with the β_3 -adrenergic receptor gene polymorphism in Japanese: meta-analysis.
Kurokawa, N., K. Nakai, S. Kameo, Z.-M. Liu and H. Satoh. *Obesity Research* 9: 741-745 (2001.12).
128. Aldosterone synthase gene (*CYP11B2*) C-334T polymorphism, ambulatory blood pressure and nocturnal decline in blood pressure in the general Japanese population: the Ohasama study.
Matsubara, M., M. Kikuya, T. Ohkubo, H. Metoki, F. Omori, T. Fujiwara, M. Suzuki, M. Michimata, A. Hozawa, T. Katsuya, J. Higaki, I. Tsuji, T. Araki, T. Ogihara, H. Satoh, S. Hisamichi, K. Nagai, H. Kitaoka and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 19: 2179-2184 (2001.12).

129. Blood pressure control assessed by home, ambulatory and conventional blood pressure measurements in the Japanese general population: the Ohasama study.
Hozawa, A., T. Ohkubo, M. Kikuya, J. Yamaguchi, K. Ohmori, T. Fujiwara, J. Hashimoto, M. Matsubara, H. Kitaoka, K. Nagai, I. Tsuji, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Hypertension Research* 25: 57-63 (2002.1).
130. Relationship between personality and self-measured blood pressure value at home: the Ohasama study.
Hozawa, A., T. Ohkubo, I. Tsuji, M. Kikuya, M. Matsubara, T. Suzuki, K. Nagai, H. Kitaoka, Y. Arai, T. Hosokawa, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Clinical and Experimental Hypertension* 24: 115-123 (2002.1).
131. Developmental neurotoxicity following prenatal exposures to methylmercury and PCBs in humans from epidemiological studies.
Nakai, K. and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 196: 89-98 (2002.2).
132. Association of a mast cell chymase gene variant with HDL cholesterol, but not with blood pressure in the Ohasama study.
Fukuda, M., T. Ohkubo, T. Katsuya, A. Hozawa, T. Asai, M. Matsubara, H. Kitaoka, I. Tsuji, T. Araki, H. Satoh, J. Higaki, S. Hisamichi, Y. Imai and T. Ogihara. *Hypertension Research* 25: 179-184 (2002.3).
133. ヘモグロビン系人工酸素運搬体の血小板に及ぼす影響と人工材料としての臨床応用の可能性。
藤井聡, 藤井ひとみ, 富樫廣子, 吉岡充弘, 仲井邦彦, 佐藤洋, 佐久間一郎, 剣持修, 北畠顕. *人工血液* 10: 17-20 (2002.3).
134. Insufficient duration of action of antihypertensive drugs mediates high blood pressure in the morning in hypertensive population: the Ohasama study.
Chonan, K., J. Hashimoto, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, M. Kikuya, A. Hozawa, M. Matsubara, M. Suzuki, T. Fujiwara, T. Araki, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Clinical and Experimental Hypertension* 24: 261-275 (2002.5).
135. Angiotensin-converting enzyme I/D polymorphism and hypertension: the Ohasama study.
Matsubara, M., M. Suzuki, T. Fujiwara, M. Kikuya, H. Metoki, M. Michimata, T. Araki, I. Kazama, T. Satoh, J. Hashimoto, A. Hozawa, T. Ohkubo, I. Tsuji, T. Katsuya, J. Higaki, T. Ogihara, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 20: 1121-1126 (2002.6).

136. *T+31C* polymorphism of angiotensinogen gene and nocturnal blood pressure decline: the Ohasama study.
Fujiwara, T., T. Katsuya, M. Matsubara, T. Mikami, K. Ishikawa, M. Kikuya, T. Ohkubo, A. Hozawa, M. Michimata, M. Suzuki, H. Metoki, K. Asayama, T. Araki, I. Tsuji, J. Higaki, H. Satoh, S. Hisamichi, T. Ogihara and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 15: 628-632 (2002.7).
137. Prognostic significance of the nocturnal decline in blood pressure in individuals with and without high 24-h blood pressure: the Ohasama study.
Ohkubo, T., A. Hozawa, J. Yamaguchi, M. Kikuya, K. Ohmori, M. Michimata, M. Matsubara, J. Hashimoto, H. Hoshi, T. Araki, I. Tsuji, H. Satoh, S. Hisamichi and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 20: 2183-2189 (2002.11).
138. 発育・発達期における学校環境整備の意義。
佐藤洋, 黒川修行. *学校保健研究* 44: 386-390 (2002.12).
139. ヘモグロビン系人工酸素運搬体: 体外循環, 人工血管コーティング, 心筋保護等臨床応用にむけての基礎的検討。
藤井聡, 藤井ひとみ, 富樫広子, 吉岡充弘, 仲井邦彦, 佐藤洋, 佐久間一郎, 北畠顕, 剣物修. *Cardiovascular Anesthesia* 6: 67-72 (2002).
140. Fish intake, plasma ω -3 polyunsaturated fatty acids, and polychlorinated dibenzo-*p*-dioxins/polychlorinated dibenzo-furans and co-planar polychlorinated biphenyls in the blood of the Japanese population.
Arisawa, K., T. Matsumura, C. Tohyama, H. Saito, H. Satoh, M. Nagai, M. Morita and T. Suzuki. *International Archives of Occupational and Environmental Health* 76: 205-215 (2003.4).
141. *S*-nitrosylated polyethylene glycol-conjugated hemoglobin derivative as a candidate material for oxygen therapeutics.
Nakai, K., I. Sakuma, H. Togashi, M. Yoshioka, T. Sugawara, H. Satoh and A. Kitabatake. *Advances in Experimental Medicine and Biology* 519: 207-216 (2003.4).
142. Estimation of daily mercury intake from seafood in Japanese women: Akita cross-sectional study.
Iwasaki, Y., M. Sakamoto, K. Nakai, T. Oka, M. Dakeishi, T. Iwata, H. Satoh and K. Murata. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 200: 67-73 (2003.6).
143. Behavioral teratology of mercury and its compounds.
Satoh, H. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 201: 1-9 (2003.9).

144. Relationship between the β_3 -adrenoceptor gene variant and body fat in Japanese children.
Kurokawa, N., K. Nakai, S. Kameo, Z.-M. Liu and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 201: 271-276 (2003.12).
145. The Tohoku study of child development: a cohort study of effects of perinatal exposures to methylmercury and environmentally persistent organic pollutants on neurobehavioral development in Japanese children.
Nakai, K., K. Suzuki, T. Oka, K. Murata, M. Sakamoto, K. Okamura, T. Hosokawa, T. Sakai, T. Nakamura, Y. Saito, N. Kurokawa, S. Kameo and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 202: 227-237 (2004.3).
146. Epidemiology of hypertension based on ambulatory blood pressure monitoring and self-measurement of blood pressure at home.
Imai, Y., T. Ohkubo, K. Asayama, H. Metoki, M. Kikuya, J. Hashimoto, T. Ugajin, K. Totsune and H. Satoh. *Journal of Health Science* 50: 113-119 (2004.4).
147. セイシェル共和国における水銀と健康の問題。
岡知子, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 佐藤洋. *環境科学会誌* 17: 163-168 (2004.5).
148. 水銀と健康問題－過去と現在－.
佐藤洋, 岡知子, 亀尾聡美, 仲井邦彦. *環境科学会誌* 17: 157-162 (2004.5).
149. メチル水銀と健康問題－未来－.
村田勝敬, 仲井邦彦, 佐藤洋. *環境科学会誌* 17: 191-198 (2004.5).
150. How many times should blood pressure be measured at home for better prediction of stroke risk? Ten-year follow-up results from the Ohasama study.
Ohkubo, T., K. Asayama, M. Kikuya, H. Metoki, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 22: 1099-1104 (2004.6).
151. Maternal and fetal mercury and *n*-3 polyunsaturated fatty acids as a risk and benefit of fish consumption to fetus.
Sakamoto, M., M. Kubota, X.-J. Liu, K. Murata, K. Nakai and H. Satoh. *Environmental Science & Technology* 38: 3860-3863 (2004.7).
152. Prediction of stroke by self-measurement of blood pressure at home versus casual screening blood pressure measurement in relation to the Joint National Committee 7 classification: the Ohasama study.
Asayama, K., T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *Stroke* 35: 2356-2361 (2004.10).

153. Dietary habits and selenium intake of residents in mountain and coastal communities in Japan.
Miyazaki, Y., H. Koyama, Y. Sasada, H. Satoh, M. Nojiri and S. Suzuki. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology* 50: 309-319 (2004.10).
154. An S-nitrosylated hemoglobin derivative protects the rat hippocampus from ischemia-induced long-term potentiation impairment with a time window.
Otani, H., S. Jesmin, H. Togashi, I. Sakuma, K. Nakai, H. Satoh, M. Yoshioka and A. Kitabatake. *Journal of Pharmacological Sciences* 96: 188-198 (2004.10).
155. Prognostic value of home heart rate for cardiovascular mortality in the general population.
Hozawa, A., T. Ohkubo, M. Kikuya, T. Ugajin, J. Yamaguchi, K. Asayama, H. Metoki, K. Ohmori, H. Hoshi, J. Hashimoto, H. Satoh, I. Tsuji and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 17: 1005-1010 (2004.11).
156. Effects of methylmercury on neurodevelopment in Japanese children in relation to the Madeiran study.
Murata, K., M. Sakamoto, K. Nakai, P. Weihe, M. Dakeishi, T. Iwata, X.-J. Liu, T. Ohno, T. Kurosawa, K. Kamiya and H. Satoh. *International Archives of Occupational and Environmental Health* 77: 571-579 (2004.11).
157. Prediction of ischaemic and haemorrhagic stroke by self-measured blood pressure at home: the Ohasama study.
Ohkubo, T., K. Asayama, M. Kikuya, H. Metoki, T. Obara, S. Saito, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *Blood Pressure Monitoring* 9: 315-320 (2004.12).
158. 仙台市児童・生徒の身長・体重の年次推移について (1934年～2001年まで).
黒川修行, 佐藤洋. *学校保健研究* 46: 543-553 (2004.12).
159. Ambulatory blood pressure and 10-year risk of cardiovascular and noncardiovascular mortality: the Ohasama study.
Kikuya, M., T. Ohkubo, K. Asayama, H. Metoki, T. Obara, S. Saito, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Hypertension* 45: 240-245 (2005.2).
160. Lung cancer death rates by smoking status: Comparison of the three-prefecture cohort study in Japan to the cancer prevention study II in the USA.
Marugame, T., T. Sobue, H. Satoh, S. Komatsu, Y. Nishino, H. Nakatsuka, T. Nakayama, T. Suzuki, T. Takezaki, K. Tajima and S. Tominaga. *Cancer Science* 96: 120-126 (2005.2).

161. Metal components analysis of metallothionein-III in the brain sections of metallothionein-I and metallothionein-II null mice exposed to mercury vapor with HPLC/ICP-MS.
Kameo, S., K. Nakai, N. Kurokawa, T. Kanehisa, A. Naganuma and H. Satoh. *Analytical and Bioanalytical Chemistry* 381: 1514-1519 (2005.4).
162. Use of 2003 European Society of Hypertension-European Society of Cardiology guidelines for predicting stroke using self-measured blood pressure at home: the Ohasama study.
Asayama, K., T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, T. Obara, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *European Heart Journal* 26: 2026-2031 (2005.5).
163. A 13-week toxicity study of bismuth in rats by intratracheal intermittent administration.
Sano, Y., H. Satoh, M. Chiba, M. Okamoto, K. Serizawa, H. Nakashima and K. Omae. *Journal of Occupational Health* 47: 242-248 (2005.5).
164. Effects of hair treatment on hair mercury-the best biomarker of methylmercury exposure?
Dakeishi, M., K. Nakai, M. Sakamoto, T. Iwata, K. Suzuki, X.-J. Liu, T. Ohno, T. Kurosawa, T. Aoki, H. Satoh and K. Murata. *Environmental Health and Preventive Medicine* 10: 208-212 (2005.7).
165. Oral toxicity of bismuth in rat: single and 28-day repeated administration studies.
Sano, Y., H. Satoh, M. Chiba, M. Okamoto, K. Serizawa, H. Nakashima and K. Omae. *Journal of Occupational Health* 47: 293-298 (2005.7).
166. White-coat hypertension as a risk factor for the development of home hypertension. The Ohasama study.
Ugajin, T., A. Hozawa, T. Ohkubo, K. Asayama, M. Kikuya, T. Obara, H. Metoki, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh, I. Tsuji and Y. Imai. *Archives of Internal Medicine* 165: 1541-1546 (2005.7).
167. Prognosis of "masked" hypertension and "white-coat" hypertension detected by 24-h ambulatory blood pressure monitoring. 10-year follow-up from the Ohasama study.
Ohkubo, T., M. Kikuya, H. Metoki, K. Asayama, T. Obara, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Journal American College of Cardiology* 46: 508-515 (2005.8).

168. Factors affecting home-measured resting heart rate in the general population. The Ohasama study.
Yamaguchi, J., A. Hozawa, T. Ohkubo, M. Kikuya, T. Ugajin, K. Ohmori, J. Hashimoto, H. Hoshi, H. Satoh, I. Tsuji and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 18: 1218-1225 (2005.9).
169. 家庭血圧による血圧日間変動の脳卒中予測能。
菊谷昌浩, 大久保孝義, 浅山敬, 目時弘仁, 小原拓, 井上隆輔, 星晴久, 橋本潤一郎, 戸恒和人, 佐藤洋, 今井潤. *血圧* 12: 990-991 (2005.9).
170. 血漿フィブリノーゲン値と無症候性脳血管障害との関連 大迫研究。
青野蓉子, 菊谷昌浩, 原梓, 大久保孝義, 近藤健男, 浅山敬, 井上隆輔, 目時弘仁, 小原拓, 新谷依子, 橋本潤一郎, 戸恒和人, 星晴久, 佐藤洋, 出江伸一, 今井潤. *日本循環器病予防学会誌* 40: 181-189 (2005.10).
171. Concentrations of copper and zinc in liver and serum samples in biliary atresia patients at different stages of traditional surgeries.
Sato, C., H. Koyama, Y. Hayashi, T. Chiba, R. Ohi and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 207: 271-277 (2005.12).
172. Difference in methylmercury exposure to fetus and breast-feeding offspring: a mini-review.
Sakamoto, M., K. Murata, K. Nakai and H. Satoh. *Korean Journal of Environmental Health* 31: 179-186 (2005).
173. Factors affecting hand tremor and postural sway in children.
Iwata, T., K. Nakai, M. Sakamoto, M. Dakeishi, H. Satoh and K. Murata. *Environmental Health and Preventive Medicine* 11: 17-23 (2006.1).
174. Trends in smoking by birth cohorts born between 1900 and 1977 in Japan.
Marugame, T., K.-i. Kamo, T. Sobue, S. Akiba, S. Mizuno, H. Satoh, T. Suzuki, K. Tajima, A. Tamakoshi and S. Tsugane. *Preventive Medicine* 42: 120-127 (2006.2).
175. Prognostic significance for stroke of a morning pressor surge and a nocturnal blood pressure decline: the Ohasama study.
Metoki, H., T. Ohkubo, M. Kikuya, K. Asayama, T. Obara, J. Hashimoto, K. Totsume, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Hypertension* 47: 149-154 (2006.2).

176. Subclinical effects of prenatal methylmercury exposure on cardiac autonomic function in Japanese children.
Murata, K., M. Sakamoto, K. Nakai, M. Dakeishi, T. Iwata, X.-J. Liu and H. Satoh. *International Archives of Occupational and Environmental Health* 79: 379-386 (2006.5).
177. Developmental and neurobehavioral effects of perinatal exposure to polychlorinated biphenyls in mice.
Sugawara, N., K. Nakai, T. Nakamura, T. Ohba, K. Suzuki, S. Kameo, C. Satoh and H. Satoh. *Archives of Toxicology* 80: 286-292 (2006.5).
178. Fish consumption and time to pregnancy in Japanese women.
Arakawa, C., J. Yoshinaga, K. Okamura, K. Nakai and H. Satoh. *International Journal of Hygiene and Environmental Health* 209: 337-344 (2006.7).
179. Association of maternal smoking during pregnancy and infant neurobehavioral status.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Oka, T. Sakai, T. Hosokawa, K. Okamura, C. Satoh and H. Satoh. *Psychological Reports* 99: 97-106 (2006.8).
180. Prognostic significance of night-time, early morning, and daytime blood pressures on the risk of cerebrovascular and cardiovascular mortality: the Ohasama Study.
Metoki, H., T. Ohkubo, M. Kikuya, K. Asayama, T. Obara, A. Hara, T. Hirose, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 24: 1841-1848 (2006.9).
181. Prediction of stroke by home “morning” versus “evening” blood pressure values: the Ohasama study.
Asayama, K., T. Ohkubo, M. Kikuya, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, A. Hara, T. Hirose, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *Hypertension* 48: 737-743 (2006.10).
182. 家庭血圧に基づいた高血圧管理ガイドラインの有用性 大迫研究
浅山敬, 大久保孝義, 小原拓, 菊谷昌浩, 日時弘仁, 井上隆輔, 星晴久, 橋本潤一郎, 戸恒和人, 佐藤洋, 今井潤. *血圧* 13: 1130-1131 (2006.10).
183. Introversion associated with large differences between screening blood pressure and home blood pressure measurement: The Ohasama study.
Hozawa, A., T. Ohkubo, T. Obara, H. Metoki, M. Kikuya, K. Asayama, K. Totsune, J. Hashimoto, H. Hoshi, Y. Arai, H. Satoh, T. Hosokawa and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 24: 2183-2189 (2006.11).

184. Predicting stroke using four ambulatory blood pressure monitoring-derived blood pressure indices: the Ohasama study.
Inoue, R., T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, K. Asayama, T. Obara, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh, Y. Kondo and Y. Imai. *Hypertension* 48: 877-882 (2006.11).
185. Correlations between mercury concentrations in umbilical cord tissue and other biomarkers of fetal exposure to methylmercury in the Japanese population.
Sakamoto, M., T. Kaneko, K. Murata, K. Nakai, H. Satoh and H. Akagi. *Environmental Research* 103: 106-111 (2007.1).
186. Detection of carotid atherosclerosis in individuals with masked hypertension and white-coat hypertension by self-measured blood pressure at home: the Ohasama study.
Hara, A., T. Ohkubo, M. Kikuya, Y. Shintani, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, T. Hashimoto, T. Harasawa, Y. Aono, H. Otani, K. Tanaka, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 25: 321-327 (2007.2).
187. Heavy-metal contamination status of Japanese cranes (*Grus japonensis*) in east Hokkaido, Japan. -extensive mercury pollution.
Teraoka, H., Y. Kumagai, H. Iwai, K. Haraguchi, T. Ohba, K. Nakai, H. Satoh, M. Sakamoto, K. Momose, H. Masatomi and T. Hiraga. *Environmental Toxicology and Chemistry* 26: 307-312 (2007.2).
188. Plasma fibrinogen, ambulatory blood pressure, and silent cerebrovascular lesions: the Ohasama study.
Aono, Y., T. Ohkubo, M. Kikuya, A. Hara, T. Kondo, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, Y. Shintani, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh, S.-i. Izumi and Y. Imai. *Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology* 27: 963-968 (2007.4).
189. Ambulatory arterial stiffness index and 24-hour ambulatory pulse pressure as predictors of mortality in Ohasama, Japan.
Kikuya, M., J. A. Staessen, T. Ohkubo, L. Thijs, H. Metoki, K. Asayama, T. Obara, R. Inoue, Y. Li, E. Dolan, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh, J.-G. Wang, E. O'Brien and Y. Imai. *Stroke* 38: 1161-1166 (2007.4).
190. Decrease in risk of lung cancer death in Japanese men after smoking cessation by age at quitting: pooled analysis of three large-scale cohort studies.
Wakai, K., T. Marugame, S. Kuriyama, T. Sobue, A. Tamakoshi, H. Satoh, K. Tajima, T. Suzuki and S. Tsugane. *Cancer Science* 98: 584-589 (2007.4).

191. 私の水銀中毒学 有害化学物質の胎児期曝露の影響：Behavioral Teratology からのアプローチ．
佐藤洋．日本衛生学雑誌 62: 881-887 (2007.5)．
192. Reproducibility of nocturnal blood pressure assessed by self-measurement of blood pressure at home.
Hosohata, K., M. Kikuya, T. Ohkubo, H. Metoki, K. Asayama, R. Inoue, T. Obara, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. Hypertension Research 30: 707-712 (2007.8)．
193. Ambulatory blood pressure, blood pressure variability and the prevalence of carotid artery alteration: the Ohasama study.
Shintani, Y., M. Kikuya, A. Hara, T. Ohkubo, H. Metoki, K. Asayama, R. Inoue, T. Obara, Y. Aono, T. Hashimoto, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. Journal of Hypertension 25: 1704-1710 (2007.8)．
194. メチル水銀の胎児期曝露の生体指標としての臍帯水銀濃度の有用性の検討．
村田勝敬, 巖石美和子, 島田美幸, 佐藤洋．日本衛生学雑誌 62: 949-959 (2007.9)．
195. Stroke risk in systolic and combined systolic and diastolic hypertension determined using ambulatory blood pressure. The Ohasama study.
Inoue, R., T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, K. Asayama, T. Obara, T. Hirose, A. Hara, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh, Y. Kondo and Y. Imai. American Journal of Hypertension 20: 1125-1131 (2007.10)．
196. Assessment of intrauterine methylmercury exposure affecting child development: messages from the newborn.
Murata, K., M. Dakeishi, M. Shimada and H. Satoh. Tohoku Journal of Experimental Medicine 213: 187-202 (2007.11)．
197. Incorporating self-blood pressure measurements at home in the guideline from the Ohasama study.
Ohkubo, T., M. Kikuya, K. Asayama, H. Metoki, A. Hara, R. Inoue, T. Obara, T. Hirose, R. Hatanaka, A. Hozawa, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Ttsune, H. Satoh and Y. Imai. Blood Pressure Monitoring 12: 407-409 (2007.12)．
198. 小規模の金採掘鉱山における水銀汚染による健康影響の現状．
吉田稔, 亀尾聡美, 佐藤洋．八戸大学紀要 35: 81-86 (2007.12)．

199. Permanent waving does not change mercury concentration in the proximal segment of hair close to scalp.
Ohba, T., N. Kurokawa, K. Nakai, M. Shimada, K. Suzuki, N. Sugawara, S. Kameo, C. Satoh and H. Satoh. *Tohoku Journal of Experimental Medicine* 214: 69-78 (2008.1).
200. Changes in mercury concentrations of segmental maternal hair during gestation and their correlations with other biomarkers of fetal exposure to methylmercury in the Japanese population.
Sakamoto, M., M. Kubota, K. Murata, K. Nakai, I. Sonoda and H. Satoh. *Environmental Research* 106: 270-276 (2008.2).
201. Association of microalbuminuria with brachial-ankle pulse wave velocity: the Ohasama study.
Ishikawa, T., J. Hashimoto, R. H. Morito, T. Hanazawa, T. Aikawa, A. Hara, Y. Shintani, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, M. Kikuya, T. Ohkubo, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 21: 413-418 (2008.4).
202. Determination of dioxins and polychlorinated biphenyls in breast milk, maternal blood and cord blood from residents of Tohoku, Japan.
Nakamura, T., K. Nakai, T. Matsumura, S. Suzuki, Y. Saito and H. Satoh. *Science of the Total Environment* 394: 39-51 (2008.5).
203. Optimal cutoff point of waist circumference and use of home blood pressure as a definition of metabolic syndrome: the Ohasama study.
Sato, A., K. Asayama, T. Ohkubo, M. Kikuya, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, A. Hara, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh, Y. Oka and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 21: 514-520 (2008.5).
204. 環境科学シンポジウム2007 4. 人間－環境系の視点からの保健医学に関する研究.
佐藤洋. 環境科学会誌 21: 203-204 (2008.5).
205. Population attributable fraction of mortality associated with tobacco smoking in Japan: a pooled analysis of three large-scale cohort studies.
Katanoda, K., T. Marugame, K. Saika, H. Satoh, K. Tajima, T. Suzuki, A. Tamakoshi, S. Tsugane and T. Sobue. *Journal of Epidemiology* 18: 251-264 (2008.6).

206. Effects of perinatal coexposure to methylmercury and polychlorinated biphenyls on neurobehavioral development in mice.
Sugawara, N., T. Ohba, K. Nakai, A. Kakita, T. Nakamura, K. Suzuki, S. Kameo, M. Shimada, N. Kurokawa, C. Satoh and H. Satoh. *Archives of Toxicology* 82: 387-397 (2008.6).
207. Proposal of a risk-stratification system for the Japanese population based on blood pressure levels: the Ohasama study.
Asayama, K., T. Ohkubo, A. Sato, A. Hara, T. Obara, D. Yasui, H. Metoki, R. Inoue, M. Kikuya, J. Hashimoto, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Hypertension Research* 31: 1315-1322 (2008.7).
208. Dietary intake of PCDDs/PCDFs and coplanar PCBs among the Japanese population estimated by duplicate portion analysis: a low proportion of adults exceed the tolerable daily intake.
Arisawa, K., H. Uemura, M. Hiyoshi, H. Satoh, Y. Sumiyoshi, K. Morinaga, K. Kodama, T.-i. Suzuki, M. Nagai and T. Suzuki. *Environmental Research* 108: 252-259 (2008.8).
209. Predictive value of ambulatory heart rate in the Japanese general population: the Ohasama study.
Hozawa, A., R. Inoue, T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, K. Asayama, A. Hara, T. Hirose, A. Kanno, T. Obara, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsumi, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 26: 1571-1576 (2008.8).
210. The ADRB3 Trp64Arg variant and BMI: a meta-analysis of 44,833 individuals.
Kurokawa, N., E. Young, Y. Oka, H. Satoh, N. Wareham, M. Sandhu and R. Loos. *International Journal of Obesity* 32: 1240-1249 (2008.8).
211. PCDDs/PCDFs and dioxin-like PCBs: Recent body burden levels and their determinants among general inhabitants in Japan.
Uemura, H., K. Arisawa, M. Hiyoshi, H. Satoh, Y. Sumiyoshi, K. Morinaga, K. Kodama, T.-i. Suzuki, M. Nagai and T. Suzuki. *Chemosphere* 73: 30-37 (2008.8).
212. Associations of environmental exposure to dioxins with prevalent diabetes among general inhabitants in Japan.
Uemura, H., K. Arisawa, M. Hiyoshi, H. Satoh, Y. Sumiyoshi, K. Morinaga, K. Kodama, T.-i. Suzuki and M. Nagai. *Environmental Research* 108: 63-68 (2008.9).
213. 粒子状物質の循環器系への影響.
佐藤洋. *呼吸器科* 14: 185-190 (2008.9).

214. 魚介類等に含まれるメチル水銀の健康リスク評価。
佐藤洋. Biomedical Research on Trace Elements 19: 227-229 (2008.10).
215. No effect of the Trp64Arg variant of the β_3 -adrenergic receptor gene on weight loss by diet and exercise intervention among Japanese adults.
Kuriyama, S., T. Shimazu, A. Hozawa, S. Kure, N. Kurokawa, M. Kakizaki, T. Sone, K. Matsuda-Ohmori, N. Nakaya, H. Satoh and I. Tsuji. Metabolism: Clinical and Experimental 57: 1570-1575 (2008.11).
216. Oral toxicity of Indium in rats: single and 28-day repeated administration studies.
Asakura, K., H. Satoh, M. Chiba, M. Okamoto, K. Serizawa, M. Nakano and O. Kazuyuki. Journal of Occupational Health 50: 471-479 (2008.12).
217. Day-by-day variability of blood pressure and heart rate at home as a novel predictor of prognosis: the Ohasama study.
Kikuya, M., T. Ohkubo, H. Metoki, K. Asayama, A. Hara, T. Obara, R. Inoue, H. Hoshi, J. Hashimoto, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. Hypertension 52: 1045-1050 (2008.12).
218. Trends in growth status among schoolchildren in Sendai, Japan, 1994-2003: leveling-off of mean body height and weight.
Kurokawa, N., K. Nakai, K. Suzuki, K. Sakurai, M. Shimada, S. Kameo, H. Nakatsuka and H. Satoh. Tohoku Journal of Experimental Medicine 216: 371-375 (2008.12).
219. Depressed serum selenoprotein P: possible new predictor of increased risk for cerebrovascular events.
Koyama, H., R. Abdulah, T. Ohkubo, Y. Imai, H. Satoh and K. Nagai. Nutrition Research (New York, N.Y.) 29: 94-99 (2009.2).
220. 3つの肥満判定指標別にみた仙台市児童・生徒の肥満児の出現率について。
黒川修行, 佐藤洋. 学校保健研究 51: 406-410 (2010.2).
221. Trends of body mass index distribution in schoolchildren in Sendai, Japan, 1989-2003.
Kurokawa, N., K. Nakai, K. Suzuki, N. Sugawara, K. Sakurai, T. Ohba, M. Shimada, S. Kameo, H. Nakatsuka and H. Satoh. Obesity Research & Clinical Practice 3: 21-27 (2009.3).

222. Gene expression profiles in the brain of the neonate mouse perinatally exposed to methylmercury and/or polychlorinated biphenyls.
Shimada, M., S. Kameo, N. Sugawara, K. Yaginuma-Sakurai, N. Kurokawa, S. Mizukami-Murata, K. Nakai, I. Hitoshi and H. Satoh. Archives of Toxicology 84: 271-286 (2009.4).
223. Prevalence of metabolic syndrome associate with body burden levels of dioxin and related compounds among general inhabitants in Japan.
Uemura, H., K. Arisawa, M. Hiyoshi, A. Kitayama, H. Takami, F. Sawachika, S. Dakeshita, K. Nii, H. Satoh, Y. Sumiyoshi, K. Morinaga, K. Kodama, T-i. Suzuki, M. Nagai and T. Suzuki. Environmental Health Perspectives 117: 568-573 (2009.4).
224. Assessment of exposure to methylmercury in pregnant Japanese women by food frequency questionnaire.
Yaginuma-Sakurai, K., M. Shimada, T. Ohba, K. Nakai, K. Suzuki, N. Kurokawa, S. Kameo and H. Satoh. Public Health Nutrition: 1-7 (2009.4).
225. Detection of silent cerebrovascular lesions in individuals with 'masked' and 'white-coat' hypertension by home blood pressure measurement: the Ohasama study.
Hara, A., T. Ohkubo, T. Kondo, M. Kikuya, Y. Aono, S. Hanawa, K. Shioda, S. Miyamoto, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, T. Hirose, K. Totsune, H. Hoshi, S.-I. Izumi, H. Satoh and Y. Imai. Journal of Hypertension 27: 1049-1055 (2009.5).
226. Repeated evening home blood pressure measurement improves prognostic significance for stroke: a 12-year follow-up of the Ohasama study.
Asayama, K., T. Ohkubo, A. Hara, T. Hirose, D. Yasui, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, M. Kikuya, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. Blood Pressure Monitoring 14: 93-98 (2009.6).
227. The association between masked hypertension and waist circumference as an obesity-related anthropometric index for metabolic syndrome: the Ohasama study.
Asayama, K., A. Sato, T. Ohkubo, A. Mimura, K. Hayashi, M. Kikuya, D. Yasui, A. Kanno, A. Hara, T. Hirose, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. Hypertension Research 32: 438-443 (2009.6).
228. 同一学年間における誕生月別にみた児童・生徒の身長・体重の関係。
黒川修行, 佐藤洋. 学校保健研究 51: 90-94 (2009.6).

229. Stroke risk of blood pressure indices determined by home blood pressure measurement: the Ohasama study.
Inoue, R., T. Ohkubo, M. Kikuya, H. Metoki, K. Asayama, A. Kanno, T. Obara, T. Hirose, A. Hara, H. Hoshi, K. Totsune, H. Satoh, Y. Kondo and Y. Imai. *Stroke* 40: 2859-2861 (2009.8).
230. 東北コーホート調査とばく露評価.
仲井邦彦, 中村朋之, 村田勝敬, 佐藤洋. *日本衛生学雑誌* 64: 749-758 (2009.9).
231. Genotoxicity studies of heavy metals: lead, bismuth, indium, silver and antimony.
Asakura, K., H. Satoh, M. Chiba, M. Okamoto, K. Serizawa, M. Nakano and K. Omae. *Journal of Occupational Health* 51: 498-512 (2009.11).
232. Influence of alcohol intake on circadian blood pressure variation in Japanese men: the Ohasama study.
Nakashita, M., T. Ohkubo, A. Hara, H. Metoki, M. Kikuya, T. Hirose, M. Tsubota-Utsugi, K. Asayama, R. Inoue, A. Kanno, T. Obara, H. Hoshi, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 22: 1171-1176 (2009.11).
233. Mercury and heavy metal profiles of maternal and umbilical cord RBCs in Japanese population.
Sakamoto, M., K. Murata, M. Kubota, K. Nakai and H. Satoh. *Ecotoxicology and Environmental Safety* 73: 1-6 (2010.1).
234. The effects of smoking and smoking cessation on mortality from cardiovascular disease among Japanese: pooled analysis of three large-scale cohort studies in Japan.
Honjo, K., H. Iso, S. Tsugane, A. Tamakoshi, H. Satoh, K. Tajima, T. Suzuki and T. Sobue. *Tobacco Control* 19: 50-57 (2010.2).
235. Intervention study on cardiac autonomic nervous effects of methylmercury from seafood.
Yaginuma-Sakurai, K., K. Murata, M. Shimada, K. Nakai, N. Kurokawa, S. Kameo and H. Satoh. *Neurotoxicology and Teratology* 32: 240-245 (2010.3).
236. Association of kidney dysfunction with silent lacunar infarcts and white matter hyperintensity in the general population: the Ohasama study.
Otani, H., M. Kikuya, A. Hara, S. Terata, T. Ohkubo, T. Kondo, T. Hirose, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, A. Kanno, H. Terawaki, M. Nakayama, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh, S.-I. Izumi and Y. Imai. *Cerebrovascular Diseases* 30: 43-50 (2010.4).

237. Adverse effects of methylmercury: environmental health research implications.
Grandjean, P, H. Satoh, K. Murata and K. Eto. *Environmental Health Perspectives* 118: 1137-1145 (2010.8).
238. Relationship of dysregulation of glucose metabolism with white-coat hypertension: the Ohasama study.
Hosaka, M., A. Mimura, K. Asayama, T. Ohkubo, K. Hayashi, M. Kikuya, M. Sato, T. Hashimoto, A. Kanno, A. Hara, T. Obara, H. Metoki, R. Inoue, H. Hoshi, H. Satoh, Y. Oka and Y. Imai. *Hypertension Research* 33: 937-943 (2010.9).
239. Factors associated with day-by-day variability of self-measured blood pressure at home: the Ohasama study.
Kato, T., M. Kikuya, T. Ohkubo, M. Satoh, A. Hara, T. Obara, H. Metoki, K. Asayama, T. Hirose, R. Inoue, A. Kanno, K. Totsune, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 23: 980-986 (2010.9).
240. Association of environmental tobacco smoke exposure with elevated home blood pressure in Japanese women: the Ohasama study.
Seki, M., R. Inoue, T. Ohkubo, M. Kikuya, A. Hara, H. Metoki, T. Hirose, M. Tsubota-Utsugi, K. Asayama, A. Kanno, T. Obara, H. Hoshi, K. Totsune, H. Satoh and Y. Imai. *Journal of Hypertension* 28: 1814-1820 (2010.9).
241. 日本語版不適応行動尺度の作成の試み。
龍田希, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 黒川修行, 島田美幸, 柳沼梢, 佐藤洋, 細川徹. *日本衛生学雑誌* 65: 516-523 (2010.9).
242. 日本語版不適応行動尺度の信頼性と妥当性の検討。
龍田希, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 島田美幸, 柳沼梢, 黒川修行, 佐藤洋, 細川徹. *医学のあゆみ* 234: 1137-1138 (2010.9).
243. Neurobehavioral effects of prenatal exposure to methylmercury and PCBs, and seafood intake: neonatal behavioral assessment scale results of Tohoku study of child development.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Sugawara, T. Nakamura, T. Ohba, M. Shimada, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, N. Kurokawa, K. Murata, C. Satoh and H. Satoh. *Environmental Research* 110: 699-704 (2010.10).

244. Serum magnesium, ambulatory blood pressure, and carotid artery alteration: the Ohasama study.
Hashimoto, T., A. Hara, T. Ohkubo, M. Kikuya, Y. Shintani, H. Metoki, R. Inoue, K. Asayama, A. Kanno, M. Nakashita, S. Terata, T. Obara, T. Hirose, H. Hoshi, K. Totsumi, H. Satoh and Y. Imai. *American Journal of Hypertension* 23: 1292-1298 (2010.12).
245. Dietary patterns and blood levels of PCDDs, PCDFs, and dioxin-like PCBs in 1656 Japanese individuals.
Arisawa, K., H. Uemura, M. Hiyoshi, A. Kitayama, H. Takami, F. Sawachika, Y. Nishioka, M. Hasegawa, M. Tanto, H. Satoh, M. Shima, Y. Sumiyoshi, K. Morinaga, K. Kodama, T.-I. Suzuki and M. Nagai. *Chemosphere* 82: 656-662 (2011.1).
246. Recent trends of body mass index distribution among schoolchildren in Sendai, Japan: Decrease of the prevalence of overweight and obesity, 2003-2009.
Kurokawa, N. and H. Satoh. *Obesity Research & Clinical Practice*: e1-e8 (2011.1).
247. How many measurements are needed to provide reliable information in terms of the ambulatory arterial stiffness index? the Ohasama study.
Kikuya, M., J. A. Staessen, T. Ohkubo, L. Thijs, K. Asayama, M. Satoh, T. Hashimoto, T. Hirose, H. Metoki, T. Obara, R. Inoue, Y. Li, E. Dolan, H. Hoshi, K. Totsumi, H. Satoh, J.-G. Wang, E. O'Brien and Y. Imai. *Hypertension Research* 34: 314-318 (2011.3).
248. 日本語版 Lubben Social Network Scale 短縮版 (LSNS-6) の作成と信頼性および妥当性の検討.
栗本鮎美, 栗田主一, 大久保孝義, 坪田 (宇津木) 恵, 浅山敬, 高橋香子, 末永カツ子, 佐藤洋, 今井潤. *日本老年医学会雑誌* 48: 149-157 (2011.3).
249. 昭和53 (1978) 年度の小学6年生はなぜ身長が低かったのか? - 仙台市児童・生徒の体位データベースから - .
黒川修行, 鹿野裕美, 佐藤洋. *学校保健研究* 53: 64-67 (2011.4).
250. Aldosterone-to-renin ratio and home blood pressure in subjects with higher and lower sodium intake: the Ohasama Study.
Satoh, M., M. Kikuya, A. Hara, T. Ohkubo, T. Mori, H. Metoki, M. T. Utsugi, T. Hirose, T. Obara, R. Inoue, K. Asayama, K. Totsumi, H. Hoshi, H. Satoh and Y. Imai. *Hypertension Research* 34: 361-366 (2011.5).

IV. 口頭発表（学会報告など）

1. 水銀蒸気曝露後の新生仔と成熟モルモットにおける体内水銀分布の比較.
吉田稔, 青山晴彦, 小島昌, 山村行夫, 佐藤洋. 第62回日本産業衛生学会, 青森 (1989.4).
2. 胃癌組織中の Se 濃度.
伊藤俊弘, 小林麻美, 田沢悌二郎, 佐藤洋, 斎藤和雄. 第59回日本衛生学会, 秋田 (1989.5).
3. 子宮内水銀蒸気曝露後の仔モルモットにおける臓器中水銀の動態.
吉田稔, 青山晴彦, 小島昌, 山村行夫, 佐藤洋. 第59回日本衛生学会, 秋田 (1989.5).
4. 札幌市小学校児童および母親の二酸化窒素曝露の実態.
佐藤洋, 細川敏幸, 斎藤和雄. 第59回日本衛生学会, 秋田 (1989.5).
5. 胃癌患者の胃組織における鉄, 亜鉛および銅の濃度.
小林麻美, 伊藤俊弘, 田沢悌二郎, 佐藤洋, 斎藤和雄. 第59回日本衛生学会, 秋田 (1989.5).
6. 室内暖房による汚染が呼吸器系自覚症状に与える影響.
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之, 渡辺孝男. 第38回東北公衆衛生学会, 盛岡 (1989.8).
7. 仙台市学童の体位分布.
中塚晴夫, 佐藤洋, 渡辺孝男, 池田正之. 第37回東北学校保健学会, 盛岡 (1989.8).
8. Selenium concentrations in gastric tissues of the patients with stomach cancer.
Itoh, T., M. Kobayashi, T. Tazawa, H. Satoh and K. Saito. Second Meeting of the International Society for Trace Element Research in Humans, Tokyo (1989.8).
9. Iron, zinc and copper concentrations in the stomach tissues of the patient with stomach cancer.
Kobayashi, M., T. Ito, T. Tazawa, H. Satoh and K. Saito. Second Meeting of the International Society for Trace Element Research in Humans, Tokyo (1989.8).
10. Retention and distribution of mercury in organs of neonatal guinea pigs after in utero exposure to mercury vapor.
Yoshida, M., H. Satoh, S. Kojima and Y. Yamamura. Second Meeting of the International Society for Trace Element Research in Humans, Tokyo (1989.8).

11. 日本人の微量金属のバックグラウンドについての研究：カドミウム摂取量とその経年的変化。
渡辺孝男，中塚晴夫，佐藤洋，山本玲子，池田正之．第60回日本衛生学会，福岡（1990.3）.
12. トルエン曝露ラットの尿中にみいだされた遊離 p -クレゾール量の系統差。
井上修，清治和則，渡辺孝男，中塚晴夫，佐藤洋，池田正之．第63回日本産業衛生学会，熊本（1990.4）.
13. アルコール摂取による尿中 Na，K 排泄量および赤血球内 Na，K 濃度の変化。
小山洋，佐藤洋，鈴木庄亮．第63回日本産業衛生学会，熊本（1990.4）.
14. トリクロロエチレン曝露労働者の尿中代謝物量と曝露量の関係。
清治和則，井上修，河合俊夫，渡辺孝男，中塚晴夫，佐藤洋，池田正之．第63回日本産業衛生学会，熊本（1990.4）.
15. 元水銀鉱山労働者の死因について。
土井陸雄，佐藤洋，岸玲子，福地保馬．第63回日本産業衛生学会，熊本（1990.4）.
16. 地域の環境問題を考える。
佐藤洋．第26回宮城県公衆衛生学会，仙台（1990.5）.
17. 変異原性を指標とした大気汚染評価－変異原性の地域差について－。
玉川勝美，関敏彦，角田行，佐藤洋．第26回宮城県公衆衛生学会，仙台（1990.5）.
18. 衛生学，環境科学そして行動科学。
佐藤洋．第75回東北医学会総会，仙台（1990.5）.
19. Behavioral toxicology of mercury compounds.
Sato, H. Advances in Mercury Toxicology, Tokyo（1990.8）.
20. 西ジャワ農村部における毛髪中亜鉛濃度および一日亜鉛摂取量－地域保健への適用の一考察－。
小山洋，佐藤洋，イダ・ファリダ・リヴァイ，鈴木庄亮．第39回東北公衆衛生学会，福島（1990.8）.
21. 繰り返し調査における自覚症状の季節変動について。
中塚晴夫，佐藤洋，池田正之，渡辺孝男，渡辺知保，小山洋．第39回東北公衆衛生学会，福島（1990.8）.

22. 移住者集団の適応に関する基礎的検討ーボリビアの熱帯低地を例としてー.
渡辺知保, 柏崎浩, 今井秀樹, 佐藤洋, ホセオリアス. 第39回東北公衆衛生学会, 福島 (1990.8).
23. Health examination of workers formerly employed at a mercury mine in Hokkaido, Japan.
Satoh, H., R. Doi, R. Kishi, N. Takahata, F. Moriwaka, K. Tashiro and Y. Fukuchi. 23rd International Conference on Occupational Health, Montreal, Canada (1990.8)
24. Neurobehavioral performances of ex-mercury miners at an average of 18 years after the cessation of chronic exposure to mercury vapor-A case referent study.
Kishi, R., R. Doi, Y. Fukuchi, H. Satoh, T. Satoh, A. Ono, F. Moriwaka, K. Tashiro and N. Takahata. 23rd International Congress on Occupational Health of the International Cimmission on Occupational Health, Montreal, Canada (1990.9).
25. 新生仔マウスの発達に及ぼす妊娠中受動喫煙の影響.
鈴木久子, 渡辺知保, 佐藤洋. 日本産業衛生学会 第49回東北地方会, 弘前 (1990.9).
26. 児童・生徒の肥満に関する一考察: 仙台市の場合.
佐藤洋, 中塚晴夫. 第37回日本学校保健学会, 札幌 (1990.10).
27. 仙台市児童・生徒の体位の分布からの一考察.
中塚晴夫, 小山洋, 渡辺知保, 佐藤洋. 第38回東北学校保健学会, 仙台 (1990.10).
28. ICP 発光分析法による生検肝組織の微量金属分析.
浜田千枝, 松本勇太郎, 千葉康夫, 大井龍司, 小山洋, 佐藤洋. 日本静脈・経腸栄養研究会, 高知 (1991.2).
29. キシレン, エチルベンゼン, トルエン混合曝露労働者の尿中に排泄された代謝物の生物学的モニタリング.
井上修, 清治和則, 鈴木敏巳, 中塚晴夫, 佐藤洋, 河合俊夫, 渡辺孝男, 池田正之. 第64回日本産業衛生学会, 大阪 (1991.3).
30. 簡易前処理尿を用いた HPLC 法による馬尿酸, *o*-, *m*-, *p*-メチル馬尿酸, フェニルグリオキシル酸, マンデル酸のバックグラウンドレベル.
清治和則, 井上修, 鈴木敏巳, 中塚晴夫, 佐藤洋, 河合俊夫, 渡辺孝男, 池田正之. 第64回日本産業衛生学会, 大阪 (1991.3).

31. アルコール摂取時における電解質および微量元素の尿中排泄量の変化．小山洋，佐藤洋，鈴木庄亮．第61回日本衛生学会，京都（1991.4）．
32. 日本人のカルシウム・マグネシウム摂取量－東北地方の一地域における実測．
中塚晴夫，佐藤玲子，山本玲子，佐藤洋，渡辺孝男，池田正之．第61回日本衛生学会，京都（1991.4）．
33. マウスにおける出生前の副流煙曝露が成長後の行動に及ぼす影響．
渡辺知保，佐藤洋．第61回日本衛生学会，京都（1991.4）．
34. マウスにおける出生前のタバコ煙曝露が出生仔に及ぼす行動奇形学的影響．
渡辺知保，鈴木久子，佐藤洋．第27回宮城県公衆衛生学会，仙台（1991.5）．
35. ICP 発光分析法（ICP-AES）を用いた肝胆道疾患患児の生検肝組織内微量元素の分析．
浜田千枝，大井龍司，千葉康夫，松本勇太郎，小山洋，佐藤洋．第28回日本小児外科学会，名古屋（1991.6）．
36. 体内蓄積水銀の呼気中への排出．
南家俊介，渡辺知保，佐藤洋．日本産業衛生学会 第50回東北地方会，秋田（1991.7）．
37. 胆道閉鎖症患児の生検肝組織内微量元素濃度の分析．
浜田千枝，大井龍司，千葉康夫，松本勇太郎，小山洋，佐藤洋．第2回日本微量元素学会，大阪（1991.7）．
38. 児童の視力とコンピュータゲーム．
熊谷進司，佐藤洋，中塚晴夫．第39回東北学校保健学会，福島（1991.8）．
39. 仙台市における児童・生徒の体位のここ13年間の観察．
佐藤洋，中塚晴夫．第39回東北学校保健学会，福島（1991.8）．
40. 一地域集団における家庭血圧・検診時血圧・自由行動下24時間血圧：性別・年代別変動の比較検討．
永井謙一，今井潤，浅沼裕子，佐々木利子，山陰順子，畠山ユリ子，中塚晴夫，佐藤洋，池田正之．第50回日本公衆衛生学会，盛岡（1991.10）．
41. 習慣的アルコール摂取者における血清脂質値と血清亜鉛濃度との関連．
小山洋，佐藤洋，細貝浩章，田村静夫．第50回日本公衆衛生学会，盛岡（1991.10）．

42. 農業労働が食品材料使用と栄養素摂取に与える影響。
中塚晴夫, 佐藤洋, 今井潤, 山本玲子, 佐藤玲子, 永井謙一. 第50回日本公衆衛生学会, 盛岡 (1991.10).
43. 仙台市における児童・生徒の体位のここ13年間の観察。
中塚晴夫, 佐藤洋. 第38回日本学校保健学会, 鹿児島 (1991.10).
44. 中高年勤労者における生活習慣および体格指数と血清銅・亜鉛濃度との関連。
小山洋, 佐藤洋, 細貝浩章. 第56回日本民族衛生学会, 東京 (1991.11).
45. 新生仔モルモットへの水銀蒸気曝露後の肝・腎メタロチオネインと水銀濃度について。
吉田稔, 岸本剛, 山村恵彦, 山村行夫, 佐藤洋. 第62回日本衛生学会, 松山 (1992.3).
46. 血清中セレンとアポ蛋白 A-I, A-II, B 濃度との関連。
小山洋, 渡辺知保, 佐藤洋, 細貝浩章. 第62回日本衛生学会, 松山 (1992.3).
47. マウスにおける無機水銀投与が内因性セレンの分布に及ぼす影響。
渡辺知保, 佐藤洋. 第62回日本衛生学会, 松山 (1992.3).
48. 運動ニューロン疾患と水銀濃度。
森若文雄, 田代邦雄, 土井陸雄, 佐藤洋, 福地保馬, 岸玲子. 第50回日本神経学会北海道地方会, 札幌 (1992.3).
49. 水銀鉱山退職者の健康状態に関する疫学調査 第2報 精神神経・運動機能について。
岸玲子, 土井陸雄, 福地保馬, 佐藤洋. 第65回日本産業衛生学会, 徳島 (1992.3).
50. 母乳を介しての水銀曝露: メチル水銀の場合。
吉田稔, 岸本剛, 山村行夫, 渡辺知保, 佐藤洋. 第65回日本産業衛生学会, 徳島 (1992.3).
51. Exposure to mercury via breast milk in suckling offspring of the maternal guinea pigs exposed to mercury vapor or methylmercury after parturition.
Satoh, H., M. Yoshida, C. Watanabe and Y. Yamamura. Third Meeting of the International Society for Trace Element Research in Humans, Stockholm, Sweden (1992.5).

52. 運動ニューロン疾患と水銀濃度 .
森若文雄, 田代邦雄, 土井陸雄, 佐藤洋, 福地保馬, 岸玲子. 第33回日本神経学会, 鹿児島 (1992.6).
53. エタノール摂取マウスにおける水銀蒸気曝露後の水銀の体内分布 .
本田泉, 大久保治修, 大道弘之, 渡辺知保, 佐藤洋. 日本産業衛生学会 第51回東北地方会, 山形 (1992.6).
54. 微量元素分析の評価値をめぐって－生体試料中の水銀分析の経験から－ .
佐藤洋. 第3回日本微量元素学会, 仙台 (1992.6).
55. S市大規模病院における分煙対策の実態調査から .
望月麻紀, 渡辺知保, 佐藤洋. 第41回東北公衆衛生学会, 秋田 (1992.7).
56. 児童の視力とコンピュータゲーム (続報).
熊谷進司, 佐藤洋, 中塚晴夫. 第40回東北学校保健学会, 山形 (1992.8).
57. Mechanism of urinary cadmium-metallothionein excretion: its positive relationship with urinary *N*-acetyl- β -*D*-glucosaminidase.
Koyama, H., H. Satoh, S. Suzuki and C. Tohyama. Third International Meeting on Metallothionein, Tsukuba (1992.12).
58. 同一集団に繰り返し行われた自記式アンケート調査から－自覚症状を中心に－ .
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 環境科学会1992年会, 東京 (1992.12).
59. 同一集団への繰り返しアンケートへの回答状況とライフスタイルの関連について .
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 都市環境計画 (N 3) シンポジウム, 横浜 (1993.1).
60. 水銀鉱山退職者の健康状態に関する追跡調査 第3報 老化と水銀曝露の複合影響について .
岸玲子, 土井陸雄, 福地保馬, 佐藤洋. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).
61. アルコール摂取時の呼気中水銀排泄 .
佐藤洋, 殷琨, 渡辺知保. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).
62. 食塩摂取の季節変動－陰膳試料の値から－ .
山本玲子, 中塚晴夫, 佐藤洋, 渡辺孝男, 池田正之. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).

63. アルコール摂取時における尿中 Ca, Mg 排泄量増加と尿中ヒドロキシリジン配糖体排泄量.
小山洋, 佐藤洋, 永田稔. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).
64. 繰り返し行われた自記式アンケート調査による自覚症状の季節変動について.
中塚晴夫, 佐藤洋, 池田正之. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).
65. セレン欠乏マウス新生仔の神経行動学的発達.
渡辺知保, 佐藤洋. 第63回日本衛生学会, 東京 (1993.4).
66. 筋萎縮側索硬化症における水銀, セレニウム濃度－北海道での検出－.
森若文雄, 田代邦雄, 佐藤洋, 江島晃子, 渡辺知保. 第2回日本臨床環境医学会, 東京 (1993.4).
67. 水銀研究, 最近の進歩.
佐藤洋. 第66回日本産業衛生学会, 横浜 (1993.5).
68. 母乳を介しての水銀曝露: 母モルモットが有機水銀または無機水銀に曝露された場合.
吉田稔, 岸本剛, 山村行夫, 渡辺知保, 佐藤洋. 第66回日本産業衛生学会, 横浜 (1993.5).
69. 水銀蒸気の呼気中への排泄について.
佐藤洋, 渡辺知保, 小山洋, 中塚晴夫. 日本産業衛生学会 第52回東北地方会, 福島 (1993.6).
70. 繰り返し行われた自記式アンケートにおける身長・体重記載値の再現性について.
中塚晴夫, 佐藤洋. 第29回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1993.6).
71. 家庭血圧及び24時間血圧の年齢階級別分布について.
佐久間まり子, 小山洋, 佐藤洋, 永井謙一, 今井潤. 第42回東北公衆衛生学会, 山形 (1993.7).
72. 血清中 HDL コレステロール値と血清セレン濃度との関連－定期的に運動を行っている者について－.
小山洋, 渡辺知保, 佐藤洋, 細貝浩章. 第42回東北公衆衛生学会, 山形 (1993.7).
73. 長期セレン欠乏マウスの行動学的評価.
渡辺知保, 佐藤洋. 第4回日本微量元素学会, 宇都宮 (1993.7).

74. 児童・生徒の肥満とやせの判定方法について．
中塚晴夫，佐藤洋，小山洋，渡辺知保．第41回東北学校保健学会，秋田（1993.9）．
75. Stimulation of mercury exhalation from the mice by ethanol and its application to evaluating residual mercury in the ex-miners previously exposed to mercury.
Satoh, H., C. Watanabe and K. Yin. 24th Congress of the International Commission on Occupational Health, Nice, France (1993.9).
76. Exposure to mercury via breast milk in suckling offspring of maternal guinea pigs exposed to various mercury compounds after parturition.
Yoshida, M., H. Satoh, C. Watanabe, T. Kishimoto and Y. Yamamura. 24th Congress of the International Commission on Occupational Health, Nice, France (1993.9).
77. 家庭血圧・自由行動下血圧からみた東北地方農村住民の血圧分布について．
今井潤，阿部圭志，佐藤洋，佐久間まり子，久道茂，辻一郎．第4回日本疫学会，仙台（1994.1）．
78. ある地域集団における家庭血圧：一年後の再測定値との比較について．
佐久間まり子，小山洋，佐藤洋，永井謙一，今井潤．第4回日本疫学会，仙台（1994.1）．
79. 飲酒習慣ごとにみた血清セレンとアポ蛋白 A-II との関連．
小山洋，佐藤洋．第4回日本疫学会，仙台（1994.1）．
80. 家庭血圧に基づく降圧療法の評価．
今井潤，阿部圭志，久道茂，辻一郎，佐藤洋，永井謙一．第58回日本循環器学会学術集会，東京（1994.3）．
81. マウスにおけるデキサメタゾンの急性投与が組織中セレン濃度に及ぼす影響．
渡辺知保，佐藤洋．第64回日本衛生学会，金沢（1994.4）．
82. マウスにおける出生前の高体温とメチル水銀投与とが出生後の成長に及ぼす影響．
殷琨，稲葉ひとみ，渡辺知保，佐藤洋．第64回日本衛生学会，金沢（1994.4）．
83. 東北地方の一農村における Mg, Zn, Cu の摂取量－文献値による推定値と実測値との比較を中心として－．
吉田光宏，中塚晴夫，小山洋，渡辺知保，佐藤洋，渡辺孝男．第30回宮城県公衆衛生学会，仙台（1994.6）．

84. 尿中食塩排泄量から見た食塩摂取習慣に関するアンケートの有用性について。
中塚晴夫, 佐藤洋, 小山洋, 渡辺知保, 今井潤, 渡辺孝男. 第30回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1994.6).
85. 繰り返し行ったアンケート回答の再現性。
梅津篤司, 中塚晴夫, 小山洋, 渡辺知保, 佐藤洋. 第30回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1994.6).
86. 水銀蒸気曝露マウスにおける体内水銀分布に GSH 欠乏が及ぼす影響。
金忠龍, 渡辺知保, 佐藤洋. 第53回日本産業衛生学会東北地方会, 仙台 (1994.7).
87. ICP-MS による脳組織中および血清中セレン濃度の測定。
江島晃子, 小山洋, 佐藤洋. 第53回日本産業衛生学会東北地方会, 仙台 (1994.7).
88. 水銀中毒者の組織中水銀分布。
佐藤政男, 殷琨, 渡辺知保, 佐藤洋. 第53回日本産業衛生学会東北地方会, 仙台 (1994.7).
89. アンケートによる身長・体重の再現性と, 末尾の数字とのかかわりについて。
中塚晴夫, 佐藤洋, 渡辺孝男. 第43回東北公衆衛生学会, 仙台 (1994.7).
90. Long-term effect of combined prenatal exposure to heat and methylmercury in mice.
Watanabe, C., K. Yin, H. Inaba and H. Satoh. ICCEF'94, Toyama (1994.9).
91. 妊娠後期モルモットにおける水銀蒸気曝露後の生体内動態。
吉田稔, 吉田勝美, 佐藤洋. 第20回環境トキシコロジーシンポジウム, 東京 (1994.9).
92. 児童・生徒の身長の分布について。
中塚晴夫, 佐藤洋. 第42回東北学校保健学会, 弘前 (1994.9).
93. 尿中食塩排泄量から見た, 食事習慣アンケートの評価 特に男女の差について。
中塚晴夫, 佐藤洋, 渡辺孝男, 池田正之. 第53回日本公衆衛生学会, 鳥取 (1994.10).

94. 児童・生徒の身長分布 特にその男女差について。
中塚晴夫, 佐藤洋. 第41回日本学校保健学会, 大阪 (1994.11).
95. 窒素酸化物の家庭内外曝露量の比較。
北條祥子, 北條博史, 佐藤洋. 第35回大気汚染学会, 盛岡 (1994.11).
96. Toxicological properties and metabolism of mercury; with the emphasis of the method to estimate residual amounts of mercury in the body.
Sato, H. International Workshop on "Environmental Mercury Pollution and Its Health Effects in Amazon River Basin", Rio de Janeiro, Brazil (1994.11).
97. VDT 作業時の眼球露出表面積。
外山みどり, 斎藤進, 佐藤洋. 日本産業衛生学会 産業疲労研究会, 仙台 (1994.12).
98. 家庭血圧測定値と生命予後との関連。
辻一郎, 深尾彰, 久道茂, 今井潤, 阿部圭志, 佐久間まり子, 佐藤洋. 第5回日本疫学会, 大阪 (1995.1).
99. 水銀蒸気曝露後の腎臓における水銀蓄積の主な機序。
金忠龍, 渡辺知保, 佐藤洋. 第65回日本衛生学会, 豊明 (1995.3).
100. 中枢神経組織の元素濃度に及ぼすホルマリン保存の影響。
江島晃子, 小山洋, 渡辺知保, 佐藤洋. 第65回日本衛生学会, 豊明 (1995.3).
101. HPLC-ICP-MS による血清中セレンの分別分析。
小山洋, 渡辺知保, 笠沼勇一, 江島晃子, 金忠龍, 佐藤洋. 第65回日本衛生学会, 豊明 (1995.3).
102. マウスにおけるデキサメタゾンの投与が組織中セレン濃度に及ぼす影響: 慢性投与における検討。
渡辺知保, 佐藤洋, 金忠龍. 第65回日本衛生学会, 豊明 (1995.3).
103. 母なる大地, 生命の水, そして空気は。
佐藤洋. 大気環境学会北海道・東北支部第1回総会, 仙台 (1995.3).
104. 身長別標準体重に関する一考察-学校保健統計の応用を中心として-。
中塚晴夫, 佐藤洋. 第31回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1995.6).
105. 温熱ストレス下におけるマウス肝 GPx と微量元素濃度の変化。
笠沼勇一, 渡辺知保, 佐藤洋. 第6回日本微量元素学会, 東京 (1995.7).

106. 家族性筋萎縮性側索硬化症患者の脊髄（前角・後角・側索・後索）中元素濃度．
江島晃子，青木正志，高橋雅文，渡辺知保，小山洋，佐藤洋．第6回日本微量元素学会，東京（1995.7）．
107. HPLC-ICP-MSによる食後血漿中セレンの増加画分の同定．
小山洋，渡辺知保，笠沼勇一，江島晃子，金忠龍，中塚晴夫，佐藤洋．第6回日本微量元素学会，東京（1995.7）．
108. 家庭血圧測定値と脳卒中発症との関連．
佐久間まり子，今井潤，辻一郎，大久保孝義，永井謙一，佐藤洋，久道茂，阿部圭志．第44回東北公衆衛生学会，盛岡（1995.7）．
109. 母なる大地，生命の水，そして空気は -part 2．
佐藤洋．第11回大学等廃棄物処理施設協議会分科会，仙台（1995.7）．
110. 最近の仙台市児童・生徒の体位変化について．
中塚晴夫，佐藤洋．第43回東北学校保健学会，盛岡（1995.7）．
111. 胎仔期におけるセレン欠乏とメチル水銀投与とが，マウスの出生後の行動に及ぼす影響．
殷琨，渡辺知保，笠沼勇一，佐藤洋．第54回日本産業衛生学会東北地方会，盛岡（1995.7）．
112. プラズマイオン源質量分析法による中枢神経組織の多元素分析．
江島晃子，小山洋，渡辺知保，佐藤洋．プラズマイオン源質量分析法の医・生物学的応用に関する仙台シンポジウム，仙台（1995.8）．
113. 高速液体クロマトグラフィ-プラズマイオン源質量分析装置を用いた血漿中セレン分布の分析．
小山洋，笠沼勇一，金忠龍，江島晃子，渡辺知保，中塚晴夫，佐藤洋．プラズマイオン源質量分析法の医・生物学的応用に関する仙台シンポジウム，仙台（1995.8）．
114. 生体試料中微量元素分析のためのテフロン密閉容器を用いたマイクロウェーブ分解前処理法．
米沢満，水嶋龍司，江島晃子，小山洋，佐藤洋．プラズマイオン源質量分析法の医・生物学的応用に関する仙台シンポジウム，仙台（1995.8）．
115. ICP-MSによる生体微量元素の分析．
佐藤洋．第3回分析科学技術講演会，仙台（1995.8）．

116. Chromatographic patterns of fasting and post-prandial plasma selenium.
Koyama, H., Y. Kasanuma, C.-Y. Kim, A. Ejima, C. Watanabe, H. Nakatsuka and H. Satoh. Fourth Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Taormina, Italy (1995.9).
117. Changes of element concentrations in central nerve tissues after formalin preservation.
Satoh, H., A. Ejima, C. Watanabe and H. Koyama. Fourth Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Taormina, Italy (1995.9).
118. 家庭血圧は心血管死亡を予測する－地域コホートの観察から－.
佐久間まり子, 今井潤, 渡辺哲子, 佐久間博道, 南尚義, 阿部圭志, 辻一郎, 大久保孝義, 久道茂, 佐藤洋, 永井謙一, 伊藤修. 第18回日本高血圧学会総会, 東京 (1995.10).
119. 24時間自由行動下血圧と生命予後との関係.
坂東毅彦, 辻一郎, 今井潤, 永井謙一, 大久保孝義, 佐久間まり子, 佐藤洋, 阿部圭志, 久道茂. 第54回日本公衆衛生学会, 山形 (1995.10).
120. 母性と環境問題.
佐藤洋. 第17回宮城母性衛生学会総会並びに学術集会, 仙台 (1995.11).
121. メチル水銀の Behavioral Teratology.
佐藤洋. 名古屋市立大学医学部衛生学研究会, 名古屋 (1996.1).
122. 自由行動下血圧測定値と脳卒中発症リスクとの関連－住民コホートの追跡から－.
大久保孝義, 辻一郎, 坂東毅彦, 深尾彰, 久道茂, 今井潤, 阿部圭志, 佐久間まり子, 佐藤洋, 永井謙一. 第6回日本疫学会, 名古屋 (1996.1).
123. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響：特にセレン栄養による修飾に着目して.
佐藤洋, 谷内一彦, 出嶋靖志, 小山洋, 渡辺知保, 殷琨. 平成7年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1996.3).
124. 高温曝露とマウス肝 GPx 活性の変化.
笠沼勇一, 渡辺知保, 殷琨, 佐藤洋. 第66回日本衛生学会, 札幌 (1996.5).
125. 運動ニューロン疾患患者の脊髄における微量元素濃度.
江島晃子, 糸山泰人, 渡辺知保, 小山洋, 佐藤洋. 第37回神経学会総会, 大宮 (1996.5).

126. 胎児期メチル水銀曝露の行動毒性。
渡辺知保, 佐藤洋. 日本衛生学会ワークショップ (金属の有機化とその作用), 札幌 (1996.5).
127. 胎仔期におけるセレン欠乏とメチル水銀投与が出生仔マウスの脳・肝臓の水銀・セレン濃度及び GSH-Px 活性に及ぼす影響。
殷琨, 渡辺知保, 笠沼勇一, 佐藤洋. 第66回日本衛生学会, 札幌 (1996.5).
128. Prognostic significance of nocturnal blood pressure reduction for stroke incidence: the Ohasama study.
Ohkubo, T., Y. Imai, I. Tsuji, K. Nagai, N. Watanabe, N. Minami, O. Itoh, M. Sakuma, A. Fukao, H. Satoh, S. Hisamichi and K. Abe. 16th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension, Grasmow, U.K. (1996.6).
129. 水銀蒸気曝露マウスの腎での水銀取り込みにおけるグルタチオンの役割。
佐藤洋. 第69回日本産業衛生学会, 旭川 (1996.6).
130. 職業病と職場環境。
佐藤洋. 第50回交通医学会総会, 仙台 (1996.6).
131. HPLC-ICP-MS による血清中セレンの分別分析と食品群別セレン摂取量との関連。
小山洋, 笠沼勇一, 渡辺知保, 佐藤洋. 第7回日本微量元素学会, 京都 (1996.6).
132. 花山村における減塩教室期間中の家庭血圧の推移について。
阿部宏史, 中塚晴夫, 笠沼勇一, 小山洋, 佐藤洋, 高橋睦子, 佐藤玲子. 第32回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1996.7).
133. 花山村における減塩指導の効果について。
高橋睦子, 佐藤玲子, 中塚晴夫, 阿部宏史, 笠沼勇一, 小山洋, 佐藤洋. 第32回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1996.7).
134. 減塩指導による尿中成分およびその検診時血圧に与える影響。
中塚晴夫, 阿部宏史, 笠沼勇一, 小山洋, 佐藤洋, 高橋睦子, 佐藤玲子. 第32回宮城県公衆衛生学会, 仙台 (1996.7).
135. 減塩教室の効果。
中塚晴夫, 阿部宏史, 小山洋, 佐藤洋, 佐藤玲子, 高橋睦子. 第45回東北公衆衛生学会, 福島 (1996.7).

136. くも膜下出血の危険因子に関する疫学研究。
李敬華, 小松正子, 辻一郎, 久道茂, 荒井啓晶, 桜井芳明, 中塚晴夫, 佐藤洋, 深尾彰. 第45回東北公衆衛生学会, 福島 (1996.7).
137. The relationship between ambulatory blood pressure monitoring and mortality: a population-based observation in Japan.
Ohkubo, T., I. Tsuji, Y. Imai, K. Nagai, T. Bando, M. Sakuma, A. Fukao, H. Satoh, K. Abe and S. Hisamichi. The 14th International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, Nagoya, Japan (1996.8).
138. Neurobehavioral and biochemical effects of perinatal selenium deficiency and methylmercury in mice.
Watanabe, C., K. Yin, Y. Kasanuma and H. Satoh. The Sixth International Symposium on SELENIUM in Biology and Medicine (ISSBM'96), Beijing, China (1996.8).
139. Methylmercury as a health threat and global pollutant.
Satoh, H. The 4th International Symposium of Russia-Japan Medical Exchange, Irkutsk, Russia (1996.9).
140. Roles of tissue glutathione in renal deposition of mercury in mice exposed to mercury vapor.
Satoh, H., C. Watanabe and C.-Y. Kim. 25th International Congress on Occupational Health, Stockholm, Sweden (1996.9).
141. 家庭血圧計を用いた減塩指導の効果－血漿レニン活性との関連について－.
小山洋, 阿部宏史, 笠沼勇一, 中塚晴夫, 佐藤洋, 佐藤玲子, 高橋睦子. 第19回東北医師会連合会産業保健学会, 秋田 (1996.9).
142. 仙台市児童・生徒の胸囲の分布について.
中塚晴夫, 佐藤洋. 第44回東北学校保健学会, 仙台 (1996.9).
143. 窒素酸化物の個人曝露量と家庭内汚染.
北條祥子, 北條博史, 佐藤洋. 環境科学会1996年会, 東京 (1996.9).
144. 地域住民における血圧日内変動性: 殊に高齢者における non-dipper と extreme-dipper の出現頻度について.
西山昭光, 今井潤, 渡辺哲子, 加藤順子, 菊池典子, 関野慎, 相原彰子, 阿部圭志, 辻一郎, 大久保孝義, 久道茂, 佐藤洋, 永井謙一. 第19回日本高血圧学会総会, 仙台 (1996.10).

145. 夜間降圧と生命予後との関連－地域コホートの観察から－.
大久保孝義, 今井潤, 辻一郎, 永井謙一, 渡辺哲子, 南尚義, 菊池典子,
加藤順子, 西山昭光, 関野慎, 相原彰子, 佐藤洋, 久道茂, 阿部圭志. 第19
回日本高血圧学会総会, 仙台 (1996.10).
146. 家庭血圧の医療経済効果に関する研究.
大久保孝義, 辻一郎, 久道茂, 今井潤, 阿部圭志, 佐藤洋, 永井謙一. 第55
回日本公衆衛生学会, 大阪 (1996.10).
147. 減塩指導による栄養素摂取の変化と血圧への影響について.
中塚晴夫, 小山洋, 佐藤洋, 岩谷昌子, 車谷典夫, 田中平三. 第55回日本公
衆衛生学会, 大阪 (1996.10).
148. 子宮内水銀曝露に対するモルモット胎仔肝メタロチオネインの役割.
吉田稔, 鷺見和, 佐藤洋. メタロチオネイン96, 千葉 (1996.11).
149. 仙台市児童・生徒の胸囲の分布について.
中塚晴夫, 佐藤洋. 第43回日本学校保健学会, 郡山 (1996.11).
150. 自由行動下血圧の脳卒中発症予測能: 随時血圧との比較から.
大久保孝義, 今井潤, 辻一郎, 永井謙一, 渡辺哲子, 南尚義, 菊池典子,
加藤順子, 西山昭光, 関野慎, 相原彰子, 佐藤洋, 久道茂, 阿部圭志. 第8
回血圧管理研究会, 東京 (1996.12).
151. 全国13地区における生活習慣等のモニタリング研究.
吉池信男, 田中平三, 田中繁道, 佐藤洋, 中村好一, 西村秋生, 山口百子,
久代登志男, 須田真知子, 安野尚史, 河村剛史, 伊達ちぐさ, 中村雅一,
能勢隆之, 景浦しげ子, 竹本泰一郎. 第7回日本疫学会, 東京 (1997.1).
152. 自由行動下血圧の脳卒中発症予測能－随時血圧との比較から－.
大久保孝義, 辻一郎, 久道茂, 今井潤, 阿部圭志, 佐藤洋, 永井謙一. 第7
回日本疫学会, 東京 (1997.1).
153. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響: 特にセ
レン栄養による修飾に着目して.
佐藤洋, 谷内一彦, 出嶋靖志, 小山洋, 渡辺知保. 平成8年度重金属等の健
康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1997.3).
154. 胎仔期マウス抗酸化系への温熱の影響.
笠沼勇一, 渡辺知保, 小山洋, 佐藤洋. 第67回日本衛生学会, 東京 (1997.4).

155. セレン (Se) 欠乏マウスにおける投与安定同位体⁷⁷Se の分布 .
 小山洋, 渡辺知保, 笠沼勇一, 佐藤洋. 第67回日本衛生学会, 札幌 (1997.4).
156. セレン欠乏マウス線条体のドーパミン放出 .
 渡辺知保, 佐藤洋. 第67回日本衛生学会, 東京 (1997.4).
157. 化合物の感作性予測: 分子軌道計算結果を取り入れた感作性評価のための定量的構造活性相関 .
 金一和, 中村彰, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二, 渡辺知保, 小泉昭夫. 第70回日本産業衛生学会, 富山 (1997.4).
158. 産業現場での有害物質暴露によるリスク評価のためのエキスパートシステムの開発 .
 小泉昭夫, 金一和, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二, 中村彰, 渡辺知保. 第70回日本産業衛生学会, 富山 (1997.4).
159. 重金属と温熱環境 .
 佐藤洋. 第70回日本産業衛生学会, 富山 (1997.4).
160. 可溶性蛋白 Albumin と 2, 3 の環境物質の反応による蛋白の立体構造変化: 分子力場計算による予測 .
 中村彰, 金一和, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二, 渡辺知保, 小泉昭夫. 第70回日本産業衛生学会, 富山 (1997.4).
161. In utero methylmercury exposure differentially affects the activities of selenoenzymes in the fetal mouse brain.
 Watanabe, C., K. Yoshida, Y. Kasanuma, K. Yin and H. Satoh. International Conference on Human Health Effects fo Mercury Exposure, Torshavn, Faroe Islands (1997.6).
162. Postnatal effects of in utero exposure to methylmercury; with emphases on co-exposure to heat or selenium deficiency.
 Satoh, H., C. Watanabe, K. Yin and H. Inaba. NIMD Forum '97, Minamata (1997.7).
163. エクスパートシステムの産業衛生上の役割 .
 金一和, 中村彰, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二, 渡辺知保, 小泉昭夫. 第56回日本産業衛生学会東北地方会, 秋田 (1997.7).

164. セレン補給 TPN 患者および安定同位体セレン投与マウスにおける尿中セレンの分別分析－ HPLC-ICP-MS 分析－ .
小山洋, 笠沼勇一, 渡辺知保, 佐藤洋. 第 8 回日本微量元素学会, 東京 (1997.7).
165. マウス胎児期におけるメチル水銀曝露が母体－胎児系 Se 含有酵素の活性に及ぼす影響.
渡辺知保, 吉田克己, 小山洋, 笠沼勇一, 佐藤洋. 第 8 回日本微量元素学会, 東京 (1997.7).
166. 本態性高血圧患者における無症候性脳血管障害の危険因子及び予測因子－正常血圧群における危険因子と予測因子との比較検討－ .
菊池典子, 渡辺哲子, 相原彰子, 加藤順子, 関野慎, 西山昭光, 大久保孝義, 辻一郎, 佐藤洋, 永井謙一, 久道茂, 今井潤. 第20回日本高血圧学会総会, 東京 (1997.10).
167. The gene polymorphism of renin-angiotensin system predicts silent cerebrovascular ischemia.
Takami, S., Y. Imai, T. Katsuya, T. Ohkubo, I. Tsuji, K. Nagai, H. Satoh, S. Hisamichi, J. Higaki and T. Ogihara. The 70th Scientific Sessions, Orlando, Florida, U.S.A. (1997.11).
168. 血清セレン濃度とその後の脳血管疾患発症リスク .
小山洋, 笠沼勇一, 渡辺知保, 佐藤洋, 佐久間まり子, 大久保孝義, 今井潤. 第62回日本民族衛生学会, 前橋 (1997.11).
169. 培養細胞を用いた小核試験による大気汚染物質の検討 .
清水英佑, 関良子, 松本寛, 鈴木勇司, 佐藤洋. 日本環境変異原学会第26回大会, 秦野 (1997.12).
170. 全身的・慢性的温熱曝露による肝障害と酸化的障害 .
笠沼勇一, 渡辺知保, 小山洋, 佐藤洋. 第68回日本衛生学会, 岡山 (1998.3).
171. セレン補充 TPN 患者における血清・赤血球および血漿成分中セレンの経時の変化 .
小山洋, 渡辺知保, 笠沼勇一, 佐藤洋. 第68回日本衛生学会, 岡山 (1998.3).
172. 微小透析－ HPLC/ECD 法によるマウス脳細胞外グルタチオンの測定 .
渡辺知保, 浅山敬, 佐藤洋. 第68回日本衛生学会, 岡山 (1998.3).

173. 有機水銀の健康影響に関する文献レビュー.
佐藤洋. 平成9年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1998.3).
174. 胎児期におけるメチル水銀の微量曝露による神経行動学的影響: 特にセレン栄養による修飾に着目して.
佐藤洋, 谷内一彦, 出嶋靖志, 小山洋, 渡辺知保. 平成9年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1998.3).
175. エキスパートシステムによる化合物有毒性の定性的予測.
小泉昭夫, 金一和, 中村彰, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡 (1998.4).
176. 定量的に新規化合物の LD_{50} を予測するエキスパートシステム.
小泉昭夫, 金一和, 中村彰, 桜井治彦, 佐藤章夫, 佐藤洋, 竹内康浩, 中明賢二. 第71回日本産業衛生学会, 盛岡 (1998.4).
177. Polyoxyethylene-glycol modified bovine hemoglobin as a candidate for plasma expander having oxygen transporting capacity: Its vascular and endothelial permeability.
Nakai, K., I. Sakuma, S. Fujii, A. Kitabatake and H. Satoh. Third International Conference, Biochemistry and Molecular Biology of Nitric Oxide, Los Angeles, California, U.S.A. (1998.7).
178. Vasoconstriction as a result of EDRF scavenging by hemoglobin derivatives: comparison between acellular and cellular hemoglobins in Langendorf perfusion of the rat heart.
Nakai, K., I. Sakuma, H. Togashi, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. Third International Conference, Biochemistry and Molecular Biology of Nitric Oxide, Los Angeles, California, U.S.A. (1998.7).
179. Effects of cell free s-nitrosohemoglobin in vivo on blood pressure, platelet aggregation and plasma NO_2^-/NO_3^- : Comparison with those of cell free hemoglobin.
Sakuma, I., K. Nakai, H. Togashi, J. Sakanoue, A. Aita, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. Third International Conference, Biochemistry and Molecular Biology of Nitric Oxide, Los Angeles, California, U.S.A. (1998.7).
180. 家庭血圧評価の問題点: 測定開始初期の変動に注目して.
阿部宏史, 笠沼勇一, 佐藤洋, 今井潤, 中塚晴夫. 第47回東北公衆衛生学会, 秋田 (1998.7).

181. ヘモグロビン誘導体の内皮由来弛緩因子スカベンジャー作用による血管収縮：セルフリーヘモグロビンと細胞性ヘモグロビンのランゲンドルフ灌流心での比較。
佐久間一郎，藤井聡，富樫広子，吉岡充弘，仲井邦彦，佐藤洋，北畠顕．第3回 Vascular Medicine 学会，神戸（1998.7）．
182. Postnatal effects of in utero methylmercury exposure among fish eating populations: With the emphasis on hair mercury levels as a biological monitoring indicator.
Sato, H. The 6th International Symposium of Russia-Japan Medical Exchange, Khabarovsk, Russia (1998.8)．
183. 血圧短期変動性および長期変動性と生命予後との関連．
菊谷昌浩，今井潤，相原彰子，関野慎，寶澤篤，大久保孝義，辻一郎，伊藤貞嘉，佐藤洋，永井謙一，久道茂．第21回日本高血圧学会総会，広島（1998.9）．
184. 鹿島台町における減塩教室で使用した教材の評価について．
菊地圭子，鈴木生，栗田廣子，佐々木裕子，中塚晴夫，猪口尚子，今井潤，小山洋，佐藤洋．第34回宮城県公衆衛生学会，仙台（1998.9）．
185. 鹿島台町における減塩教室，概念と栄養摂取に与えた影響について．
栗田廣子，鈴木生，菊地圭子，佐々木裕子，中塚晴夫，猪口尚子，今井潤，小山洋，佐藤洋．第34回宮城県公衆衛生学会，仙台（1998.9）．
186. 鹿島台町における減塩教室前後での，塩分の多い食品の摂取状況の変化．
佐々木裕子，栗田廣子，鈴木生，菊地圭子，中塚晴夫，猪口尚子，今井潤，小山洋，佐藤洋．第34回宮城県公衆衛生学会，仙台（1998.9）．
187. S-Nitrosohemoglobin が循環系機能に与える影響．
佐久間一郎，富樫広子，仲井邦彦，藤井聡，坂野上淳，田村守，佐藤洋，吉岡充弘，北畠顕．第5回日本血液代替物学会年次大会，札幌（1998.9）．
188. 近赤外分光法を用いたラット脳におけるヘモグロビンリポソーム包接体の酸素運搬機能の測定．
坂野上淳，田村守，仲井邦彦，佐藤洋，北畠顕．第5回日本血液代替物学会年次大会，札幌（1998.9）．
189. S-Nitrosohemoglobin の作製．
仲井邦彦，佐久間一郎，富樫広子，坂野上淳，田村守，吉岡充弘，佐藤洋，北畠顕．第5回日本血液代替物学会年次大会，札幌（1998.9）．

190. ヘモグロビン系酸素運搬体による血小板作用 .
藤井聡, 佐久間一郎, 仲井邦彦, 富樫広子, 吉岡充弘, 佐藤洋, 北畠顕 . 第
5 回日本血液代替物学会年次大会, 札幌 (1998.9).
191. 仙台市児童・生徒の身長分布のここ30年間の変化 .
中塚晴夫, 佐藤洋. 第46回東北学校保健学会, 山形 (1998.9).
192. 出生時体重と学童期家庭血圧値との関連 .
寶澤篤, 大久保孝義, 辻一郎, 今井潤, 永井謙一, 佐藤洋, 久道茂 . 第46回
東北学校保健学会, 山形 (1998.9).
193. 大迫研究における正常血圧群, 高血圧治療群, 高血圧未治療群の比較検討－
随時血圧, 家庭血圧, 24時間自由行動下血圧を用いて－ .
寶澤篤, 今井潤, 相原彰子, 関野慎, 菊谷昌浩, 伊藤貞嘉, 大久保孝義, 辻
一郎, 久道茂, 佐藤洋, 永井謙一 . 第21回日本高血圧学会総会, 広島
(1998.9).
194. S- ニトロソヘモグロビンの作製と末梢循環機能に与える影響 .
仲井邦彦, 佐久間一郎, 富樫広子, 坂野上淳, 田村守, 吉岡充弘, 佐藤洋,
北畠顕 . 第36回日本人工臓器学会総会, 筑波 (1998.10).
195. 宮城県における生活習慣要因と膀胱がんのリスクに関するコホート研究 .
彭華強, 西野善一, 坪野吉孝, 辻一郎, 久道茂, 佐藤洋. 第57回日本公衆衛
生学会, 岐阜 (1998.10).
196. Vascular activity of unmodified hemoglobin and s-nitrosohemoglobin in rats.
Nakai, K., I. Sakuma, H. Togashi, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A.
Kitabatake. IBC's 6th Annual Conference on Blood Substitutes, Washington, D.C.,
U.S.A. (1998.11).
197. 仙台市児童・生徒の身長分布の推移 .
中塚晴夫, 佐藤洋. 第45回日本学校保健学会, つくば (1998.11).
198. S-nitrosohemoglobin を応用した酸素運搬体の分子設計とその生理作用 .
仲井邦彦, 佐久間一郎, 富樫広子, 坂野上淳, 田村守, 吉岡充弘, 佐藤洋,
北畠顕 . 第11回代用臓器研究会, 札幌 (1999.2).
199. 大気汚染物質の in vitro 小核試験による検討 .
関良子, 松本寛, 鈴木勇司, 佐藤洋, 清水英佑 . 第69回日本衛生学会, 千葉
(1999.3).

200. Melatonin が cadmium による肝毒性に及ぼす影響。
金忠龍, 笠沼勇一, 仲井邦彦, 佐藤洋. 第69回日本衛生学会, 千葉 (1999.3).
201. 有機水銀の健康影響に関する文献レビュー。
佐藤洋. 平成10年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1999.3).
202. 胎児期におけるメチル水銀曝露による神経行動学的な影響: 3種類の近交系マウスにおける神経行動学的観察の比較。
佐藤洋, 渡辺知保, 仲井邦彦, 笠沼勇一, 金忠龍. 平成10年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (1999.3).
203. Toxicology of mercury: problems at work and in the environment.
Satoh, H. The Twelfth Japan-Korea Joint Conference on Occupational Health, Okayama (1999.5).
204. 宮城県における児童の健康調査(その1) - 児童のアレルギー疾患と大気・室内空気環境 -。
北條祥子, 北條博史, 笠沼勇一, 佐藤洋. 日本環境学会第25回研究発表会, 仙台 (1999.7).
205. Serum selenium distributions and the subsequent risk of stroke among rural Japanese: a nested case-control study.
Koyama, H., M. Sakuma, T. Ohkubo, K. Nagai, Y. Imai and H. Satoh. The 15th International Scientific Meeting of the International Epidemiological Association, Florence, Italy (1999.8).
206. NO 供与能を有する hemoglobin 誘導体 s-nitroso polyethylene glycol-conjugated hemoglobin の生体内における性質。
佐久間一郎, 仲井邦彦, 富樫広子, 坂野上淳, 藤井聡, 吉岡充弘, 田村守, 佐藤洋, 北畠顕. 第2回日本血管細胞生物学会, 前橋 (1999.9).
207. Hemoglobin 修飾体が自然発症糖尿病ラット (OLETF) の循環動態および血小板凝集能に及ぼす影響。
佐久間一郎, 仲井邦彦, 富樫広子, 藤井聡, 坂野上淳, 田村守, 吉岡充弘, 佐藤洋, 北畠顕. 第6回日本血液代替物学会年次大会, 東京 (1999.9).
208. 近赤外分光法を用いた脱血ショック下における polyethyleneglycol-conjugated s-nitrosohemoglobin の酸素運搬能の評価。
坂野上淳, 田村守, 仲井邦彦, 佐藤洋, 佐久間一郎, 北畠顕. 第6回日本血液代替物学会年次大会, 東京 (1999.9).

209. S-Nitroso-Polyethylene glycol-Hemoglobin 誘導体の開発。
仲井邦彦, 佐久間一郎, 富樫広子, 坂野上淳, 田村守, 吉岡充弘, 佐藤洋, 北畠顕. 第6回日本血液代替物学会年次大会, 東京 (1999.9).
210. 人工酸素運搬体の血小板活性化に及ぼす影響。
藤井聡, 佐久間一郎, 葛西瑞穂, 仲井邦彦, 佐藤洋, 富樫広子, 吉岡充弘, 北畠顕. 第6回日本血液代替物学会年次大会, 東京 (1999.9).
211. O/W 型パーフルオロカーボンエマルジョンの新規調整法の開発と体内動態制御。
福島昭二, 西尾琢也, 岸本修一, 竹内由和, 仲井邦彦, 佐久間一郎, 坂野上淳, 佐藤洋, 北畠顕. 第6回日本血液代替物学会年次大会, 東京 (1999.9).
212. Induction of metallothioneins by copper or cadmium exposure in the mycelia of heavy metal resistant fungus *Beauveria bassiana*.
Kameo, S., H. Iwahashi, Y. Kojima and H. Satoh. 2nd International Workshop on Metallothioneins, Geel, Belgium (1999.10).
213. Comparison of neurobehavioral changes in three inbred strains of mice prenatally exposed to methylmercury.
Kim, C.-Y., K. Nakai, Y. Kasanuma and H. Satoh. NIMD Forum '99, Minamata (1999.10).
214. 農民地区住民を対象とした糖負荷試験とセレン栄養状態 (GPx 活性) との関連。
小山洋, 大久保孝義, 辻一郎, 久道茂, 佐藤洋. 第58回日本公衆衛生学会, 別府 (1999.10).
215. 空気環境汚染物質への曝露と行動 (Behavior).
佐藤洋. 平成11年度室内環境学会セミナー第1回「室内空気環境」講演会, 仙台 (1999.10).
216. NO 代謝物放出能を有する新しい酸素運搬体の開発 - S-NITROSO-PEG-Hemoglobin の作製。
仲井邦彦, 佐久間一郎, 安河内徹, 富樫広子, 坂野上淳, 藤井聡, 吉岡充弘, 佐藤洋, 北畠顕. 第37回日本人工臓器学会総会, 名古屋 (1999.10).
217. O/W 型パーフルオロカーボンエマルジョンの新規調整法の開発と体内動態制御。
福島昭二, 西尾琢也, 岸本修一, 竹内由和, 仲井邦彦, 佐久間一郎, 坂野上淳, 佐藤洋, 北畠顕. 第37回日本人工臓器学会総会, 名古屋 (1999.10).

218. ABI PRISM 7700 Sequence Detection System を用いた β_3 アドレナリンレセプター (β_3 AR) 遺伝子解析について。
鈴木千登世, 鈴木進, 檜尾好徳, 平井完史, 千葉雅樹, 豊田隆謙, 黒川修行, 佐藤洋. 第40回東北臨床衛生検査学会, 仙台 (1999.10).
219. β_3 アドレナリン受容体遺伝子, 脱共役蛋白質3遺伝子多型と動脈硬化危険因子についての検討。
黒川修行, 平井完史, 鈴木進, 檜尾好徳, 千葉雅樹, 鈴木千登世, 佐藤洋, 豊田隆謙, 佐藤洋. 第37回日本糖尿病学会東北支部例会, 仙台 (1999.11).
220. ABI PRISM 7700 Sequence Detection System を用いた β_3 アドレナリン受容体遺伝子多型の解析法。
鈴木千登世, 鈴木進, 檜尾好徳, 平井完史, 千葉雅樹, 黒川修行, 佐藤洋, 豊田隆謙. 第37回日本糖尿病学会東北支部例会, 仙台 (1999.11).
221. 生活環境中ヒ素の生体影響について。
千葉啓子, 立身政信, 佐藤洋, 山内博. 第9回ヒ素シンポジウム, 広島 (1999.11).
222. 仙台市における児童・生徒の身長分布の変化に関する考察。
中塚晴夫, 佐藤洋. 第46回日本学校保健学会, 名古屋 (1999.11).
223. 宮城県の児童の健康状態に関する実態調査。
北條祥子, 吉野博, 角田和彦, 笠沼勇一, 佐藤洋. 環境科学会1999年会, 豊橋 (1999.11).
224. 培養細胞を用いた小核試験による大気汚染物質の検討 (その2)。
関良子, 松本寛, 鈴木勇司, 佐藤洋, 清水英佑. 日本環境変異原学会第28回大会, 岐阜 (1999.12).
225. メチル水銀の毒性に及ぼすメラトニンの影響。
金忠龍, 劉忠民, 黒川修行, 亀尾聡美, 仲井邦彦, 佐藤洋. 第70回日本衛生学会, 大阪 (2000.3).
226. 胎児期におけるメチル水銀曝露による神経行動学的な影響: マウス胎児期および成長後の2回曝露の影響。
佐藤洋, 仲井邦彦, 浅山敬, 金忠龍, 亀尾聡美. 平成11年重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (2000.3).
227. 重金属の健康リスクーその評価と対策ー疫学の立場。
佐藤洋. 平成11年度重金属等の健康影響に関する総合研究班総会シンポジウム, 東京 (2000.3).

228. 海産物中砒素の多量摂取者における砒素暴露とその生体影響に関する研究．
千葉啓子，立身政信，佐藤洋，山内博．第70回日本衛生学会，大阪（2000.3）.
229. 胎児期におけるメチル水銀曝露による神経行動学的な影響：マウス胎児期および成長後の2回曝露の影響．
浅山敬，仲井邦彦，金忠龍，劉忠民，黒川修行，亀尾聡美，佐藤洋．第70回日本衛生学会，大阪（2000.3）.
230. Nitric oxide 供与能を有するヘモグロビン誘導体 s-nitroso-polyethylene glycol conjugated hemoglobin の人工酸素運搬体としての特性．
佐久間一郎，仲井邦彦，富樫広子，坂野上淳，藤井聡，吉岡充弘，田村守，佐藤洋，北畠顕．第21回日本循環制御医学会総会，東京（2000.5）.
231. Oxygen transporting capacity and vascular activity of polyethyleneglycol-conjugated s-nitrosohemoglobin during hemorrhagic shock.
Sakanoue, J., M. Tamura, K. Nakai, H. Satoh, I. Sakuma and A. Kitabatake. First Int Conference, Biology, Chemistry and Therapeutic, San Francisco, California (2000.6).
232. メタロチオネイン (MT-1, -2) ノックアウトがもたらすマウス神経細胞への影響（水銀曝露実験をふまえて）.
渡邊利明，山下廣，福田隆浩，田中順一，亀尾聡美，仲井邦彦，佐藤洋，永沼章．第11回日本微量元素学会，名古屋（2000.6）.
233. 日本人における β_3 アドレナリン受容体遺伝子変異と肥満の関連性－メタアナリシスによる解析より－．
黒川修行，仲井邦彦，亀尾聡美，劉忠民，佐藤洋．第59回日本産業衛生学会東北地方会，仙台（2000.7）.
234. Preparation and characterization of S-nitroso-PEG-hemoglobin as a candidate for oxygen transporting material.
Nakai, K., H. Togashi, I. Sakuma, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. The XXVII ESAO congress in co-operation with the ESEM, Lausanne, Switzerland (2000.8).
235. Comparison of neurobehavioral changes in three inbred strains of mice prenatally exposed to methylmercury.
Satoh, H., C.-Y. Kim, S. Kameo and K. Nakai. 26th International Congress on Occupational Health, Singapore (2000.8).

236. Metallothionein (MT-1, -2) deficiency induces GFAP and S-100 expression in metallothionein knockout mouse brain.
Watanabe, T., A. Nakamura, M. Koda, S. Kato, H. Yamashita, T. Fukuda, J. Tanaka, S. Kameo, K. Nakai, H. Satoh and A. Naganuma. The XIth International Congress of Histochemistry and Cytochemistry, York, U.K. (2000.9).
237. Metallothionein (MT-1, -2) deficiency induces down-regulation of tyrosine hydroxylase immunoreactive neuron in mouse brain.
Watanabe, T., A. Nakamura, M. Koda, S. Kato, H. Yamashita, T. Fukuda, J. Tanaka, S. Kameo, K. Nakai, H. Satoh and A. Naganuma. XV International Symposium on Morphological Sciences, Kyoto, Japan (2000.9).
238. 仙台市児童・生徒の BMI の推移とその分布について。
黒川修行, 仲井邦彦, 劉忠民, 亀尾聡美, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第48回東北学校保健学会, 弘前 (2000.9).
239. 酸素運搬体開発の方向性。
仲井邦彦, 佐久間一郎, 佐藤洋, 北畠顕. 第7回日本血液代替物学会年次大会, 札幌 (2000.9).
240. 血中セロトニン動態からみたヘモグロビン系人工酸素運搬体の血小板作用。
富樫広子, 仲井邦彦, 佐久間一郎, 藤井聡, 佐藤洋, 吉岡充宏, 北畠顕. 第7回日本血液代替物学会年次大会, 札幌 (2000.9).
241. 宮城県におけるの児童の健康と生活環境の地域差。
北條祥子, 吉野博, 角田和彦, 佐藤洋. 環境科学会2000年会, 千葉 (2000.9).
242. Reparation and characterization of S-nitrosylated and polyethylene glycol-modified hemoglobin as a candidate oxygen transporting carrier.
Nakai, K., H. Togashi, I. Sakuma, T. Yasukohchi, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. IBC's 8th Annual Conference on Blood Substitutes, San Diego, California, U.S.A. (2000.11).
243. Effects of hemoglobin derivatives on platelet function in rats.
Togashi, H., K. Nakai, I. Sakuma, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. IBC's 8th Annual Conference on Blood Substitutes, San Diego, California, U.S.A. (2000.11).

244. Effects of low dose methylmercury exposure for the lifetime in the experimental mice: an interim report.
Nakai, K., C.-Y. Kim, Z.-M. Liu and H. Satoh. Human Health Effects of Low Dose Methylmercury Exposure, Workshop to Assess Exposures Producing Adverse Effects in Sensitive Populations, Minamata (2000.11).
245. 仙台市児童・生徒の BMI の分布の推移について。
黒川修行, 中塚晴夫, 劉忠民, 佐藤洋. 第47回日本学校保健学会, 福岡 (2000.11).
246. 家庭血圧による血圧日間変動と予後の関連。
菊谷昌浩, 寶澤篤, 大久保孝義, 辻一郎, 松原光伸, 荒木勉, 貴田岡博史, 永井謙一, 佐藤洋, 久道茂, 今井潤. 第12回血圧管理研究会, 東京 (2000.12).
247. メタアナリシスを用いた日本人における β_3 アドレナリン受容体遺伝子変異と肥満の関連性の検討。
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 佐藤洋. 第7回ボディ・コンポジションと代謝研究会, 宇都宮 (2000.12).
248. 温泉水中成分値と毛髪中元素濃度の関係 - PIXE 分析による検討 -。
千葉啓子, 岩根敦子, 世良耕一郎, 佐藤洋, 山内博, 立身政信. 岩手公衆衛生学会, 盛岡 (2001.2).
249. Effects of long-term and low-dose methylmercury exposure in the experimental mice.
Satoh, H., K. Nakai, S. Kameo, C.-Y. Kim and Z.-M. Liu. NIMD Forum 2001-Mercury research: Today and tomorrow-, Minamata (2001.3).
250. 長期微量メチル水銀暴露の影響に関する研究: マウス実験モデルによる神経行動学的観察。
佐藤洋, 仲井邦彦, 劉忠民, 亀尾聡美. 平成12年重金属等の健康影響に関する総合研究班総会, 東京 (2001.3).
251. 中学生の体脂肪率と β_3 アドレナリン受容体遺伝子多型との関連性。
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 佐藤洋. 第71回日本衛生学会, 福島 (2001.4).
252. 環境保健における健康リスクの評価と対策 21世紀の衛生学が環境保健に貢献するために - シンポジウム。
佐藤洋. 第71回日本衛生学会, 福島 (2001.4).

253. 低濃度メチル水銀による長期曝露の影響：神経行動学的解析から。
仲井邦彦, 劉忠民, 黒川修行, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第71回日本衛生学会, 福島 (2001.4).
254. 家庭自己測定血圧, 自由行動下血圧に基づく高血圧, 心血管疾患の地域コホート研究並びにその遺伝子疫学研究－大迫 (Ohasama) 研究。
辻一郎, 寶澤篤, 大久保孝義, 久道茂, 今井潤, 佐藤洋, 松原光伸. 公益信託日本動脈硬化予防基金 研究報告会, 東京 (2001.5).
255. β_3 アドレナリン受容体遺伝子変異が中学生の体脂肪蓄積に及ぼす影響。
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 佐藤洋. 第50回東北公衆衛生学会, 盛岡 (2001.7).
256. EFSOT：環境対応次世代接合技術の開発（無鉛はんだ構成成分の生物および環境影響評価）。
佐藤洋, 大前和幸, 千葉百子, 高松武次郎, 久保井徹, 須賀唯知, 岡本正英. 平成13年度 IMS 研究成果発表会, 東京 (2001.7).
257. Effects of perinatal exposure to environmentally persistent organic pollutants and heavy metals on neurobehavioral development in Japanese children: an interim report.
Nakai, K., K. Okamura, T. Hosokawa, T. Sakai, T. Nakamura, N. Sukeno and H. Satoh. 21st International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Gyeongju, Korea (2001.9).
258. In vivo safety evaluation of SNO-PEG-Hemoglobin as a candidate for oxygen transporting material.
Nakai, K., H. Togashi, I. Sakuma, T. Sugawara, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. European Society for Artificial Organs, XXVIII Congress, Gent, Belgium (2001.9).
259. 仙台市児童の地域別 BMI について。
黒川修行, 仲井邦彦, 劉忠民, 亀尾聡美, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第49回東北学校保健学会, 盛岡 (2001.9).
260. Influences of mercury vapor exposure on the levels of trace elements and metal-binding proteins in metallothionein-I, II null mice.
Kameo, S., K. Nakai, C.-Y. Kim, Z.-M. Liu, N. Kurokawa, A. Naganuma and H. Satoh. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).

261. Long-term methylmercury exposures affect the extracellular glutamate mobilization hippocampus CA3 region of mice.
Kim, C.-Y., K. Nakai, Z.-M. Liu, H. Togashi and H. Satoh. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).
262. Environmental enrichment influences the neurobehavioral effects of prenatal methylmercury exposures in mice.
Liu, Z.-M., K. Nakai, R. Okitsu, K. Takeuchi, N. Kurokawa and H. Satoh. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).
263. Neurobehavioral effects of low-dose long-term methylmercury exposure in metallothionein-1,2 deficient mice.
Nakai, K., S. Kameo, A. Naganuma and H. Satoh. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).
264. Low-dose long-term methylmercury exposures caused differential effects on emotional behaviors and spatial learning ability in mice.
Nakai, K., C.-Y. Kim, Z.-M. Liu and H. Satoh. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).
265. Behavioral teratology of mercury and its compounds.
Satoh, H. 6th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Minamata (2001.10).
266. Relationship between Trp64Arg polymorphism of the β_3 -adrenergic receptor gene and body fat in junior high school students in Sendai, Japan.
Kurokawa, N., K. Nakai, S. Kameo, Z.-M. Liu and H. Satoh. North American Association for the Study of Obesity 2001, Quebec city, Canada (2001.10).
267. Effects of low dose methylmercury exposure for the lifetime in experimental mice: an interim report.
Nakai, K., C.-Y. Kim, Z.-M. Liu and H. Satoh. US-JAPAN Workshop on Human Health Effects of Low Dose Methylmercury Exposure, Minamata (2001.11).
268. Safety evaluation of s-nitrosylated pegylated Hemoglobin as a candidate oxygen carrier.
Nakai, K., H. Togashi, T. Sugawara, I. Sakuma, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. The 13th World Congress of International Society for Artificial Organs, Osaka (2001.11).

269. S-nitroso-PEG-hemoglobin as a candidate for oxygen transporting carrier.
Sugawara, T., K. Nakai, H. Togashi, I. Sakuma, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. The 13th World Congress of International Society for Artificial Organs, Osaka (2001.11).
270. 仙台市児童・生徒の地域別に見た Body mass index の推移について。
黒川修行, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第48回日本学校保健学会, 宇都宮 (2001.11).
271. 高圧ジェット流型乳化機を用いたパーフルオロカーボンエマルジョンの調整と酸素運搬能の評価。
西尾琢也, 福島昭二, 岸本修一, 竹内由和, 仲井邦彦, 佐藤洋, 佐久間一郎, 北畠顕. 第39回日本人工臓器学会大会, 大阪 (2001.11).
272. 胎児期メチル水銀曝露の疫学的研究について。
仲井邦彦, 佐藤洋. シンポジウム：重金属中毒学のパラダイムシフト：21世紀の課題と展望, 仙台 (2001.11).
273. Cohort study on the neurobehavioral effects of perinatal exposure to halogenated organic environmental pollutants and heavy metals in Japanese children: an interim report.
Nakai, K., K. Kumamoto, T. Oka, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, T. Nakamura, N. Sukeno, N. Kurokawa, S. Kameo and H. Satoh. The 4th Annual Meeting of Japan Society of Endocrine Disrupters Research, Tsukuba (2001.12).
274. Evaluation of biological impact of Pb-free solder.
Satoh, H., K. Omae, M. Chiba, T. Takamatsu and T. Kuboi. EcoDesign 2001, Tokyo (2001.12).
275. サイロキシン結合蛋白質との親和性を利用する PCB 特異的アッセイ法の開発。
仲井邦彦, 佐藤洋, 白石廣行. 平成13年度科学研究費補助金特定領域研究 (A) 内分泌攪乱物質の環境リスクー研究成果報告会ー, 京都 (2002.1).
276. 環境対応次世代接合技術の開発：無鉛はんだ構成成分の生物および環境影響評価。
佐藤洋, 大前和幸, 千葉百子, 高松武次郎, 久保井徹, 岡本正英. 8th Symposium on "Microjointing and Assembly Technology in Electronics", 横浜 (2002.1).
277. ダイオキシンとその影響。
佐藤洋. 第485回日本産婦人科学会宮城地方部会集談会, 仙台 (2002.1).

278. 亜鉛欠乏下におけるメタロチオネイン -I, II 欠損マウスの学習と行動。
伊藤俊弘, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 永沼章, 吉田貴彦, 佐藤洋. 第72回日本衛生学会, 津 (2002.3).
279. β_3 アドレナリン受容体遺伝子変異の保有が運動中の脂肪分解に及ぼす影響。
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 佐藤洋. 第72回日本衛生学会, 津 (2002.3).
280. 低濃度メチル水銀による長期曝露の影響 (第2報): 56週齢における解析。
仲井邦彦, 劉忠民, 黒川修行, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第72回日本衛生学会, 津 (2002.3).
281. 日本人における血液中 ω -3多価不飽和脂肪酸濃度と血液中ダイオキシン類濃度との関連。
有澤孝吉, 齋藤寛, 遠山千春, 森田昌敏, 佐藤洋, 永井正規, 鈴木継美, 松村徹. 第72回日本衛生学会, 津 (2002.3).
282. Effects of maternal smoking during pregnancy on neurobehavioral status of Japanese newborn infants.
Hosokawa, T., K. Kumamoto, K. Nakai, K. Okamura, T. Sakai, K. Nagai and H. Satoh. XIIIth Biennial International Conference on Infant Studies, Toronto, Canada (2002.4).
283. CALUX Assay と高分解能 GC/MS によるダイオキシン類環境標準試料の比較分析。
中村朋之, 鈴木滋, 高橋正弘, 助野典義, 中村昌文, 藤野潤子, 北川宏子, 山本司, J. BrownD., 仲井邦彦, 佐藤洋. 第11回環境化学討論会, 箱根 (2002.6).
284. メタロチオネイン - I , II 欠損マウスにおける水銀蒸気曝露後の HPLC/ICP-MS による脑中微量元素結合成分の解析。
亀尾聡美, 仲井邦彦, 劉忠民, 黒川修行, 兼久智和, 永沼章, 佐藤洋. 第13回日本微量元素学会, 東京 (2002.7).
285. 水銀蒸気曝露による臓器中微量元素の変動 - MT- I , II 欠損マウスを用いた検討 -。
亀尾聡美, 仲井邦彦, 劉忠民, 黒川修行, 佐藤洋, 兼久智和, 永沼章. 第61回日本産業衛生学会東北地方会, 青森 (2002.7).

286. 定期的運動習慣がない肥満者における運動中の自覚的運動強度の変化について。
黒川修行, 平井完史, 飛田渉, 小宮秀明, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 佐藤洋. 第61回日本産業衛生学会東北地方会, 青森 (2002.7).
287. 宮城県における産業看護職の卒後教育について。
片岡ゆみ, 朝居正樹, 佐藤洋, 加美山茂利. 第61回日本産業衛生学会東北地方会, 青森 (2002.7).
288. 仙台市児童の身長・体重の推移－1934年から2001年までの解析から－。
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 岡知子, 菅原典夫, 鈴木恵太, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第51回東北公衆衛生学会, 青森 (2002.7).
289. 環境由来化学物質による周産期曝露の健康影響に関するコホート 第一報－プロトコールおよび途中経過について－。
菅原典夫, 仲井邦彦, 岡知子, 鈴木恵太, 黒川修行, 亀尾聡美, 中村朋之, 高橋正弘, 細川徹, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 第51回東北公衆衛生学会, 青森 (2002.7).
290. 環境由来化学物質による周産期曝露の健康影響に関するコホート 第二報－新生児の行動評価報の応用について－。
鈴木恵太, 仲井邦彦, 細川徹, 岡知子, 黒川修行, 菅原典夫, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 第51回東北公衆衛生学会, 青森 (2002.7).
291. 環境対応次世代接合技術の開発－生物影響と環境影響評価技術の開発－。
佐藤洋, 大前和幸, 千葉百子, 高松武次郎, 久保井徹, 須賀唯知, 岡本正英, 中本信也, 平尾英司. 平成14年度 IMS 研究成果発表会, 東京 (2002.7).
292. A comparative analysis of certified environmental reference materials using CALUXTM assay and high resolution GC/MS.
Nakamura, T., M. Nakamura, S. Suzuki, M. Takahashi, J. Fujino, H. Yabushita, T. Yamamoto, D. J. Brown, K. Nakai and H. Satoh. 22nd International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and Persistent Organic Pollutants (POPs), Barcelona, Spain (2002.8).
293. The changes of trace element levels and components of metal-binding proteins in the metallothionein-I,II null mice after mercury vapor exposure.
Kameo, S., K. Nakai, C.-Y. Kim, Z.-M. Liu, N. Kurokawa, T. Kanehisa, A. Naganuma and H. Satoh. Sixth Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Quebec city, Canada (2002.9).

294. The concentrations of trace elements in the brain of mice after in utero exposure to methylmercury.
Satoh, H., S. Kameo, K. Nakai, Z.-M. Liu and N. Kurokawa. Sixth Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Quebec city, Canada (2002.9).
295. 仙台市児童・生徒の身長・体重の推移について。
黒川修行, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第49回日本学校保健学会, 札幌 (2002.9).
296. 身体計測からみた仙台の子どもたちの50年－児童・生徒の体格の推移と環境－。
佐藤洋. 第50回東北学校保健学会, 仙台 (2002.9).
297. Cohort study on the neurobehavioral effects of perinatal exposure to halogenated organic environmental pollutants and heavy metals in Japanese children: protocol and description.
Nakai, K., T. Oka, K. Suzuki, K. Okamura, T. Hosokawa, T. Sakai, T. Nakamura, H. Takahashi and H. Satoh. The 5th Annual Meeting of Japan Society of Endocrine Disrupters Research, Hiroshima (2002.11).
298. Cohort study on the neurobehavioral effects of perinatal exposure to halogenated organic environmental pollutants and heavy metals in Japanese children: an interim report on the neonatal behavioral assessment scal.
Suzuki, K., T. Hosokawa, T. Oka, K. Nakai, K. Okamura, T. Sakai, K. Nagai and H. Satoh. The 5th Annual Meeting of Japan Society of Endocrine Disrupters Research, Hiroshima (2002.11).
299. Effects of perinatal exposure to methylmercury on neurobehavioral development in Japanese children.
Oka, T., K. Nakai, K. Suzuki, M. Sakamoto, K. Murata and H. Satoh. International Workshop on Health and Environmental Effects of Mercury: Impacts of Mercury from Artisanal Gold Mining in Africa, Dar Es Salaam, Tanzania (2002.11).
300. Occupational and environmental toxicology of mercury and its compounds.
Satoh, H. International Workshop on Health and Environmental Effects of Mercury: Impacts of Mercury from Artisanal Gold Mining in Africa, Dar Es Salaam, Tanzania (2002.11).
301. Occupational and environmental toxicology of mercury.
Satoh, H. 17th Asian Conference on Occupational Health (ACOH 2002), Taipei, Taiwan (2002.11).

302. タンチヨウの微量元素測定－重金属汚染マーカーとしての風切羽の可能性－
熊谷芳浩, 寺岡宏樹, 原口謙策, 仲井邦彦, 佐藤洋, 正富宏之, 平賀武夫.
第5回環境ホルモン学会研究発表会, 広島 (2002.11).
303. Evaluation of biological and ecological effects of metal constituents in Pb-free solders.
Satoh, H., K. Omae, M. Chiba, T. Takamatsu, T. Kuboi and M. Okamoto.
EcoDesign 2002, Tokyo (2002.12).
304. 環境由来化学物質の周産期曝露による健康影響－新生児行動評価について.
岡知子, 堺武男, 佐藤洋. 第47日本未熟児新生児学会, 大坂 (2002.12).
305. 環境対応次世代接合技術の開発：無鉛はんだ構成成分の生物および環境影響評価 Next Generation Environmental Friendly Soldering Technology (EFSOT) : Evaluation of biological and environmental effects of the elements in Pb free solders.
佐藤洋, 大前和幸, 千葉百子, 高松武次郎, 久保井徹, 岡本正英. 9th Symposium on "Microjointing and Assembly Technology in Electronics", 横浜 (2003.2).
306. 胎児期の無機ヒ素曝露が出生後の行動に及ぼす影響.
伊藤俊弘, 渡辺知保, 仲井邦彦, 山内博, 中木良彦, 吉田貴彦, 佐藤洋. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
307. 重金属ならびに内分泌攪乱物質の周産期曝露が出生後の児の発達に及ぼす影響に関するコホート研究：新生児行動評価とその解析例.
岡知子, 鈴木恵太, 仲井邦彦, 細川徹, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
308. 胎生期および出生後メチル水銀曝露によるマウス脳各部位における微量元素の動態.
亀尾聡美, 仲井邦彦, 劉忠民, 黒川修行, 佐藤洋. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
309. 仙台市児童・生徒の Body mass index の推移と肥満の出現頻度について.
黒川修行, 仲井邦彦, 亀尾聡美, 劉忠民, 岡知子, 菅原典夫, 鈴木恵太, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
310. ヒトにおけるアミノ酸とメチル水銀の経胎盤移行に関する研究.
坂本峰至, 窪田真知, 劉曉潔, 潘煥生, 村田勝敬, 仲井邦彦, 佐藤洋, 中野篤浩, 赤木洋勝. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).

311. ヒトにおける多価不飽和脂肪酸の選択的胎盤通過に関する研究.
坂本峰至, 劉曉潔, 潘煥生, 仲井邦彦, 佐藤洋, 村田勝敬, 中野篤浩, 赤木洋勝. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
312. 胎児期メチル水銀曝露による神経行動学的影響に与える離乳後飼育環境の影響.
劉忠民, 仲井邦彦, 黒川修行, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第73回日本衛生学会, 大分 (2003.3).
313. 「医療廃棄物」の実態とその処理 (公衆衛生の立場から).
佐藤洋, 東北大学・環境保全研究施設第1回講演会 - 環境保全研究による大学の役割 -, 仙台 (2003.3).
314. 鉛フリーはんだとその構成金属の毒性.
佐藤洋. プラズマ分光分析研究会第58回講演会, 東京 (2003.5).
315. Biological impact of metals in lead-free solders.
Satoh, H., K. Omae, M. Chiba, T. Takamatsu, T. Kuboi and M. Okamoto. International Conference on Lead-Free Electronics, Brussels, Belgium (2003.6).
316. 高血圧発症要因: 家庭血圧を用いた検討 - 大迫研究 -.
宇賀神卓嗣, 寶澤篤, 大久保孝義, 大森芳, 星春久, 佐藤洋, 辻一郎, 今井潤. 第45回日本老年医学会学術集会, 名古屋 (2003.6).
317. 環境由来化学物質による周産期曝露の健康影響に関するコホート 第三報 - 新生児行動評価の結果より -.
岡知子, 鈴木恵太, 仲井邦彦, 黒川修行, 亀尾聡美, 細川徹, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 第52回東北公衆衛生学会, 秋田 (2003.7).
318. 仙台市児童のここ15年間の体位変化について.
黒川修行, 仲井邦彦, 岡知子, 鈴木恵太, 菅原典夫, 亀尾聡美, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第52回東北公衆衛生学会, 秋田 (2003.7).
319. EFSOT: 環境対応次世代接合技術の開発 (鉛フリーはんだ構成成分の生物および環境影響評価).
佐藤洋, 大前和幸, 千葉百子, 高松武次郎, 久保井徹, 須賀唯知, 岡本正英, 中本信也, 平尾英司. 平成15年度 IMS 研究成果発表会, 東京 (2003.7).

320. 妊娠期間中の母親の喫煙が新生児へ及ぼす影響－ブラゼルトン新生児行動評価を用いて－.
鈴木恵太, 仲井邦彦, 岡知子, 細川徹, 黒川修行, 亀尾聡美, 菅原典夫, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 第39回宮城県公衆衛生学会学術総会, 仙台 (2003.7).
321. Effects of perinatal exposure to environmentally persistent organic pollutants and chemicals on neurobehavioral development in Japanese children: III. Maternal smoking confounds neonatal neurobehavioral status.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Oka, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai and H. Satoh. 23rd International Symposium on Halogenated Organic Pollutants and Persistent Organic Pollutants, Boston, U.S.A. (2003.8).
322. 道東に生息するタンチョウの重金属汚染状況.
平賀武夫, 熊谷芳浩, 岩井久枝, 石川知也, 寺岡宏樹, 青木則幸, 古賀公也, 原口謙策, 仲井邦彦, 佐藤洋, 百瀬邦和, 正富宏之. 第9回日本環境毒性学会・バイオアッセイ研究会合同研究発表会, 東京 (2003.8).
323. 仙台市児童の身長・体重の分布の推移について.
黒川修行, 仲井邦彦, 岡知子, 鈴木恵太, 菅原典夫, 亀尾聡美, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第51回東北学校保健学会, 福島 (2003.9).
324. Secular trends in body mass index and prevalence of overweight and obesity in school children in Sendai, Japan, 1990-2001.
Kurokawa, N., K. Nakai, T. Oka, N. Sugawara, K. Suzuki, S. Kameo, H. Nakatsuka and H. Satoh. North American Association for the Study of Obesity 2003, Ft. Lauderdale, Florida, U.S.A (2003.10).
325. 道東に生息するタンチョウの重金属汚染.
岩井久枝, 熊谷芳浩, 石川知也, 寺岡宏樹, 青木則幸, 古賀公也, 原口謙策, 仲井邦彦, 佐藤洋, 百瀬邦和, 正富宏之, 平賀武夫. 第136回日本獣医学会学術集会, 青森 (2003.10).
326. 環境汚染物質とこどもの発達.
佐藤洋. 第24回宮城県母性衛生学会学術集会, 仙台 (2003.10).
327. メチル水銀胎児期曝露の出生後の影響: 国際的な研究の動向を中心に.
佐藤洋. フォーラム2003: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 仙台 (2003.10).
328. A protocol and the present state for the prospective cohort study in Japan.
Nakai, K., K. Suzuki and H. Satoh. NIMD Forum 2003, Niigata (2003.11).

329. Cohort study on the neurobehavioral effects of perinatal exposure to halogenated organic environmental pollutants and heavy metals in Japanese children: Protocol and preliminary results on the neonatal behavioral assessment scale.
Sato, H., K. Nakai, T. Oka, K. Suzuki, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, T. Nakamura and H. Takahashi. International Invitational Conference on Child Development and the Environment, Victoria, Mahe, Republic of Seychelles (2003.11).
330. 仙台市児童・生徒のここ15年間の体位変化について.
黒川修行, 中塚晴夫, 佐藤洋. 第50回日本学校保健学会, 神戸 (2003.11).
331. 空間学習成立マウス海馬における苔状線維の新しい投射の解析.
和地恵, 奈良諭, 石塚徹, 仲井邦彦, 佐藤洋, 八尾寛. 第12回海馬と高次脳機能学会, 東京 (2003.11).
332. 環境汚染と子供の発達.
佐藤洋. 平成15年度日本学術会議東北地区会議公開学術講演会, 仙台 (2003.11).
333. Biological impact of metals in lead-free solders.
Sato, H., M. Chiba, K. Omae and M. Okamoto. 2nd Inter-regional Meeting of IMS Project EFSOT, Korea (2003.12).
334. Evaluation of environmental and biological impact of Pb-free solders.
Sato, H., M. Chiba, T. Takamatsu and T. Kuboi. EcoDesign 2003, Tokyo (2003.12).
335. IMS プロジェクト EFSOT の概要.
岡本正英, 芹沢弘二, 佐藤洋, 千葉百子, 久保井徹, 中本信也, 平尾英司, 横山貞彦, 竹本正. JITA シンポジウム LCA における環境影響評価の総合評価－鉛フリーはんだをケーススタディとして－, 東京 (2003.12).
336. 環境由来化学物質の周産期曝露が児の発達に及ぼす影響に関するコホート調査: 生体試料における PCBs 及びダイオキシン類の分析戦略.
中村朋之, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 岡知子, 齊藤善則, 佐藤洋. 環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会) 第6回研究発表会, 仙台 (2003.12).
337. 環境由来化学物質の周産期曝露が児の発達に及ぼす影響に関するコホート調査: 甲状腺ホルモンと新生児の神経行動学的発達の指標との関連について.
鈴木恵太, 仲井邦彦, 岡知子, 細川徹, 岡村州博, 堺武男, 佐藤洋. 環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会) 第6回研究発表会, 仙台 (2003.12).

338. Postnatal effects of in utero exposure to methylmercury in fish and sea food: a brief review of the epidemiological studies and the future problems.
Sato, H. The Second International Seminar on Children's Environmental Health, Tokyo (2004.3).
339. 飲水による長期間の無機ヒ素曝露が次世代に及ぼす生体影響について。
伊藤俊弘, 中木良彦, 仲井邦彦, 渡辺知保, 山内博, 吉田貴彦, 佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
340. 重金属ならびに内分泌攪乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究: 母親の魚摂取調査による水銀曝露評価。
岡知子, 鈴木恵太, 仲井邦彦, 村田勝敬, 坂本峰至, 菅原典夫, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
341. 生活習慣病とその遺伝情報に関する労働者の意識について。
黒川修行, 仲井邦彦, 藤木幸雄, 広瀬俊雄, 清水哲郎, 松原洋一, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
342. メチル水銀と健康リスク評価ーシンポジウム III.
佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
343. ビスマスの変異原性。
佐野有理, 大前和幸, 佐藤洋, 千葉百子, 岡本正英, 芹沢弘二. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
344. マウスの臓器中ビスマス分布とメタロチオネイン誘導の検討。
千葉百子, 篠原厚子, 佐藤洋, 大前和幸, 岡本正英, 芹沢弘二, 稲葉裕. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
345. 妊婦を対象とした毛髪総水銀濃度の調査。
仲井邦彦, 岡知子, 鈴木恵太, 岡村州博, 坂本峰至, 安武章, 村田勝敬, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
346. 重金属ならびに内分泌攪乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究: プロトコールと途中経過。
鈴木恵太, 岡知子, 仲井邦彦, 岡村州博, 細川徹, 中村朋之, 堺武男, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第74回日本衛生学会, 東京 (2004.3).
347. 環境汚染と子供の発達。
佐藤洋. 第30回山形県公衆衛生学会, 山形 (2004.3).

348. 魚介類に蓄積するメチル水銀の胎児期曝露と生後の発達への影響－国際的な研究の現況と今後の課題－.
佐藤洋. 第2回小児等の環境保健に関する国際シンポジウム, 東京 (2004.3).
349. Methylmercury exposure in general pollutions of Japan, Asia and Oceania.
Sakamoto, M. and H. Satoh. International Workshop on Harmonization of Mercury Measurements Methods and Models to Assess Source-Receptor Impact on Air Quality and Human Health, Maratea, Italy (2004.5).
350. Review of IMS project EFSOT Japan 2003 Environmental impact of lead-free soldering.
Okamoto, M., K. Serizawa, H. Satoh, M. Chiba, K. Omae, E. Hirao, S. Nakamoto, N. Itsubo, A. Inaba, T. Takemoto and H. Nishikawa. The 2nd International Conference on Lead-free Electronics, Amsterdam, Holland (2004.6).
351. 妊婦を対象とした毛髪総水銀濃度の調査.
大葉隆, 仲井邦彦, 岡知子, 亀尾聡美, 鈴木恵太, 佐藤洋, 岡村州博, 安武章, 坂本峰至, 村田勝敬. 第40回宮城県公衆衛生学会学術総会, 仙台 (2004.6).
352. Effects on methylmercury exposure on human reproduction.
Arakawa, C., J. Yoshinaga, K. Nakai, H. Satoh and K. Okamura. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6) .
353. Changes of metal components of MT-III in the brain of MT-I, II null mice exposed to mercury vapor.
Kameo, S., K. Nakai, N. Kurokawa, T. Kanehisa, A. Naganuma and H. Satoh. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6).
354. Effects of low-dose long-term methylmercury exposure in mice under selenium deficient condition.
Nakai, K., S. Kameo, K. Etoh, N. Sugawara, N. Kurokawa and H. Satoh. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6).
355. Methylmercury exposure in the Tohoku pregnant women.
Nakai, K., K. Murata, K. Suzuki, T. Oka, S. Mineshi, A. Yasutake, S. Kameo, N. Kurokawa, N. Sugawara and H. Satoh. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6).

356. Maternal and fetal mercury and n-3 polyunsaturated fatty acids as a risk and benefit of fish consumption to fetus.
Sakamoto, M., M. Kubota, X.-J. Liu, K. Murata, K. Nakai and H. Satoh. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6).
357. A cohort study of effects of perinatal exposures to methylmercury and environmentally persistent organic pollutants on neurobehavioral development in Japanese children: study design and status report.
Satoh, H., K. Nakai, K. Suzuki, T. Oka, K. Murata, M. Sakamoto, K. Okamura, T. Hosokawa, T. Sakai, T. Nakamura, Y. Saito, N. Kurokawa and S. Kameo. 7th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Ljubljana, Slovenia (2004.6).
358. 妊婦を対象とした毛髪総水銀濃度の調査。
閑野将行, 岡田悠, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 岡村州博, 黒川修行, 大葉隆, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第53回東北公衆衛生学会, 山形 (2004.7).
359. 環境由来化学物質による周産期曝露の健康影響に関するコホート 第四報－乳幼児視覚認知検査について。
鈴木恵太, 仲井邦彦, 岡知子, 黒川修行, 亀尾聡美, 細川徹, 堺武男, 岡村州博, 佐藤洋. 第53回東北公衆衛生学会, 山形 (2004.7).
360. 生活習慣病の遺伝情報に対する労働者の意識。
黒川修行, 仲井邦彦, 藤木幸雄, 広瀬俊雄, 清水哲郎, 松原洋一, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第63回日本産業衛生学会東北地方会, 山形 (2004.7).
361. Evaluation of environmental and biological impact of Pb-free solder.
Satoh, H., M. Chiba, T. Takamatsu, T. Kuboi and K. Omae. Electronics Goes Green 2004 + Driving Forces for Future Electronics, Berlin, Germany (2004.9).
362. Organochlorine pesticide residues in human breast milk and placenta in Tohoku, Japan.
Nakai, K., T. Nakamura, K. Suzuki, T. Oka, K. Okamura, N. Sugawara, Y. Saitoh, T. Ohba, S. Kameo and H. Satoh. 24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Berlin, Germany (2004.9).

363. Effect of perinatal exposure to environmentally persistent organic pollutants and heavy metals on neurobehavioral development in Japanese children: IV. Thyroid hormones and neonatal neurobehavioral status.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Oka, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, N. Kurokawa and H. Satoh. 24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Berlin, Germany (2004.9).
364. Morphometric analysis of hippocampal mossy fiber synaptogenesis in spatially learning mice.
Yawo, H., M. Wachi, S. Nara, M. Kamada, T. Ishizuka, K. Nakai and H. Satoh. 27th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society, and the 3rd Joint Meeting of the Japan Neuroscience Society and the Japanese Society for Neurochemistry (Neuro 2004), Osaka (2004.9).
365. 仙台市小学6年生のBMIの分布の経年変化－1989年～2003年について－,
黒川修行, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 岡知子, 大葉隆, 菅原典夫, 亀尾聡美,
中塚晴夫, 佐藤洋. 第52回東北学校保健学会, 山形 (2004.9).
366. わが国の出生コホート別喫煙率の推移.
丸亀知美, 加茂憲一, 祖父江友孝, 秋葉澄伯, 水野正一, 玉腰暁子, 佐藤洋,
鈴木隆一郎, 田島和雄, 津金昌一郎. 第63回日本癌学会総会, 福岡 (2004.9).
367. Cadmium levels in maternal blood, fetal cord blood, and placental tissues in Japanese pregnant women who smoke or not smoke.
Kameo, S., K. Nakai, K. Suzuki, T. Oka, N. Sugawara, N. Kurokawa and H. Satoh. Seventh Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Bangkok, Thailand (2004.11).
368. Combined effects of long-term low-dose exposure to methylmercury and selenium deficiency on neurobehavioral examinations in mouse offspring.
Nakai, K., S. Kameo, N. Sugawara, N. Kurokawa, K. Eto and H. Satoh. Seventh Meeting of the International Society for Trace Elements Research in Humans, Bangkok, Thailand (2004.11).
369. Secular trends in body mass index in school children in Sendai, Japan, 1989-2003.
Kurokawa, N., K. Nakai, K. Suzuki, T. Oka, N. Sugawara, T. Ohba, S. Kameo, H. Nakatsuka and H. Satoh. North American Association for the Study of Obesity 2004, Las Vegas, Nevada, U.S.A (2004.11).
370. 環境由来化学物質による周産期曝露が出生児に及ぼす影響－シンポジウム,
仲井邦彦, 佐藤洋. 第23回日本周産期・新生児医学会周産期シンポジウム,
東京 (2005.1).

371. 小児の発達に及ぼす食品中の環境汚染物質の影響。
佐藤洋, 平成16年度日本学術会議東北地区会議「科学者との懇談会及び公開学術講演会」, 弘前 (2005.2).
372. 7歳児の前腕振戦に及ぼす立位重心動揺の影響。
岩田豊人, 村田勝敬, 嶽石美和子, 仲井邦彦, 坂本峰至, 佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
373. 病因解明や疾病予防を目指した微量元素の研究—シンポジウム。
佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
374. 重金属ならびに内分泌かく乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究: 臍帯血中セレンと甲状腺ホルモンの関連性。
大葉隆, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 菅原典夫, 黒川修行, 亀尾聡美, 岡村州博, 佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
375. 重金属ならびに内分泌かく乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究: 母親毛髪総水銀と新生児行動評価について。
仲井邦彦, 鈴木恵太, 岡知子, 岡村州博, 細川徹, 大葉隆, 亀尾聡美, 村田勝敬, 坂本峰至, 佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
376. 重金属ならびに内分泌かく乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究: 甲状腺ホルモンと新生児行動評価について。
鈴木恵太, 岡知子, 仲井邦彦, 岡村州博, 細川徹, 堺武男, 大葉隆, 菅原典夫, 亀尾聡美, 佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
377. 7歳児における聴性脳幹誘発電位潜時に影響する要因の検討。
嶽石美和子, 村田勝敬, 岩田豊人, 坂本峰至, 仲井邦彦, 佐藤洋, 第75回日本衛生学会, 新潟 (2005.3).
378. 妊婦の魚を介したメチル水銀摂取が出生児の発達に与える影響。
佐藤洋, 日本薬学会第125年会, 東京 (2005.3).
379. 重金属ならびに内分泌かく乱化学物質の周産期曝露が出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究から。
仲井邦彦, 佐藤洋, 第5回生殖次世代影響研究会, 新潟 (2005.3).
380. 環境汚染物質による食品の汚染: 循環器疾患その他の健康リスク評価。
佐藤洋, 老年病研究会講演会, 前橋 (2005.4).

381. 就業女性の出産に関わる検討－周産期における環境汚染物質曝露の影響評価を意図した出生コホート調査の結果から．
仲井邦彦, 鈴木恵太, 菅原典夫, 亀尾聡美, 村田勝敬, 黒川修行, 佐藤洋.
第78回日本産業衛生学会, 東京 (2005.4).
382. Cd, Pb and trace elements levels in maternal blood, fetal cord blood, and placental tissues in Japanese pregnant women who smoke or not smoke.
Kameo, S., K. Nakai, K. Suzuki, T. Oka, N. Sugawara, T. Ohba, N. Kurokawa and H. Satoh. 12th International Symposium on Trace Elements in Man and Animals, Coleraine, UK (2005.6).
383. EFSOT：環境対応次世代接合技術の開発（鉛フリーはんだ構成成分の生物および環境影響評価）.
佐藤洋. IMS プロジェクト EFSOT 国内プロジェクト最終会議, 東京 (2005.6).
384. 臍帯血, 母乳中 PCBs と dioxins 等の濃度の国際比較．
仲井邦彦, 中村朋之, 松村徹, 社本博司, 小泉敦子, 山内慎, 鈴木恵太, 大葉隆, 菅原典夫, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第14回環境化学討論会, 大阪 (2005.6).
385. 就業女性の出産について－周産期における環境汚染物質曝露の影響評価を意図した出生コホート調査の結果から．
仲井邦彦, 鈴木恵太, 菅原典夫, 亀尾聡美, 大葉隆, 島田美幸, 村田勝敬, 黒川修行, 佐藤洋. 第64回日本産業衛生学会東北地方会, 福島 (2005.7).
386. 環境由来化学物質による周産期曝露の健康影響に関するコホート 第五報：母親の魚摂取量と新生児行動評価について．
鈴木恵太, 仲井邦彦, 大葉隆, 亀尾聡美, 菅原典夫, 島田美幸, 村田勝敬, 黒川修行, 佐藤洋. 第54回東北公衆衛生学会, 福島 (2005.7).
387. Biological impact of lead-free solders.
Satoh, H. Inter-regional EFSOT Final Meeting, Tokyo (2005.9).
388. 性・身長別にみた仙台市小学6年生のBMIについて－平成元年度と平成15年度の比較－．
佐藤洋, 黒川修行, 中塚晴夫. 第53回東北学校保健学会, 秋田 (2005.9).
389. Updated meta-analysis of 12,018 Japanese individuals: association of BMI with the beta3 adrenoreceptor gene polymorphism.
Kurokawa, N., M. Sandhu, E. Young, N. Wareham, Y. Oka and H. Satoh. North American Association for the Study of Obesity 2005, Vancouver, Canada (2005.10).

390. 戦前からの仙台の子どもの発育（教育講演 7）.
佐藤洋. 第52回日本学校保健学会, 仙台 (2005.10).
391. Health effects of bismuth and its compounds.
Satoh, H. IWCC (International Wrought Copper Council) Technical Seminar 2005, Tokyo (2005.11).
392. 子供の発達と環境汚染.
佐藤洋. 第4回「新・赤ちゃん学国際シンポジウム」－子育てを科学する－, 東京 (2005.11).
393. 化学物質の胎児期曝露が幼児に及ぼす影響.
佐藤洋. 平成17年度厚生労働科学研究（化学物質リスク研究推進事業）シンポジウム「乳児の発育と化学物質」, 富山 (2005.11).
394. Overall technological results of IMS-EFSOT Japanese project.
Okamoto, M., K. Serizawa, H. Satoh, M. Chiba, T. Takamatsu, N. Itsubo and A. Inaba. EcoDesign 2005, Tokyo (2005.12).
395. Comparison of mercury concentrations between umbilical cord tissue and other tissues of fetal exposure to methylmercury in Japanese population.
Sakamoto, M., K. Murata, T. Kaneoka, K. Nakai, H. Satoh and H. Akagi. NIMD Forum 2006, Minamata (2006.2).
396. Lesson from an animal experiment of combined exposures to methylmercury and PCBs on neurobehavioral influences in mice.
Sugawara, N., K. Nakai, S. Kameo, T. Ohba, M. Shimada and H. Satoh. NIMD Forum 2006, Minamata (2006.2).
397. Tohoku study of child development, a cohort study to examine the effects of perinatal exposure to methylmercury, PCB or doxins on child development; the association of neonatal neurobehavioral status with maternal hair mercury concentration and fish intake.
Suzuki, K., K. Nakai, K. Murata, M. Sakamoto and H. Satoh. NIMD Forum 2006, Minamata (2006.2).
398. 化学物質の胎児期曝露が幼児に及ぼす影響.
佐藤洋. 平成17年度厚生労働科学研究（化学物質リスク研究推進事業）シンポジウム「乳児の発育と化学物質」, 東京 (2006.2).
399. 仙台市児童の性・身長別 BMI について－1989年と2003年の比較－.
黒川修行, 佐藤洋, 中塚晴夫. 第76回日本衛生学会, 宇部 (2006.3).

400. 食品中の重金属と健康：メチル水銀のリスク評価から－シンポジウム．
佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
401. 私の水銀中毒学：有害化学物質の胎児期曝露の影響－Behavioral Teratology からのアプローチ．
佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
402. メチル水銀間欠曝露による血中メチル水銀濃度“spike”が脳への水銀蓄積と神経変成へ及ぼす影響に関する研究．
坂本峰至，村田勝敬，仲井邦彦，佐藤洋，衛藤光明．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
403. 日本人における胎児へのメチル水銀曝露に関する臍帯水銀値とその他の指標との比較．
坂本峰至，村田勝敬，仲井邦彦，佐藤洋，赤木洋勝．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
404. 周産期のメチル水銀およびポリ塩化ビフェニル曝露による仔マウスの神経行動学的複合影響．
菅原典夫，仲井邦彦，大葉隆，中村朋之，鈴木恵太，黒川修行，島田美幸，亀尾聡美，佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
405. パーマ等による毛髪中総水銀濃度の変動に関する検討．
大葉隆，仲井邦彦，菅原典夫，鈴木恵太，島田美幸，黒川修行，亀尾聡美，佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
406. 臍帯血中のダイオキシン類およびPCBについて：出生コホート調査である Tohoku Study of Child Development の結果から．
仲井邦彦，中村朋之，鈴木恵太，小泉敦子，社本博司，山内慎，松村徹，大葉隆，亀尾聡美，佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
407. 周産期メチル水銀曝露による仔マウスの離乳後遺伝子発現解析．
島田美幸，亀尾聡美，菅原典夫，村田（水上）里美，大葉隆，鈴木恵太，黒川修行，仲井邦彦，岩橋均，佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．
408. 環境由来化学物質の周産期曝露と子どもの発達との関連：Tohoku Study of Child Development における検討．
鈴木恵太，仲井邦彦，大葉隆，中村朋之，岡村州博，細川徹，堺武男，亀尾聡美，村田勝敬，佐藤洋．第76回日本衛生学会，宇部（2006.3）．

409. Risk analysis of environmental pollutants: risk assessment and risk management of methylmercury in Japan.
Satoh, H. Union of Risk Management for Preventive Medicine, Special Conference Environment Risk Management, Tokyo (2006.6).
410. Cohort study to examine effects of perinatal exposures to methylmercury and PCBs on neurobehavioral development.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, S. Kameo and H. Satoh. XVth Biennial International Conference on Infant Studies, Kyoto (2006.6).
411. 環境汚染物質の出生後の発達に及ぼす影響に関するコホート研究.
佐藤洋. 環境ホルモン学会 (日本内分泌攪乱化学物質学会) 第16回講演会, 東京 (2006.6).
412. 環境由来化学物質の周産期曝露と子どもの発達との関連: Tohoku study of child development の結果から.
鈴木恵太, 仲井邦彦, 中村朋之, 岡村州博, 細川徹, 堺武男, 島田美幸, 櫻井梢, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第42回宮城県公衆衛生学会学術総会, 仙台 (2006.6).
413. 環境汚染とこどもの発達.
佐藤洋. 第28回肥後医育塾公開セミナー「医学的見地からみた水俣病」, 熊本 (2006.7).
414. メチル水銀の曝露評価に関する毛髪のパイオマーカーとしての有用性の検討.
大葉隆, 島田美幸, 櫻井梢, 鈴木恵太, 中村朋之, 黒川修行, 亀尾聡美, 仲井邦彦, 佐藤洋. 第55回東北公衆衛生学会, 盛岡 (2006.7).
415. Concentrations of dioxins and PCBs in cord blood in Japanese children from the Tohoku study of child development.
Nakamura, T., K. Nakai, K. Suzuki, A. Koizumi, H. Shamoto, M. Yamauchi, T. Matsumura, Y. Saito, S. Kameo and H. Satoh. 24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Oslo, Norway (2006.8).
416. Effects of perinatal exposure to environmentally persistent organic pollutants and heavy metals on neurobehavioral development in Japanese children: PCBs exposure and neonatal neurobehavioral status.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Nakamura, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, N. Kurokawa, S. Kameo, K. Murata and H. Satoh. 24th International Symposium on Halogenated Environmental Organic Pollutants and POPs, Oslo, Norway (2006.8).

417. Relationships of fatty acids, amino acids and methylmercury profiles between maternal and fetal blood; risks and benefits of fish consumption to fetus.
Sakamoto, M., M. Kubota, K. Murata, K. Nakai and H. Satoh. 8th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Madison, Wisconsin, U.S.A. (2006.8).
418. Comparison of mercury concentrations between umbilical cord tissue and other biomarkers of fetal exposure to methylmercury in Japanese population.
Sakamoto, M., K. Murata, K. Nakai and H. Satoh. 8th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Madison, Wisconsin, U.S.A. (2006.8).
419. Tohoku study of child development, a cohort study to examine the effects of perinatal exposures to methylmercury and environmentally persistent organic pollutants on neurobehavioral development in Japanese children: the association of neonatal neurobehavioral status with maternal hair mercury concentration.
Suzuki, K., K. Nakai, M. Sakamoto, K. Murata, K. Okamura, T. Hosokawa, T. Sakai, T. Ohba, N. Sugawara, M. Shimada, T. Nakamura, N. Kurokawa, S. Kameo and H. Satoh. 8th International Conference on Mercury as a Global Pollutant, Madison, Wisconsin, U.S.A. (2006.8).
420. Effects of perinatal exposure to methylmercury and/or polychlorinated biphenyls on mouse neurobehavioral development. -Analysis of gene expression in the hippocampus with DNA microarray.
Shimada, M., S. Kameo, N. Sugawara, S. Murata-Mizukami, T. Ohba, K. Nakai, H. Iwahashi and H. Satoh. The 3rd International Workshop on Biochips and Environmental Monitoring, Osaka, Japan (2006.8).
421. The cohort study on the effects of perinatal exposure to heavy metals and environmentally persistent organic pollutants on neurobehavioral development in Japanese children: the association of neonatal neurobehavioral status with methylmercury exposure and maternal fish intake.
Suzuki, K., K. Nakai, T. Nakamura, T. Hosokawa, K. Okamura, T. Sakai, K. Murata and H. Satoh. International Conference on Child Cohort Studies, Oxford (2006.9).
422. 環境科学における環境保健医学.
佐藤洋. 東北大学環境科学研究科講演会, 仙台 (2006.10).
423. 化学物質のリスク評価の現状と今後の課題.
佐藤洋. 第50回全国環境衛生大会, 横浜 (2006.10).

424. 農村地域住民における主観的健康度の関連要因：大迫研究．
鈴木和広，大久保孝義，栗本鮎美，佐藤理恵，宇津木恵，瀬川香子，末永カツ子，小林光樹，佐藤洋，今井潤．第65回日本公衆衛生学会，富山（2006.10）．
425. 仙台市児童の身長別にみた Body Mass Index の推移－1989年～2003年の検討－．
黒川修行，中塚晴夫，佐藤洋．第53回日本学校保健学会，高松（2006.11）．
426. 生後7ヶ月時における新奇選好と3歳6ヶ月時における認知機能との関連．
細川徹，鈴木恵太，龍田希，仲井邦彦，佐藤洋．日本心理学会第70回大会，福岡（2006.11）．
427. メチル水銀の胎児期曝露が出生後の発達に与える影響．
佐藤洋．北陸大学学術フロンティア・サテライトミーティング－食品汚染金属の毒性とその防御の分子メカニズム－，仙台（作並）（2007.2）．
428. 人工酸素運搬体 SNO-PEG-Hb の虚血心筋保護作用－NO 供与体としての役割．
浅沼博司，仲井邦彦，真田昌爾，金智隆，朝倉正紀，佐久間一郎，佐藤洋，駒村和雄，堀正二，北風政史．第7回日本NO学会学術集会，大津（2007.5）．
429. 周産期における化学物質曝露と子どもの発達の前向きコホート調査－妊娠女性の血中不飽和脂肪酸について－．
仲井邦彦，櫻井梢，鈴木恵太，島田美幸，中村朋之，黒川修行，亀尾聡美，佐藤洋．第61回日本栄養・食糧学会大会，京都（2007.5）．
430. 周産期における化学物質曝露と子どもの発達の前向きコホート調査－FFQから推定したメチル水銀摂取量－．
櫻井梢，仲井邦彦，鈴木恵太，島田美幸，中村朋之，黒川修行，亀尾聡美，佐藤洋．第61回日本栄養・食糧学会大会，京都（2007.5）．
431. リスク評価における疫学の役割．
佐藤洋．社団法人日本化学工業協会 ケミカルリスク研究会，東京（2007.6）．
432. 母親末梢血，臍帯血および母乳中の残留性有機汚染物質－ダイオキシン類およびPCBsについて－．
中村朋之，仲井邦彦，亀尾聡美，鈴木滋，斎藤善則，柴田康行，佐藤洋．第16回環境化学討論会，北九州（2007.6）．

433. 母親末梢血，臍帯血および母乳中の残留性有機汚染物質－農薬類について．
仲井邦彦，中村朋之，亀尾聡美，柴田康行，佐藤洋．第16回環境化学討論会，
北九州（2007.6）．
434. 魚介類等に含まれるメチル水銀の健康リスク評価．
佐藤洋．第18回日本微量元素学会学術集会，福井（2007.7）．
435. Secular trends in height and weight of schoolchildren from 1934 to 2003 in
Sendai, Japan.
Kurokawa, N., K. Satoh, K. Nakai, K. Suzuki, K. Sakurai, M. Shimada, S. Kameo,
H. Nakatsuka and H. Satoh. 11th International Congress of Auxology, Tokyo,
Japan（2007.9）．
436. Fish intake and maternal plasma polyunsaturated fatty acids in pregnant women.
Nakai, K., K. Sakurai, K. Suzuki, M. Shimada, T. Nakamura, S. Kameo and H.
Satoh. 10th Asian Congress of Nutrition, Taipei, Taiwan（2007.9）．
437. Daily methylmercury intake estimated by food frequency questionnaire.
Sakurai, K., K. Nakai, K. Suzuki, M. Shimada, T. Nakamura, S. Kameo and H.
Satoh. 10th Asian Congress of Nutrition, Taipei, Taiwan（2007.9）．
438. 仙台市児童・生徒のここ2,3年の体位について．
黒川修行，仲井邦彦，島田美幸，櫻井梢，亀尾聡美，佐藤洋．第55回東北学
校保健学会，盛岡（2007.9）．
439. 人間－環境系の視点からの保健医学に関する研究．
佐藤洋．社団法人環境科学会2007年会，長崎（2007.9）．
440. 母体血，臍帯血及び胎盤中の有害重金属と必須微量元素－Tohoku Study of
Child Development－．
亀尾聡美，仲井邦彦，鈴木恵太，黒川修行，島田美幸，櫻井梢，佐藤洋．
第78回日本衛生学会，熊本（2008.3）．
441. 指定された運動強度での運動中における自覚的運動強度と「快－不快感」の
関係．
黒川修行，本川亮，永富良一，飛田渉，小宮秀明，佐藤洋．第78回日本衛生
学会，熊本（2008.3）．
442. 環境由来化学物質の周産期曝露と子どもの発達との関連：母親毛髪総水銀，
臍帯血 PCBs と新生児行動評価の関連性．
仲井邦彦，鈴木恵太，中村朋之，櫻井梢，島田美幸，黒川修行，亀尾聡美，
岡村州博，村田勝敬，細川徹，佐藤洋．第78回日本衛生学会，熊本（2008.3）．

443. 東北コーホート調査の到達点と課題—曝露評価の重要性を含めて．
仲井邦彦，村田勝敬，細川徹，堺武男，岡村州博，佐藤洋．第78回日本衛生学会，熊本（2008.3）．
444. 胎児期におけるメチル水銀の曝露評価－Tohoku Study of Child Development から－．
島田美幸，仲井邦彦，大葉隆，櫻井梢，黒川修行，佐藤智恵子，鈴木恵太，
亀尾聡美，佐藤洋．第78回日本衛生学会，熊本（2008.3）．
445. 妊娠女性におけるメチル水銀摂取量の推定－FFQ を用いた試み－．
櫻井梢，島田美幸，鈴木恵太，黒川修行，佐藤智恵子，亀尾聡美，仲井邦彦，
佐藤洋．第78回日本衛生学会，熊本（2008.3）．
446. Developmental effects of perinatal exposure to POPs and heavy metals: Tohoku study of child development.
Satoh, H. The 3rd Scientific Conference for Environment and Health in Southeast and East Asia, Jeju, Korea (2008.4)．
447. Global environmental pollution and health.
Satoh, H. Public Symposium “Human Security” as Japan’s International Strategy
－ A Proposal for the G8 Hokkaido Toyako Summit, Sendai (2008.5)．
448. 新生児行動評価と出産時の母親血中不飽和脂肪酸．
仲井邦彦，櫻井梢，鈴木恵太，黒川修行，岡村州博，細川徹，村田勝敬，
坂本峰至，佐藤洋．第62回日本栄養・食糧学会大会，坂戸市（2008.5）．
449. 曝露指標としての臍帯血 PCB－東北地方における出生コホート調査結果から．
仲井邦彦，中村朋之，鈴木恵太，島田美幸，櫻井梢，黒川修行，亀尾聡美，
水谷太，松村徹，佐藤洋．第17回環境化学討論会，神戸（2008.6）．
450. Relationship between perceived exertion and affect during imposed intensity exercise.
Kurokawa, N., A. Motokawa, R. Nagatomi, W. Hida, H. Komiya and H. Satoh. 7th World Congress on Aging and Physical Activity, Tsukuba (2008.7)．
451. The predictability of the cognitive function from the Fagan test of infant intelligence.
Suzuki, K., N. Tatsuta, K. Nakai, H. Satoh and T. Hosokawa. The XXIX International Congress of Psychology (ICP2008), Berlin (2008.7)．

452. 鉛および鉛ハンダ代替金属の健康影響と我が国におけるばく露レベル。
佐藤洋. 第19回日本微量元素学会学術集会, 東京 (2008.7).
453. 食の安全－環境汚染物質から身を守るには－。
佐藤洋. 第19回日本微量元素学会学術集会, 東京 (2008.7).
454. 胎児期メチル水銀ばく露の生後の発達への影響。
仲井邦彦, 坂本峰至, 村田勝敬, 佐藤洋. 第19回日本微量元素学会学術集会, 東京 (2008.7).
455. 妊娠女性におけるメチル水銀の曝露評価
島田美幸, 仲井邦彦, 櫻井梢, 黒川修行, 鈴木恵太, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第57回東北公衆衛生学会, 青森 (2008.7).
456. FFQ から推定した妊娠女性のメチル水銀摂取量
櫻井梢, 仲井邦彦, 島田美幸, 黒川修行, 鈴木恵太, 亀尾聡美, 佐藤洋. 第57回東北公衆衛生学会, 青森 (2008.7).
457. Relationship between child birth weight and concentration of polychlorinated biphenyls (PCBs) of the mother in Japan. –Tohoku study of child development (TSCD)–.
Kurokawa, N., K. Nakai, K. Suzuki, T. Nakamura, K. Sakurai, M. Shimada, T. Ohba, C. Satoh, S. Kameo, K. Okamura and H. Satoh. 28th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants, Birmingham, United Kingdom (2008.8).
458. 仙台市小学6年生の身長, 体重のここ5年間の推移について。
黒川修行, 佐藤洋. 第56回東北学校保健学会, 仙台 (2008.9).
459. Developmental effects of perinatal exposure to Methylmercury and POPs : Tohoku study of child development.
Satoh, H. International Symposium on Seafood Safety, Yokohama (2008.10).
460. 食品の安全性とリスク評価。
佐藤洋. とくしま食の安全・安心シンポジウム, 徳島 (2008.10).
461. メチル水銀とPCBの蓄積量に与える周産期複合曝露の影響: 仔マウスの脳における検討。
島田美幸, 中村朋之, 菅原典夫, 亀尾聡美, 櫻井梢, 黒川修行, 仲井邦彦, 佐藤洋. フォーラム2008: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 熊本 (2008.10).

462. 児童・生徒の肥満判定指標の関する問題点について．
黒川修行，佐藤洋．第55回日本学校保健学会，名古屋（2008.11）．
463. 集団からみた発育研究の展開－仙台市児童の70年間における体格の変化を中心に－．
黒川修行，佐藤洋．第55回日本学校保健学会，名古屋（2008.11）．
464. Japanese initiatives – current situation and issues in children's environmental health.
Satoh, H. International Symposium on the Environmental Risks of Chemicals, Tokyo (2008.12)．
465. 日本における取組～小児環境保健の現状と課題～．
佐藤洋．化学物質の環境リスクに関する国際シンポジウム，東京（2008.12）．
466. Cohort study of the effects of perinatal exposure to methylmercury and POPs on development of infants in Japan; an interim report of Tohoku Study of Child Development.
Satoh, H., K. Nakai, K. Suzuki, N. Kurokawa, T. Oka-Sugawara, N. Tatsuta, T. Ohba and M. Shimada. NIMD Forum 2009, Minamata (2009.2)．
467. 仙台市小学6年生の肥満判定指標別にみた肥満児の出現率について．
黒川修行，佐藤洋．第79回日本衛生学会，東京（2009.3）．
468. 衛生学と環境保健－Behavioral Teratology から小児の環境保健へ－．
佐藤洋．第79回日本衛生学会，東京（2009.3）．
469. 環境由来化学物質の周産期曝露と子どもの発達との関連：生後7および18ヶ月の発達検査結果から．
仲井邦彦，鈴木恵太，菅原知子，WangHui，櫻井梢，島田美幸，黒川修行，亀尾聡美，岡村州博，村田勝敬，細川徹，佐藤洋．第79回日本衛生学会，東京（2009.3）．
470. セレン欠乏下の長期メチル水銀ばく露マウスにおける臓器内水銀蓄積量．
島田美幸，仲井邦彦，亀尾聡美，櫻井梢，佐藤智恵子，黒川修行，佐藤洋．第79回日本衛生学会，（2009.3）．
471. 魚介類を介したメチル水銀および不飽和脂肪酸について－妊娠女性における検討－
櫻井梢，仲井邦彦，島田美幸，鈴木恵太，黒川修行，佐藤洋．第79回日本衛生学会，東京（2009.3）．

472. ヒト血清，血漿および全血を用いた有機フッ素系化合物の測定．
仲井邦彦，水谷太，中村朋之，山本潤，苮木洋一，櫻井梢，柴田康行，佐藤洋．
第18回環境化学討論会，つくば（2009.6）．
473. 食品による重金属ばく露と健康被害．
佐藤洋．第36回日本トキシコロジー学会学術年会 第7回市民公開セミナー，
盛岡（2009.7）．
474. 働く母親の家庭血圧について．
黒川修行，浅山 敬，仲井邦彦，鈴木恵太，龍田希，福島直美，今井潤，
佐藤洋．第68回日本産業衛生学会東北地方会，秋田（2009.7）．
475. 小規模金鉱山における水銀による作業者の健康影響の現状について：文献検
索から．
吉田稔，村田勝敬，佐藤洋．第68回日本産業衛生学会東北地方会，秋田
（2009.7）．
476. 乳幼児期の子どもの発達と環境要因の関連性．
龍田希，柳沼梢，島田美幸，鈴木慶太，黒川修行，村田勝敬，細川徹，仲井
邦彦，佐藤洋．第58回東北公衆衛生学会，秋田（2009.7）．
477. 仙台市中学3年生の身長，体重，肥満・痩身傾向児の出現率の推移．
黒川修行，佐藤洋．第57回東北学校保健学会，福島（2009.9）．
478. 小児機能的腸障害と脳幹刺激反応性ならびに両親養育態度の関連．
清野静，渡辺諭史，伊藤菜見子，三浦祥子，小澤鹿子，金澤素，仲井邦彦，
佐藤洋，福土審．第68回日本心身医学会東北地方会，仙台（2009.9）．
479. 「エコチル調査」にいたるまで：Behavioral Teratology から小児の環境保健疫
学調査へ．
佐藤洋．国立環境研究所セミナー，つくば（2009.10）．
480. 小児期における家庭血圧と出生体重との関連：出生コホート調査．
林克剛，浅山敬，大久保孝義，保坂実樹，今井潤，佐藤洋．第32回日本高血
圧学会総会，滋賀（2009.10）．
481. 仙台市小学6年生の肥満・痩身児の割合の推移（平成15年度～平成20年度）．
黒川修行，佐藤洋．第56回日本学校保健学会，那覇（2009.11）．

482. メチル水銀と PCB の一般環境ばく露下における蓄積 - 出生コホート調査 (TSCD) から - .
島田美幸, 仲井邦彦, 中村朋之, 柳沼梢, 龍田希, 黒川修行, 佐藤洋. フォーラム2009: 衛生薬学・環境トキシコロジー, 沖縄 (2009.11).
483. 幼児期から学齢期にかけての肥満のトラッキング現象 .
黒川修行, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 龍田希, 柳沼梢, 島田美幸, 村田勝敬, 佐藤洋. 第80回日本衛生学会学術総会, (2010.5).
484. メチル水銀と PCB 各異性体の一般環境ばく露下における蓄積 - コホート調査 (TSCD) から - .
島田美幸, 仲井邦彦, 中村朋之, 柳沼梢, 龍田希, 黒川修行, 佐藤洋. 第80回日本衛生学会学術総会, 仙台 (2010.5).
485. 環境由来化学物質ばく露と子どもの情緒および行動の問題 .
龍田希, 仲井邦彦, 柳沼梢, 島田美幸, 黒川修行, 櫻井香澄, 細川徹, 村田勝敬, 佐藤洋. 第59回東北公衆衛生学会, 山形 (2010.7).
486. Co-exposure to methylmercury and PCBs increases accumulation of PCBs in the brains of offspring mice.
Shimada, M., T. Nakamura, N. Sugawara, K. Yaginuma, N. Tatsuta, N. Kurokawa, K. Nakai and H. Satoh. 30th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (Dioxin 2010), San Antonio, Texas, USA (2010.9).
487. 仙台市小学6年生の身長, 体重, 肥満・痩身傾向児の出現率の推移 (平成15年度~平成21年度).
黒川修行, 佐藤洋. 第58回東北学校保健学会, 山形 (2010.9).
488. 環境化学物質への胎児期ばく露の出生後の影響: 子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査) への期待 .
佐藤洋. 日本環境変異原学会第39回大会, つくば (2010.11).
489. 鉛のリスク評価から .
佐藤洋. 第8回食品安全フォーラム, 東京 (2010.11).
490. 児童の体格と学区の環境の関係について .
黒川修行, 佐藤洋. 第57回日本学校保健学会, 坂戸 (2010.11).
491. 魚肉に含有されるメチル水銀と塩化メチル水銀との胎児期曝露影響の比較 .
島田美幸, 山下倫明, 佐藤智恵子, 柳沼梢, 龍田希, 黒川修行, 仲井邦彦, 佐藤洋. 第81回日本衛生学会学術総会, 東京 (2011.3).

492. 母乳中メチル水銀.
島田美幸, 仲井邦彦, 龍田希, 柳沼梢, 黒川修行, 佐藤洋, 赤木洋勝. 第81回日本衛生学会学術総会, 東京 (2011.3).
493. 環境由来化学物質の胎児期ばく露と新生児の行動発達の関連性: NBAS による解析から.
龍田希, 仲井邦彦, 鈴木恵太, 柳沼梢, 島田美幸, 黒川修行, 村田勝敬, 佐藤洋. 第81回日本衛生学会学術総会, 東京, 日本 (2011.3).
494. The association of prenatal exposure to methylmercury with infant development in Tohoku Study of Child Development.
Tatsuta, N., K. Nakai, K. Murata, M. Shimada, K. Yaginuma-Sakurai, K. Suzuki, N. Kurokawa, T. Hosokawa and H. Satoh. The 10th International Conference of Mercury as a Global Pollutant, Halifax, Canada (2011.7).
495. Variation of hair to blood ratio of mercury from intervention study of methylmercury exposure.
Yaginuma-Sakurai, K., M. Shimada, K. Nakai, K. Naoyuki, N. Tatsuta, K. Murata and H. Satoh. The 10th International Conference of Mercury as a Global Pollutant, Halifax, Canada (2011.7).

V. 解説・評論等 (新聞・広報誌等での解説記事, 事典の執筆等)

1. 環境衛生と産業衛生 (巻頭言).
佐藤洋. 宮城県公衆衛生学会会誌 22 (1989.6).
2. 室内空気汚染と生活行動様式.
佐藤洋. 医学のあゆみ 152 (6) (1990.2).
3. 地域の環境問題を考える.
佐藤洋. 宮城県公衆衛生学会会誌 (23) (1990.6).
4. VDT による健康障害とその予防対策.
佐藤洋. 月刊保団連 (324) (1990.10).
5. 環境とその健康への影響.
佐藤洋. 宮城県医師会報 (539) (1990.12).
6. 健康管理と健康情報 (論壇).
佐藤洋. 産業医学ジャーナル 14 (1991.1).

7. リスクファクターと健康生活：労働および職業性曝露．
佐藤洋．からだの科学 162 (1992.1)．
8. 産業保健活動の定着を願う．
佐藤洋．日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく (1993.3.1)．
9. 四訂日本食品標準成分表に基づくデータベース STFCJ4TH の改訂について．
中塚晴夫，小山洋，佐藤洋，池田正之．東北大学大型計算機センター広報 SENAC 27 (3) (1994.7)．
10. 自著紹介 Toxicology Today - 中毒学から生体防御の科学へ - ．
佐藤洋．日本医事新報 (335) (1994.8)．
11. 母性と環境問題．
佐藤洋．公衆衛生情報みやぎ 231 (1995.3)．
12. 水銀汚染－局地的問題とグローバルな問題－．
鈴木継美，佐藤洋．公衆衛生 59 (5) (1995.5)．
13. 環境保全と予防医学
小山洋，佐藤洋．「最新」公衆衛生・予防医学．(1995)．
14. 産業保健活動の活性化に向けて．
佐藤洋．さんぽみやぎ 1 (1996.1)．
15. 花山村減塩教室(その1 血圧のはなし) 前編．
中塚晴夫，小山洋，笠沼勇一，佐藤洋．広報 はなやま (300) (1996.8)．
16. 花山村減塩教室(その1 血圧のはなし) 後編．
中塚晴夫，小山洋，笠沼勇一，佐藤洋．広報 はなやま (301) (1996.9)．
17. 花山村減塩教室(その2 血圧が下がった) 前編．
中塚晴夫，小山洋，笠沼勇一，佐藤洋．広報 はなやま (302) (1996.10)．
18. 花山村減塩教室(その2 血圧が下がった) 後編．
中塚晴夫，小山洋，笠沼勇一，佐藤洋．広報 はなやま (303) (1996.11)．
19. 水銀とその化合物．
佐藤洋．産業衛生学雑誌 39: A17-A18 (1997.1)．

20. 塩化水素，硫黄酸化物．
佐藤洋．中毒研究 10（4）（1997.10）．
21. 騒音職場における遮音許容度に関する研究．
加美山茂利，安田恒人，佐藤洋，佐藤吉洋．さんぽみやぎ 8（1998.3）．
22. 環境汚染物質の神経（行動）毒性．
佐藤洋．組織培養工学 24（7）（1998.6）．
23. 人工血液と NO
佐久間一郎，仲井邦彦，藤井聡，富樫広子，吉岡充宏，佐藤洋，北畠顕．心血管病態と NO.（1998.10）．
24. 長寿社会の健康管理．
佐藤洋．地方公務員 安全と健康フォーラム（29）（1998.10）．
25. 環境汚染と「環境ホルモン」に関する最近の話題（1）．
佐藤洋．施仙広報（427）（1998.11）．
26. 化学物質による環境汚染物質と内分泌攪乱物質（いわゆる“環境ホルモン”について）．
佐藤洋．社団法人東北経済倶楽部会報（155）（1998.12）．
27. 環境汚染と「環境ホルモン」に関する最近の話題（2）．
佐藤洋．施仙広報（429）（1999.1）．
28. 環境汚染と「環境ホルモン」に関する最近の話題（3）．
佐藤洋．施仙広報（430）（1999.2）．
29. 今，なぜ産業医なのか 労働衛生管理とは．
佐藤洋．JIM 9（2）（1999.2）．
30. 人工血液の設計とガス状メディエータ．
佐久間一郎，仲井邦彦，富樫広子，坂野上淳，藤井聡，吉岡充弘，佐藤洋，北畠顕．集中治療 11: 477-485（1999.4）．
31. Nitric oxide scavenging effects of hemoglobin injected intravenously into spontaneously diabetic rats on blood pressure and platelet aggregation.
Sakuma, I., H. Togashi, K. Nakai, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. The Biology of Nitric Oxide Part 7.（2000.5）．

32. S-nitrosylation of a newly developed polyethylene glycol-conjugated hemoglobin causes a marked inhibition of ex vivo platelet aggregation in the rat.
Togashi, H., I. Sakuma, K. Nakai, S. Fujii, M. Yoshioka, H. Satoh and A. Kitabatake. The Biology of Nitric Oxide Part 7. (2000.5).
33. パーフルオロカーボン (PFC) による挑戦.
仲井邦彦, 佐久間一郎, 福島昭二, 竹内由和, 佐藤洋, 北畠顕. 人工血液 8: 43-51 (2000.7).
34. Redox states of cerebral tissues of rats substituted by the polyethyleneglycol-conjugated hemoglobin.
Sakanoue, J., M. Tamura, K. Nakai, I. Sakuma, H. Satoh and A. Kitabatake. Oxygen Transport to Tissue XXII. (2000).
35. 酸素運搬体開発の課題 Current issues in development of oxygen carriers.
仲井邦彦, 佐久間一郎, 福島昭二, 照屋純, 竹内由和, 佐藤洋, 北畠顕. 血液・免疫・腫瘍 6 (1) (2001.1).
36. s- ニトロソヘモグロビンの基礎と臨床.
佐久間一郎, 仲井邦彦, 菅原武, 佐藤洋, 北畠顕. LUNG perspectives 9: 191-194 (2001.4).
37. 赤血球代替物の臨床応用の可能性.
照屋純, 佐久間一郎, 仲井邦彦, 佐藤洋, 北畠顕. 人工血液 9: 23-26 (2001.4).
38. 健康影響から見た有害化学物質の管理 (論壇).
佐藤洋. 産業医学ジャーナル 24 (5) (2001.9).
39. 内分泌攪乱物質の健康影響に関する疫学研究から－周産期曝露の影響を中心として－.
仲井邦彦, 佐藤洋. 最新医学 57 (2) (2002.2).
40. 重金属中毒学－消滅しない元素の毒科学 はじめに.
佐藤洋. 医学のあゆみ 202 (11) (2002.9).
41. 重金属中毒学－消滅しない元素の毒科学 1 鉛と水銀, その古くて新しい重金属の中毒学－周産期および乳幼児期曝露に起因する行動奇形.
仲井邦彦, 佐藤洋. 医学のあゆみ 202 (11) (2002.9).
42. 産業化学物質による曝露とその生体影響のひろがり: 水銀を例として.
佐藤洋. 産業医学レビュー 15 (3) (2002.11).

43. Epidemiology of hypertension based on ambulatory blood pressure monitoring and self-measurement of blood pressure at home.
Imai, Y., A. Hozawa, T. Ohkubo, I. Tsuji, J. Yamaguchi, M. Michimata, M. Kikuya, J. Hashimoto, T. Ugajin, T. Nishimura, Y. Aoki and H. Satoh. Brain Hemorrhage 2002 (Proceedings of the Fourth Symposium of Intracerebral Hemorrhage) . (2002).
44. メチル水銀基準摂取量のゆくえ .
村田勝敬, 嶽石美和子, 佐藤洋. 公衆衛生 67 (7) (2003.7).
45. 鳥インフルエンザは, 小さな「同時多発性テロ」か? (巻頭言).
佐藤洋. 宮城県公衆衛生学会会誌 36 (2004.3).
46. 魚介類に蓄積するメチル水銀と健康 (Health and Methylmercury in fish).
佐藤洋. Modern Media 50 (6 (通巻583号)) (2004.4).
47. 特集テーマ「人口減少社会のパースペクティブ」 少子高齢化社会への処方箋は有るか? .
佐藤洋. 学術の動向 2004-7 (2004.7).
48. 職場のメンタルヘルス問題の実態調査 .
安田恒人, 加美山茂利, 佐藤洋, 三塚浩三, 佐藤祥子. 平成16年度 みやぎの産業保健 (2004.9).
49. IV 生化学的検査 [2] G. 金属 (2) 水銀 .
菅原典夫, 佐藤洋. 日本臨牀 62巻増刊12: 339-343 (2004.12).
50. Bayley 式乳幼児発達検査第2版の日本国内での実施の試み .
岡知子, 鈴木恵太, 仲井邦彦, 細川徹, 佐藤洋. 医学のあゆみ 212 (4) (2005.1).
51. 環境汚染と乳幼児の発達－そのリスクの評価法 はじめに .
佐藤洋. 医学のあゆみ 212 (4) (2005.1).
52. 新奇選好を応用した乳幼児の視覚認知検査－Fagan Test of Infant Intelligence.
鈴木恵太, 仲井邦彦, 岡知子, 細川徹, 佐藤洋. 医学のあゆみ 212 (4) (2005.1).
53. ワクチンに含まれるチメロサールのリスク評価と今後の対応 .
亀尾聡美, 閑野将行, 三島英煥, 野田一樹, 山本康央, 仲井邦彦, 佐藤洋. 公衆衛生 69 (2) (2005.2).

54. 漁食のメリットとデメリット.
佐藤洋. 漁協くみあい 115 (2005.5).
55. 環境由来化学物質による周産期曝露が出生児に及ぼす影響.
仲井邦彦, 佐藤洋. 周産期学シンポジウム 23 (2005.9).
56. メチル水銀と魚介類の摂取.
佐藤洋. からだの科学 246 (2006.1).
57. 気になるメチル水銀 (DVD).
佐藤洋. (2006.5).
58. 産業保健と環境保健 (論壇).
佐藤洋. 産業医学ジャーナル 29 (6) (2006.11).
59. 21世紀の環境保健の課題と展望.
佐藤洋. 公衆衛生 71 (6) (2007.6).
60. 産業医と環境保健: 日医環境保健委員会の議論から.
佐藤洋. 仙台市医師会報 (517) (2007.7).
61. 仙台市の小学 6 年生の体位について - 70年にわたる計測から - .
黒川修行, 佐藤洋. 子どもと発育発達 5 (4) (2008.1).
62. 環境保健, 「環境ホルモン」と Fetal Programming.
佐藤洋. 化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供サイト (Official Endocrine Disruption Website) (2008.2).
63. なるほど健康雑学 東北大リレー講座 76 環境と子どもの発育.
佐藤洋. 河北新報 (2008.2.18).
64. なるほど健康雑学 東北大リレー講座 77 ダイオキシン問題のいま.
佐藤洋. 河北新報 (2008.2.25).
65. なるほど健康雑学 東北大リレー講座 78 食の安全とリスク評価.
佐藤洋. 河北新報 (2008.3.3).
66. 食育講座 - 小児医療に関わる人のために V. 食育に役立つ知識あれこれ
12. こどもの食と環境問題.
佐藤洋. 小児科臨床 61 (7) (2008.6).

67. Maternal smoking, quality of home environment and offspring development.
Suzuki, K., N. Tatsuta, K. Nakai, T. Oka, K. Okamura, T. Sakai, N. Kurokawa, H. Satoh and T. Hosokawa. Research Focus on Smoking and Women's Health. (2008.9).
68. The biological monitoring program of persistent organic pollutants in Japan: concentrations of dioxins, polychlorinated biphenyls and organochlorine pesticides in maternal blood, breast milk and cord blood.
Nakai, K., T. Nakamura, Y. Shibata, K. Suzuk, S. Kameo, Y. Saito, T. Hosokawa, K. Okamura, K. Murata and H. Satoh. Persistent Organic Pollutants (POPs) Research in Asia. (2008.10).
69. 難分解性有機汚染物質 (POPs) の健康リスクと疫学的知見 .
仲井邦彦, 佐藤洋. 医学のあゆみ 228 (7) (2009.2).
70. 仙台市小学 6 年生のここ数年間の身長・体重の推移について .
黒川修行, 佐藤洋. 公衆衛生情報みやぎ 387 (2009.3).
71. 小児環境保健に関する疫学調査の取り組みと課題 .
村田勝敬, 佐藤洋. 化学物質と環境 (96) (2009.7).
72. 食のリスク評価と環境汚染物質の耐容摂取量 .
佐藤洋. 食品衛生研究 59 (8) (2009.8).
73. メチル水銀による生後の神経発達への影響－世界と日本の出生コホート研究から .
佐藤洋. 科学 79 (9) (2009.9).
74. 安全基準に関連する動物実験のジレンマ .
村田勝敬, 佐藤洋. 日本衛生学雑誌 64: 824-825 (2009.9).
75. 水銀
島田美幸, 佐藤洋. 日本臨牀. (2010.1).
76. 化学的環境は子どもの発達にどのような影響をおよぼすのか .
佐藤洋. 学術の動向 (4) (2010.4).
77. メチル水銀曝露の多様性と健康リスク .
村田勝敬, 坂本峰至, 佐藤洋. 公衆衛生 74 (4) (2010.4).
78. 化学物質と環境・健康 .
佐藤洋. 食品衛生研究 60 (7) (2010.7).

79. 動き出した“エコチル調査”－環境省「子供の健康と環境に関する全国調査」はじめに.
佐藤洋. 医学のあゆみ 235 (11) (2010.12).
80. 動き出した“エコチル調査”－環境省「子供の健康と環境に関する全国調査」“エコチル調査”前史.
佐藤洋. 医学のあゆみ 235 (11) (2010.12).
81. 子供の健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の概要.
佐藤洋. 保健医療科学 59 (4) (2010.12).

VI. その他(随想など)

1. 教授就任挨拶
佐藤洋. 艮陵新聞(1989.10.25).
2. 創刊記念座談会
佐藤洋, 五十嵐裕, 師研也, 伊藤敏, 西郡光昭, 武田信彦, 大槻和子. 日本教育医事新聞(1991.1.25).
3. 高橋英次先生の御近況
佐藤洋. 日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく(1991.9.1).
4. 仙台・専門家座談会
佐藤洋, 師研也, 五十嵐裕, 羽二生邦彦, 門間純子. 教育医事新聞(1992.3.25).
5. 国際協力を考える－SGOMSECへ出席した後で考えたこと－
佐藤洋. 仙台市医師会報(363)(1994.9).
6. SGOMSECに参加して
佐藤洋. 産業医学 36 (6) (1994.11).
7. 第53回産業衛生学会東北地方会報告
佐藤洋. 日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく(1994.11.1).
8. 『豊かな国』ニッポン
佐藤洋. TMDC MATE (197) (1995.1).
9. Professor Griffin の訪問
佐藤洋. 艮陵新聞(1997.2.10).

10. 環境にやさしい交通を－自動車公害とまちづくり－（座談会）
佐藤洋，三浦勇一，夫 石川，松沢夫佐子．杜の国 14（1997.3）.
11. 産業医をとりまく諸問題（座談会）
佐藤洋，若狭一夫，佐治公明，甘糟元，丹野憲二．宮城県医師会報 621（1997.10）.
12. 仙台市独自の制度を創設するために－仙台型環境アセスメント－（座談会）
佐藤洋，磯崎博司，辻阪吟子，佐藤由紀子．杜の国 17（1998.3）.
13. 行政改革と東北ジャーナルと・・・
佐藤洋．艮陵新聞（1998.12.15）.
14. 高橋記念賞 推薦文
佐藤洋．艮陵新聞（1999.9.7）.
15. 第9回産業医・産業看護全国協議会を開催して（産業医学ニュース）
佐藤洋，広瀬俊雄．産業医学ジャーナル 23（1）（2000.1）.
16. NIMD Form 2001 分科会の総括 健康影響分野
佐藤洋．国水研だより（2001.2.15）.
17. 産業衛生学会の変遷と変貌：21世紀の産業保健の課題
佐藤洋．日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく（2002.5.1）.
18. セリエと東北ジャーナルとクローン人間
佐藤洋．艮陵新聞（2002.7.26）.
19. 新春随想 旅行雑感
佐藤洋．公衆衛生情報みやぎ 313（2003.1）.
20. 新春随想 再びセイシエルに
佐藤洋．公衆衛生情報みやぎ 325（2004.1）.
21. 名古屋から仙台へ：第77回日本産業衛生学会の報告と第79回学会総会について
佐藤洋．日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく（2004.5.1）.
22. IT化時代の図書館
佐藤洋．東北大学附属図書館報 木這子 28（4）（2004.12）.

23. 地方会長に選出されて
佐藤洋, 日本産業衛生学会東北地方会ニュース みちのく (2004.12.1).
24. 第79回日本産業衛生学会開催にあたって
佐藤洋, さんぽみやぎ 31 (2005.9).
25. 第79回日本産業衛生学会開催にあたって
佐藤洋, 産業保健情報誌 (合同号) (2006.1).
26. 新春随想 再々度フェローに
佐藤洋, 公衆衛生情報みやぎ 373 (2008.1).
27. 環境科学会学術賞を受賞して - “マー兄ちゃん” に推奨された学術賞 -
佐藤洋, 東北医学雑誌 120 (1) (2008.6).
28. 理事長就任にあたって
佐藤洋, 日本衛生学雑誌 64 (3) (2009.5).
29. 日本衛生学会とビル管理教育センター
佐藤洋, ビルと環境 125 (2009.6).
30. 第80回日本衛生学会学術総会を開催して
佐藤洋, 公衆衛生情報みやぎ 405 (2010.9).